




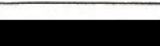


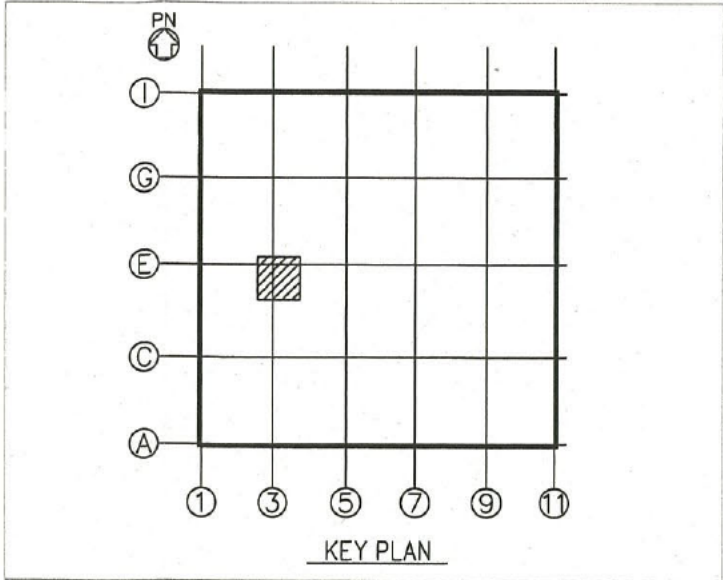
 (W300 × H400 × D100)
	 必要範囲 (W800 × H1900 × D800)
	 (W1500 × H300 × D300)
	 必要範囲 (W2100 × H900 × D1000)
	




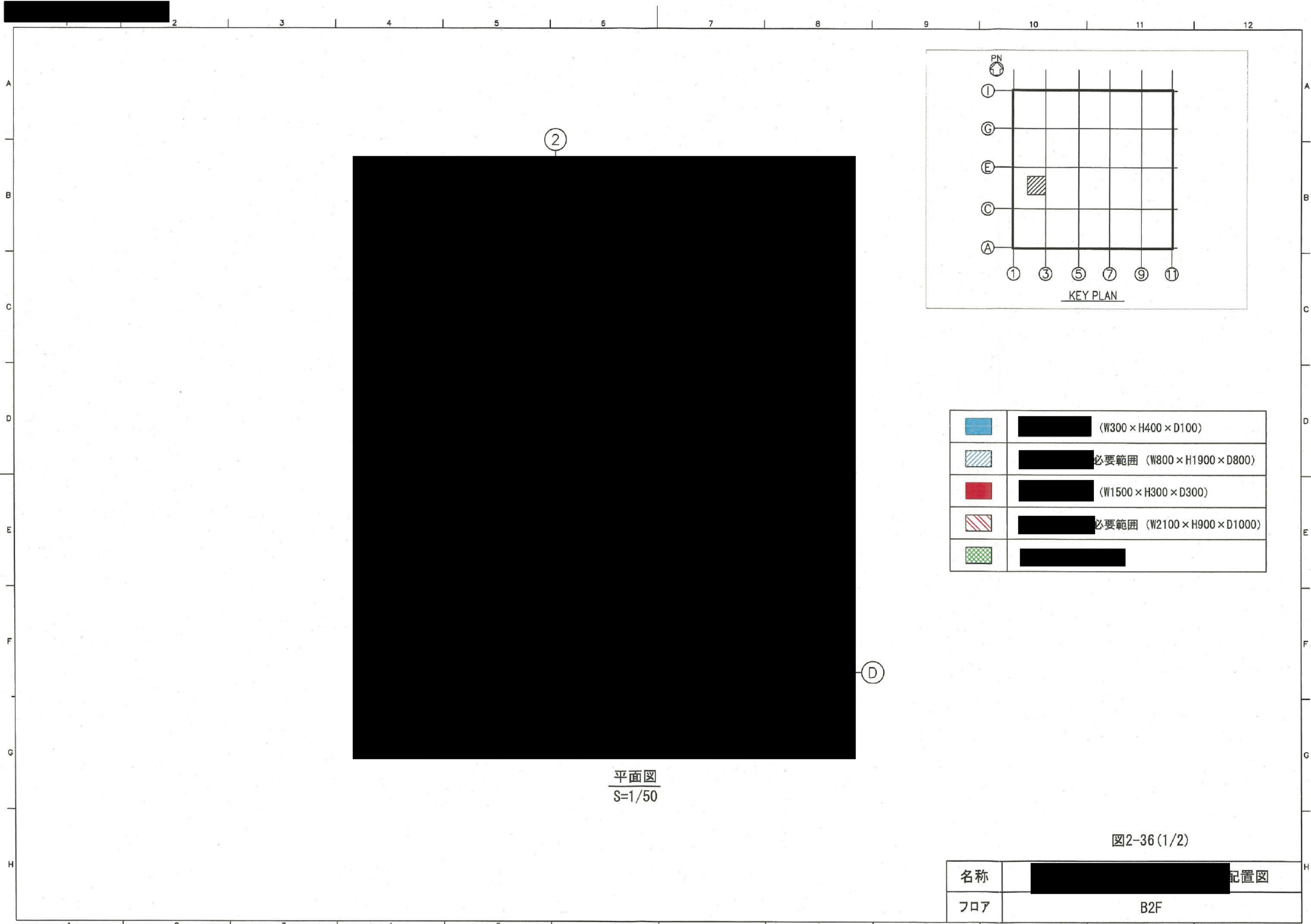
平面図
S=1/50

A-A' 断面図
S=1/50

B-B' 断面図
S=1/50

図2-35


名称	 配置図
フロア	B2F

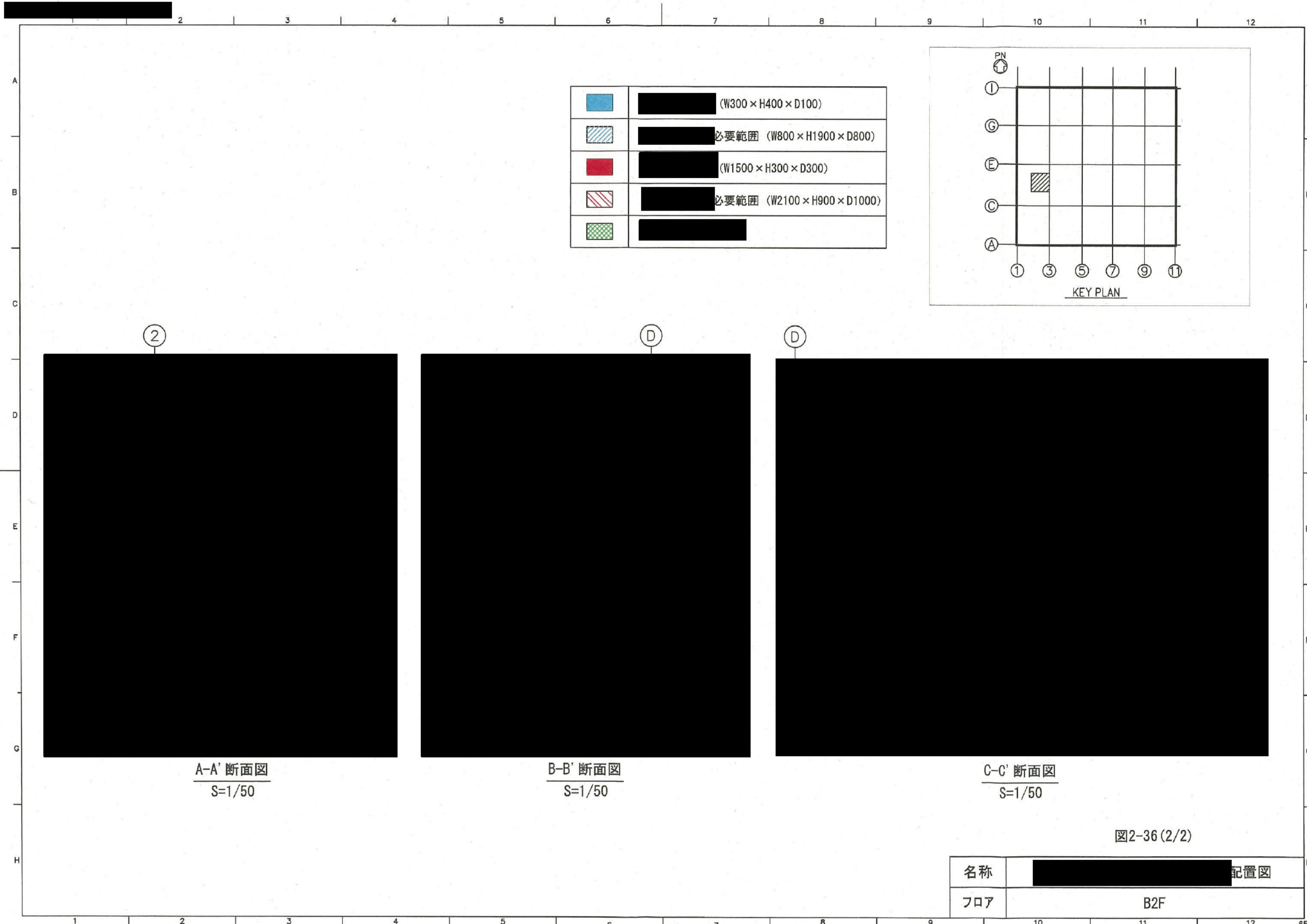


平面図
S=1/50

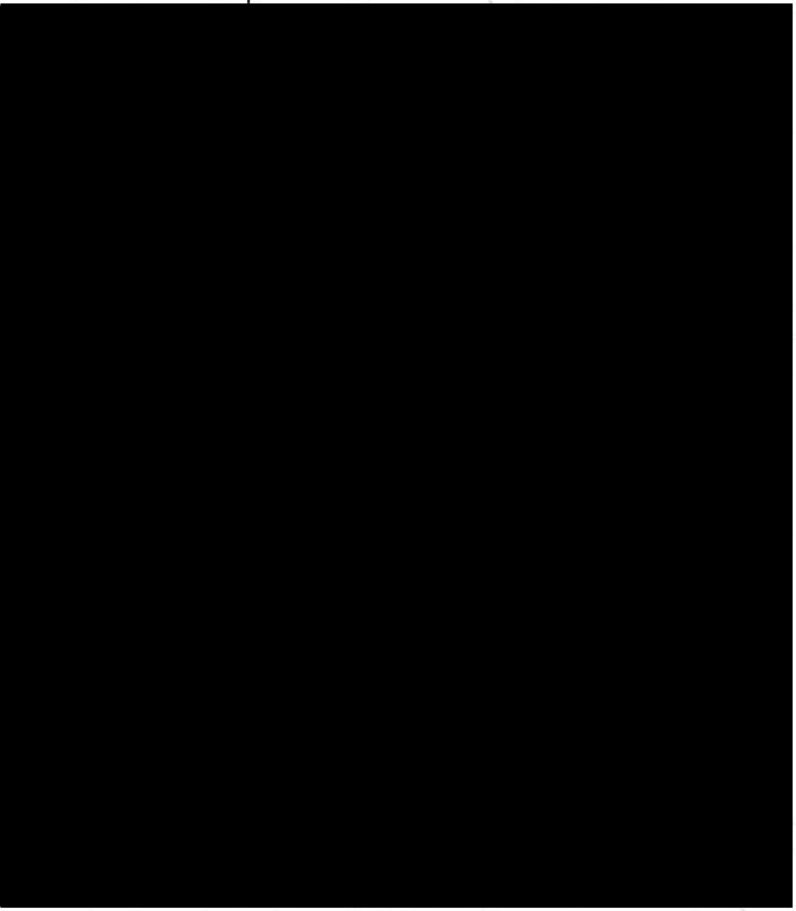
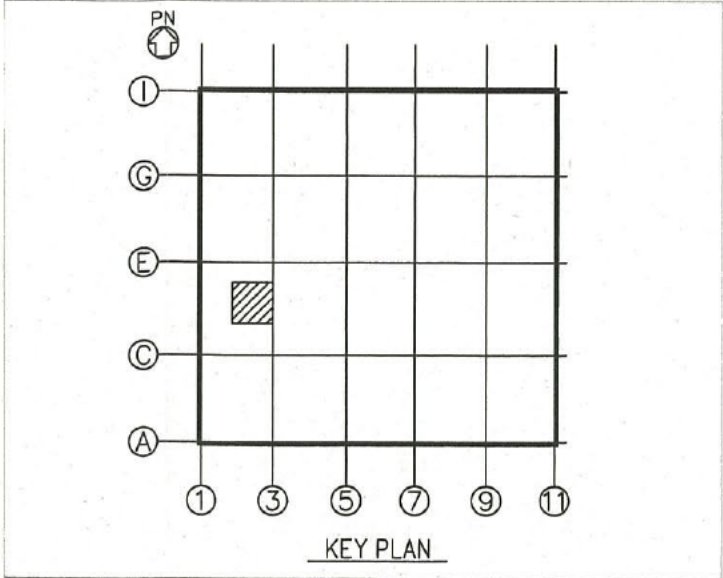
	 (W300 × H400 × D100)
	 必要範囲 (W800 × H1900 × D800)
	 (W1500 × H300 × D300)
	 必要範囲 (W2100 × H900 × D1000)
	

図2-36(1/2)

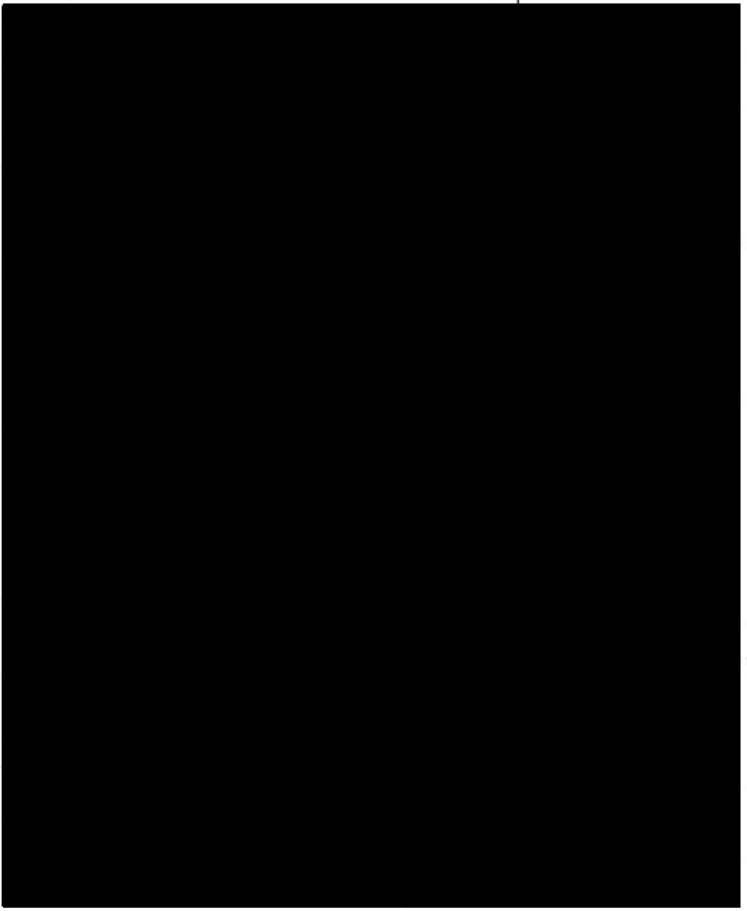
名称	 配置図
フロア	B2F



	■■■■■ (W300 × H400 × D100)
	■■■■■ 必要範囲 (W800 × H1900 × D800)
	■■■■■ (W1500 × H300 × D300)
	■■■■■ 必要範囲 (W2100 × H900 × D1000)
	■■■■■



A-A' 断面図
S=1/50



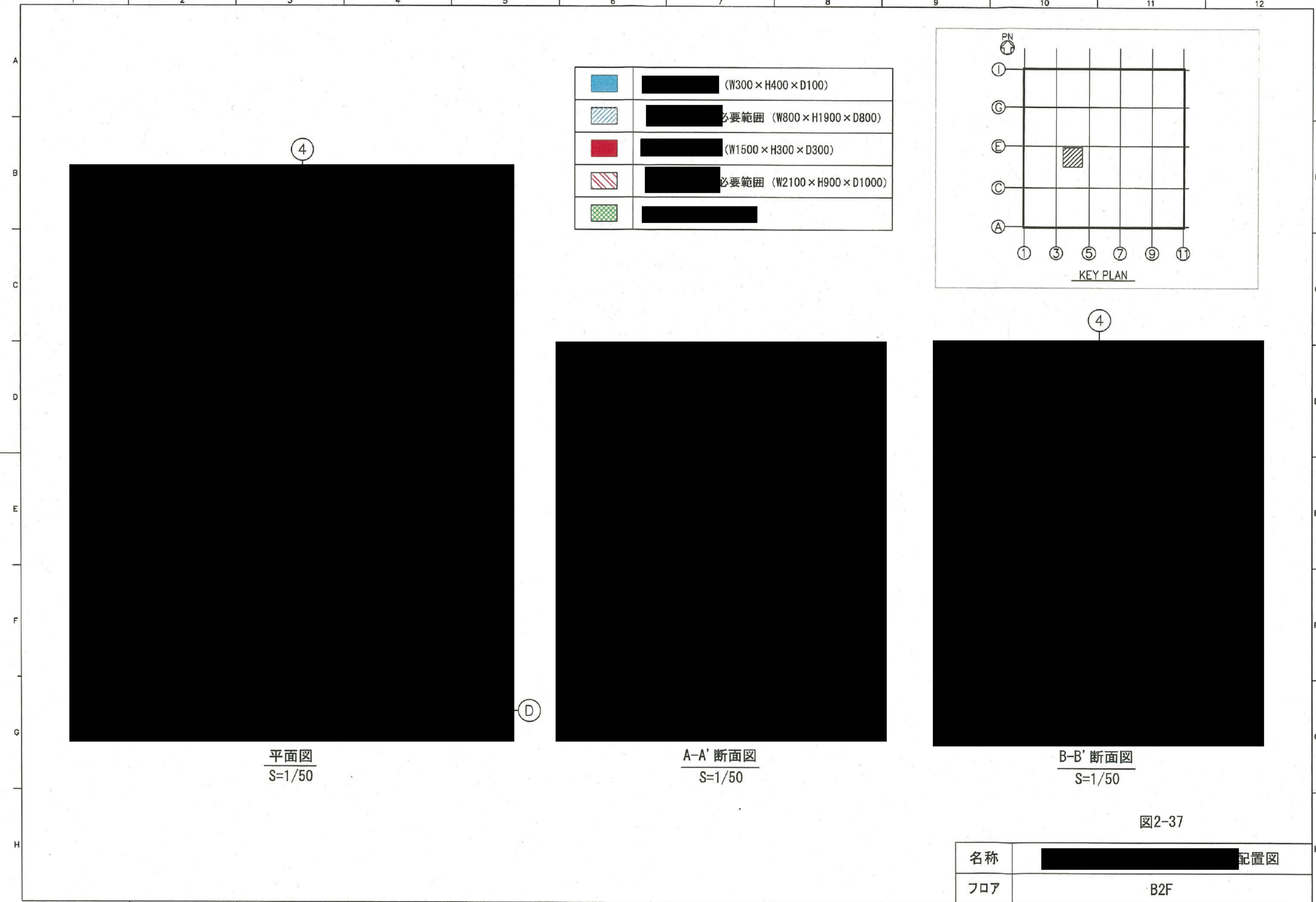
B-B' 断面図
S=1/50



C-C' 断面図
S=1/50

図2-36 (2/2)

名称	■■■■■ 配置図
フロア	B2F

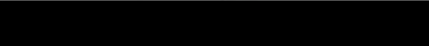


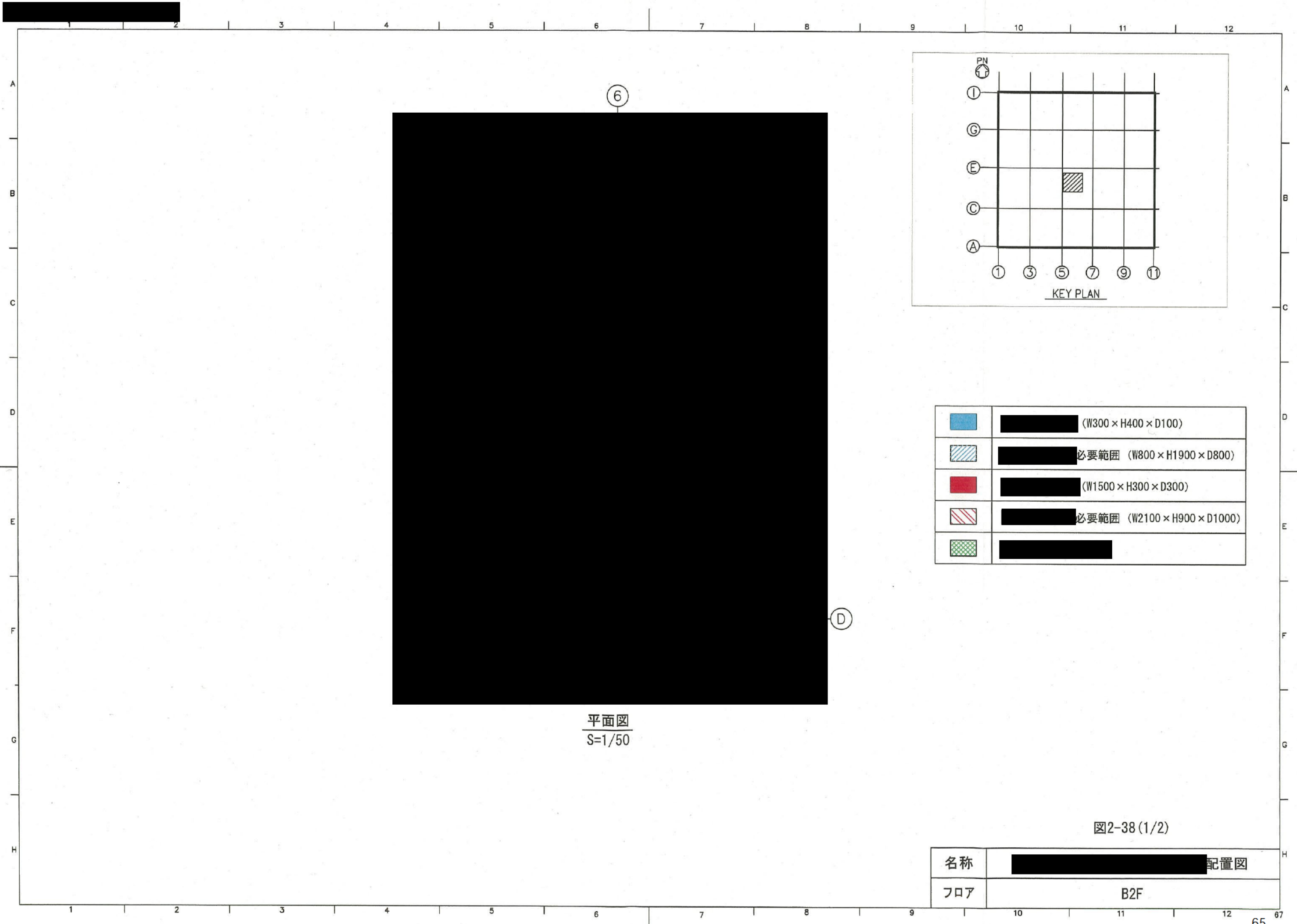
平面図
S=1/50

A-A' 断面図
S=1/50

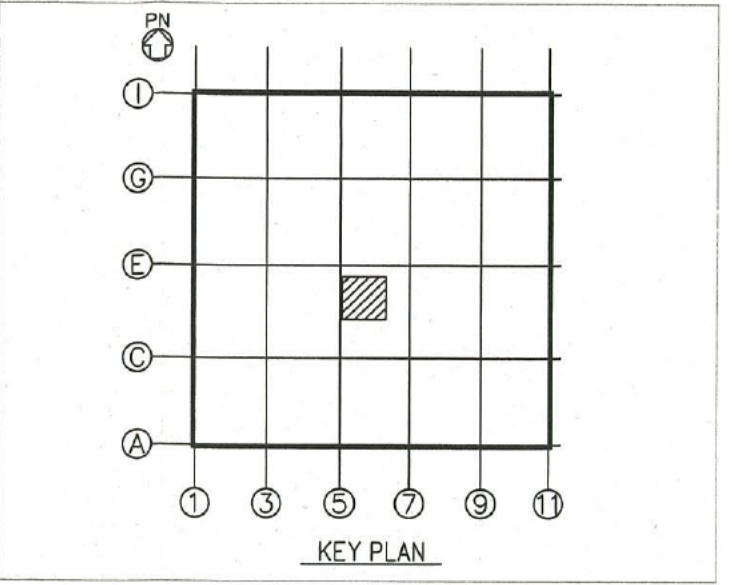
B-B' 断面図
S=1/50

図2-37

名称	 配置図
フロア	B2F



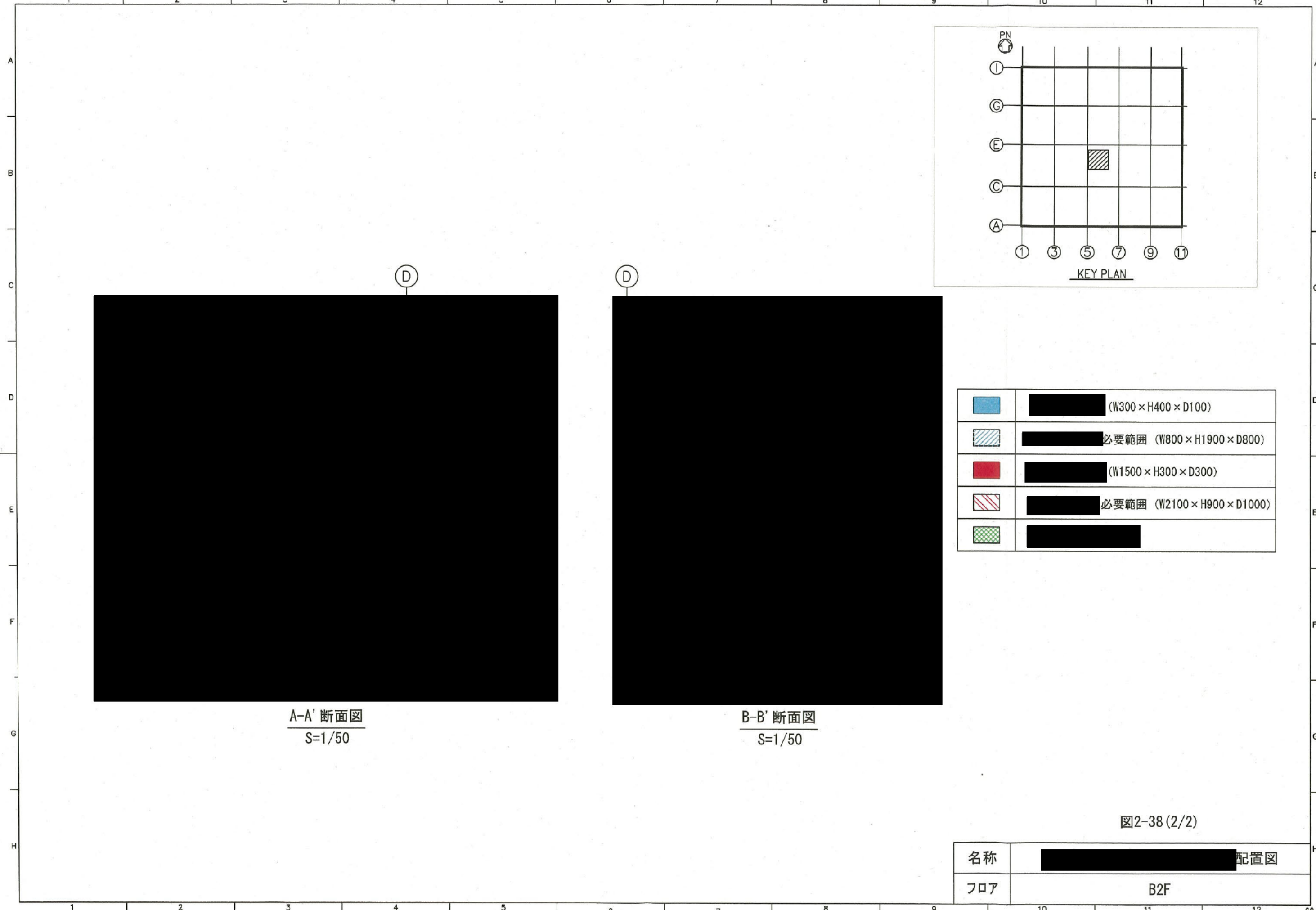
平面図
S=1/50



	■ (W300 × H400 × D100)
	■ 必要範囲 (W800 × H1900 × D800)
	■ (W1500 × H300 × D300)
	■ 必要範囲 (W2100 × H900 × D1000)
	■

図2-38 (1/2)

名称	■ 配置図
フロア	B2F



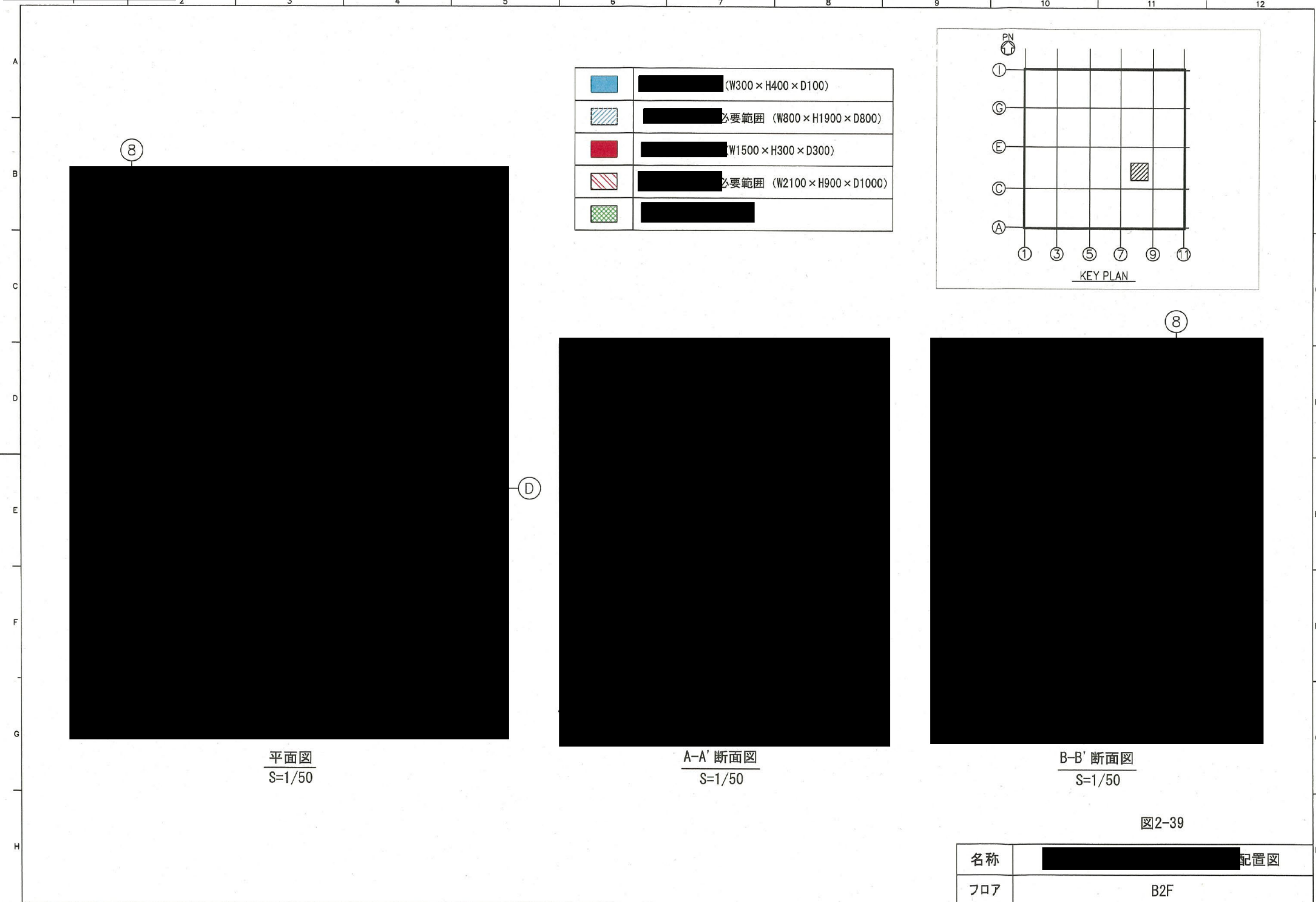
A-A' 断面図
S=1/50

B-B' 断面図
S=1/50

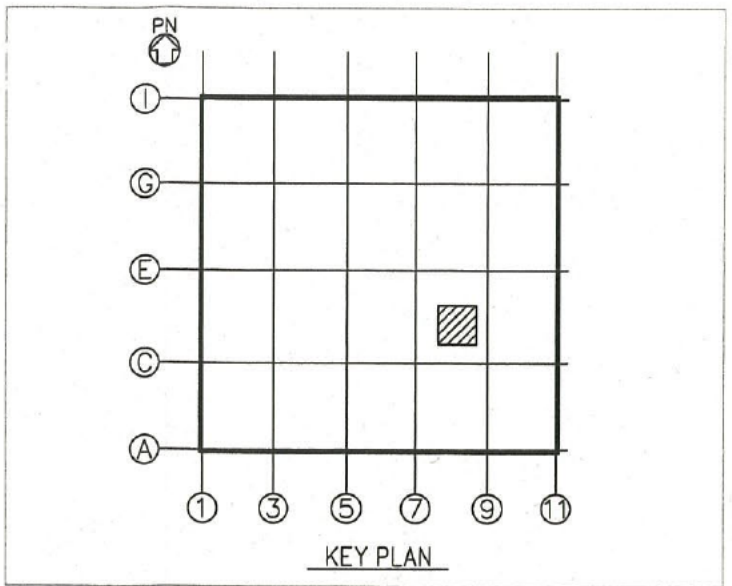
	必要範囲 (W300 × H400 × D100)
	必要範囲 (W800 × H1900 × D800)
	必要範囲 (W1500 × H300 × D300)
	必要範囲 (W2100 × H900 × D1000)
	必要範囲

図2-38 (2/2)

名称	必要範囲配置図
フロア	B2F



	■■■■ (W300 × H400 × D100)
	■■■■ 必要範囲 (W800 × H1900 × D800)
	■■■■ (W1500 × H300 × D300)
	■■■■ 必要範囲 (W2100 × H900 × D1000)
	■■■■








平面図
S=1/50

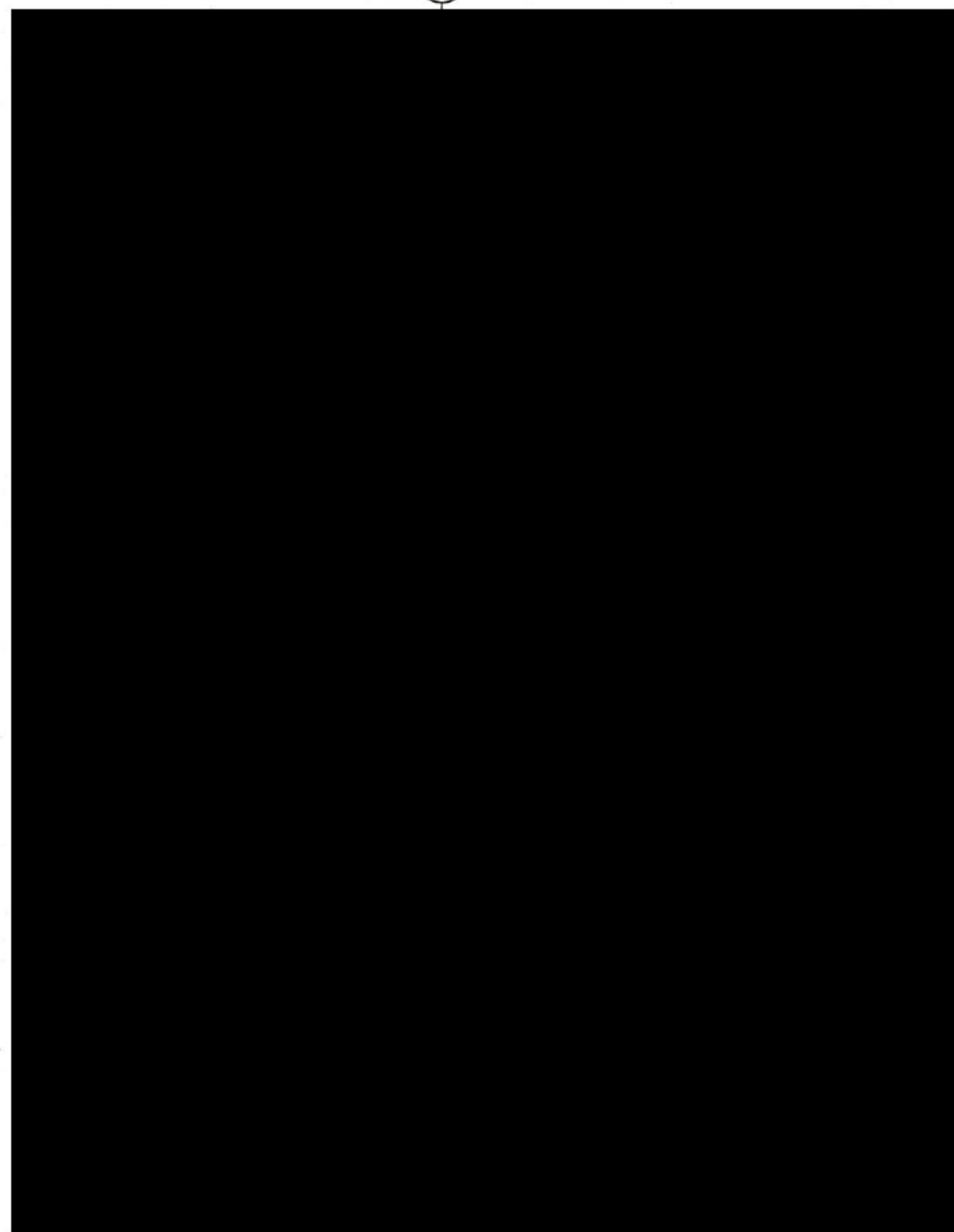
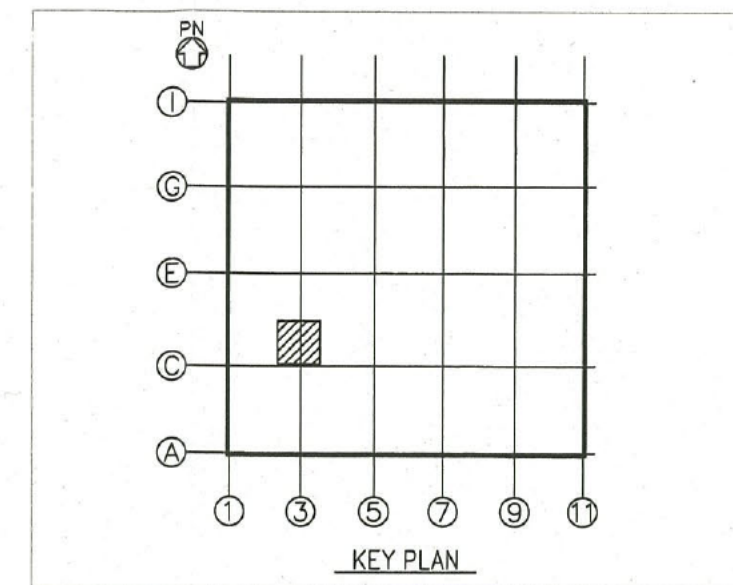
A-A' 断面図
S=1/50

B-B' 断面図
S=1/50

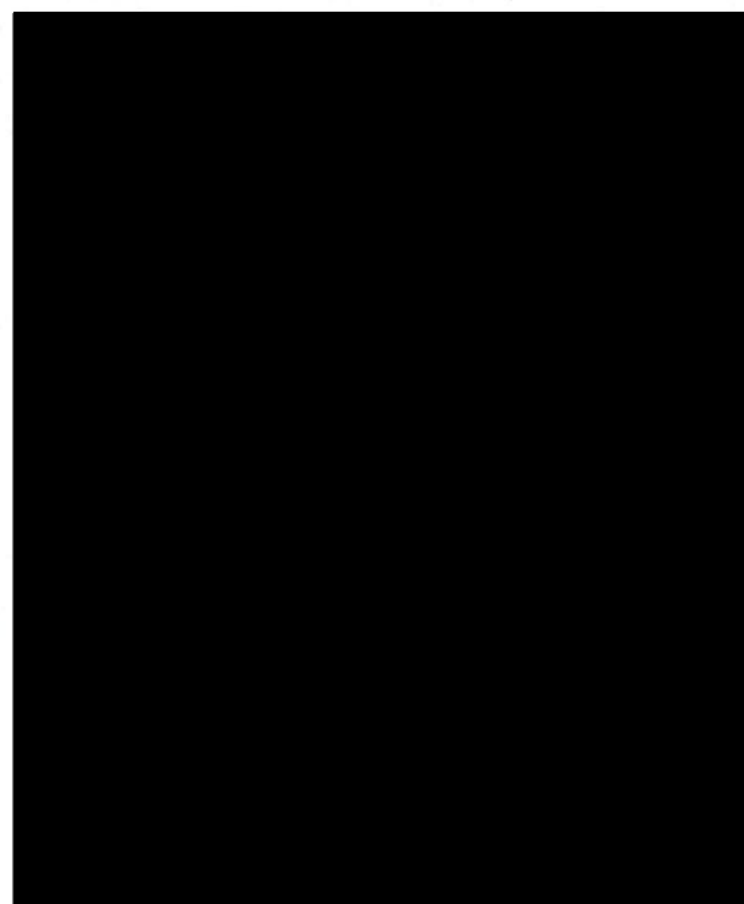
図2-39

名称	■■■■ 配置図
フロア	B2F

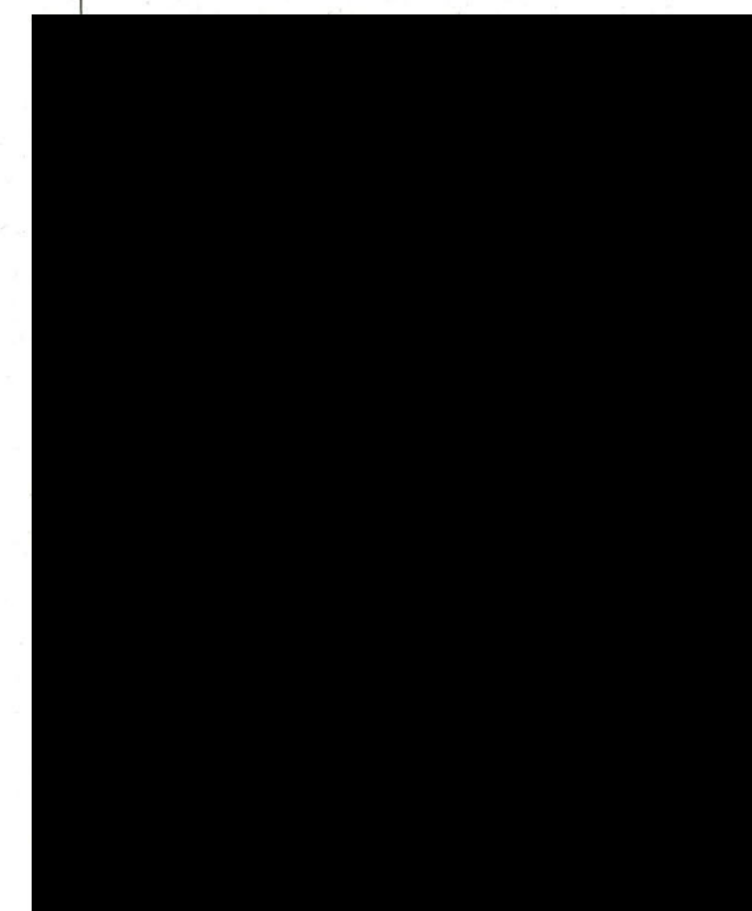
	 (W300 × H400 × D100)
	 必要範囲 (W800 × H1900 × D800)
	 (W1500 × H300 × D300)
	 必要範囲 (W2100 × H900 × D1000)
	



平面図
S=1/50













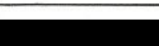
A-A'断面図
S=1/50

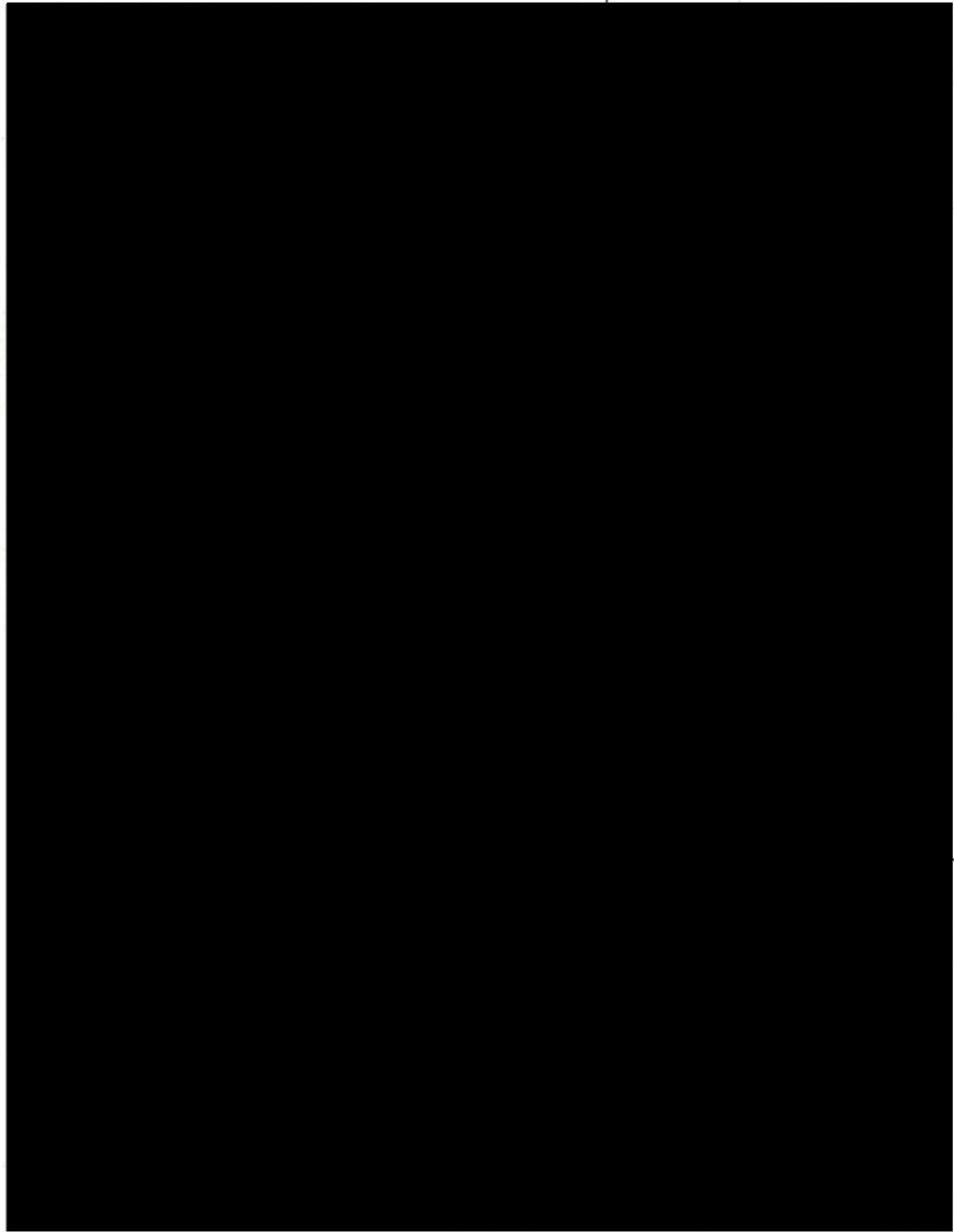
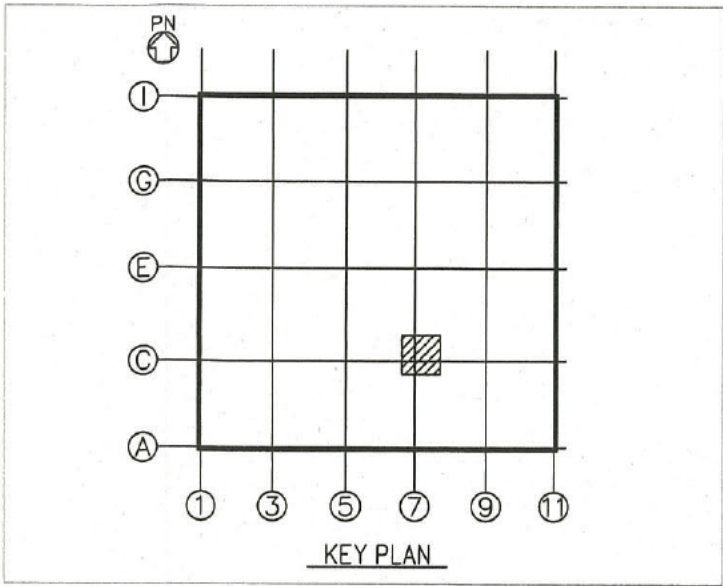


B-B'断面図
S=1/50

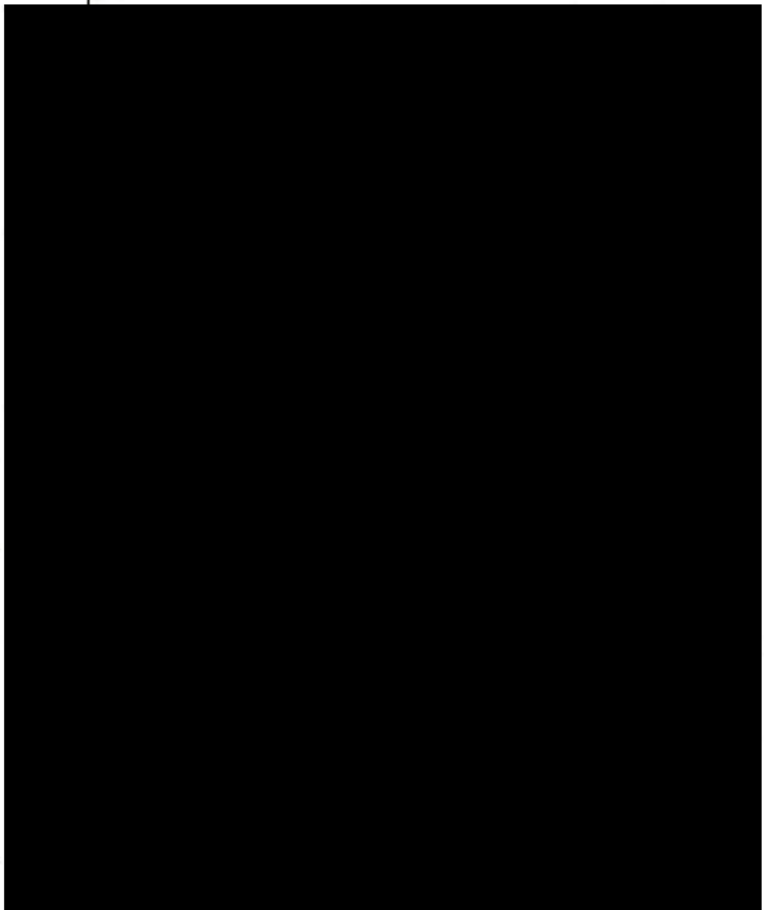
図2-40

名称	 配置図
フロア	B2F

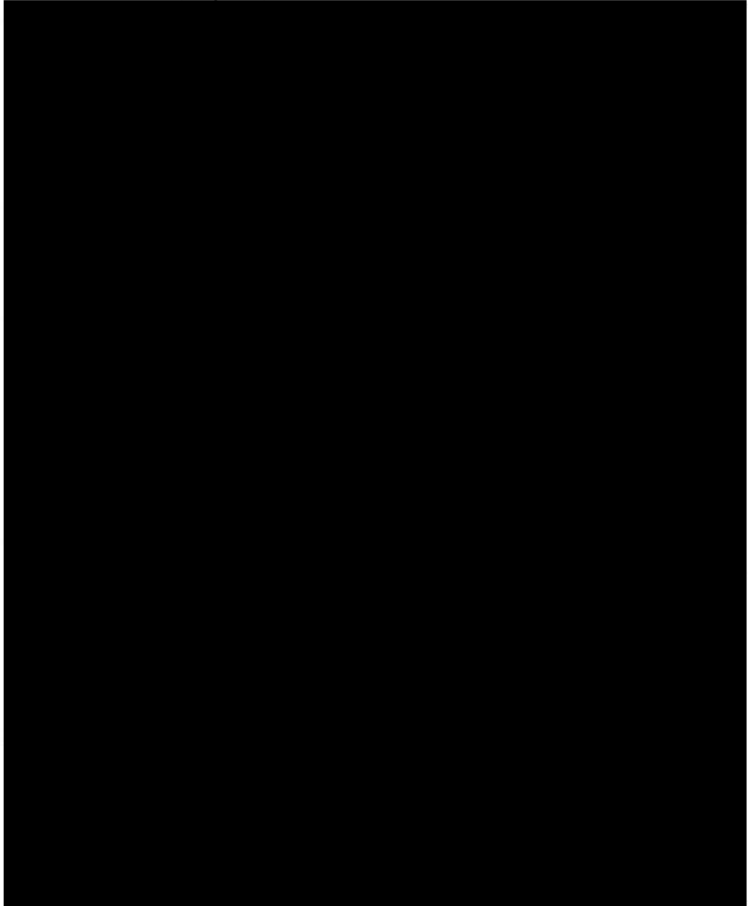
	 (W300 × H400 × D100)
	 必要範囲 (W800 × H1900 × D800)
	 (W1500 × H300 × D300)
	 必要範囲 (W2100 × H900 × D1000)
	



平面図
S=1/50




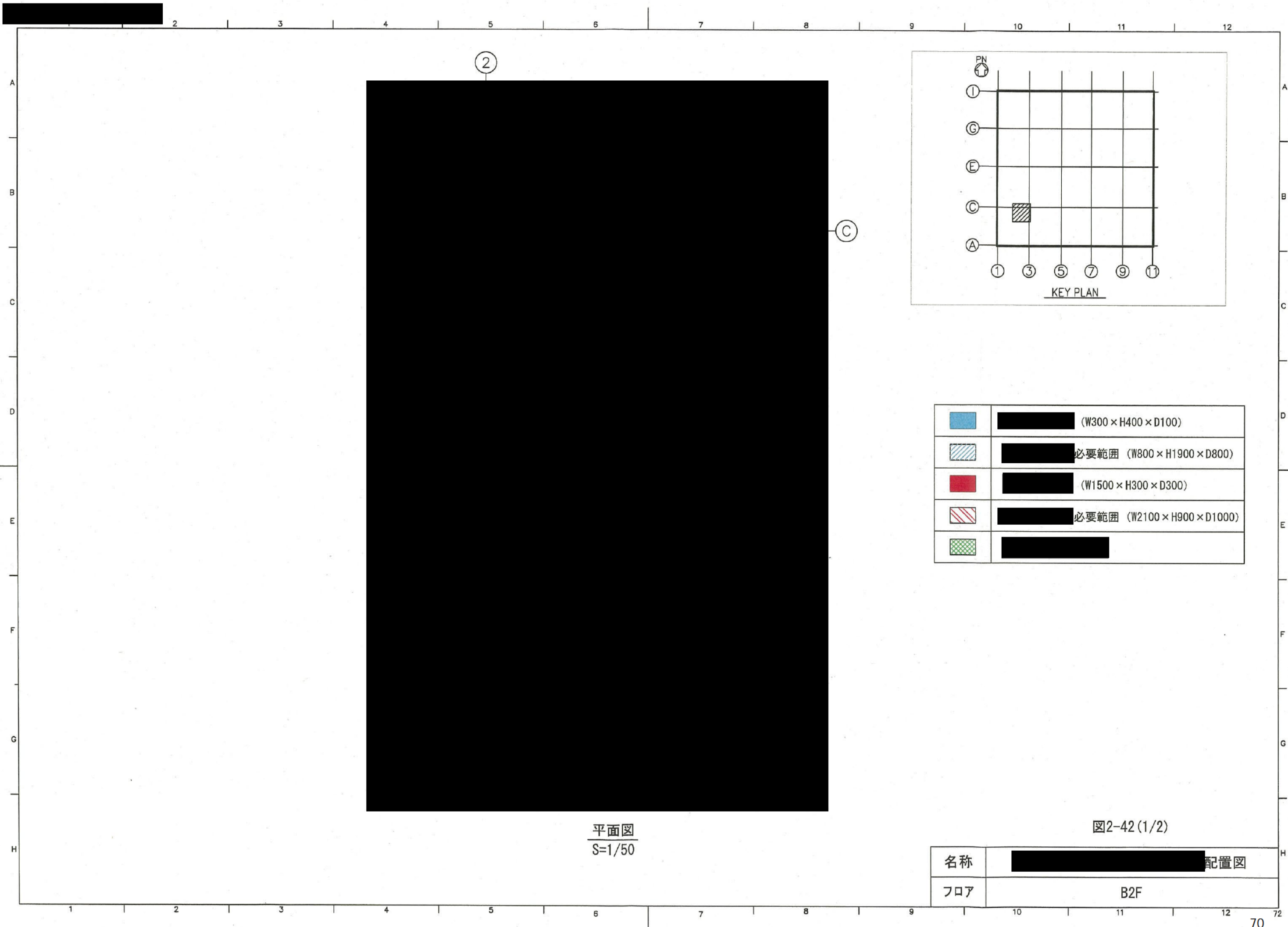
A-A' 断面図
S=1/50



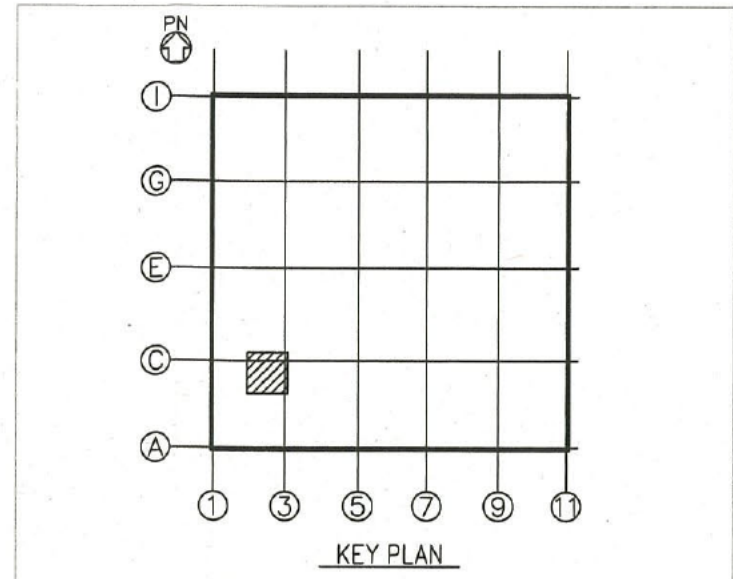
B-B' 断面図
S=1/50

図2-41

名称	 配置図
フロア	B2F



平面図
S=1/50







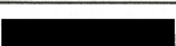




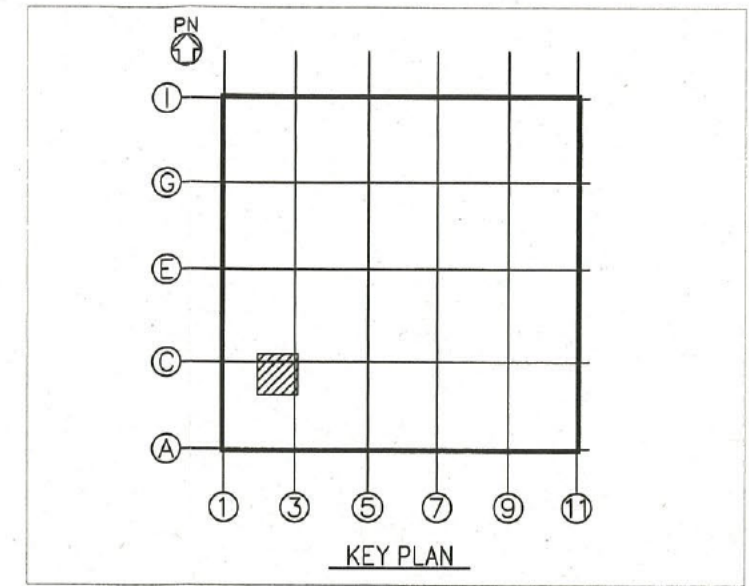
	(W300 × H400 × D100)
	必要範囲 (W800 × H1900 × D800)
	(W1500 × H300 × D300)
	必要範囲 (W2100 × H900 × D1000)

図2-42 (1/2)

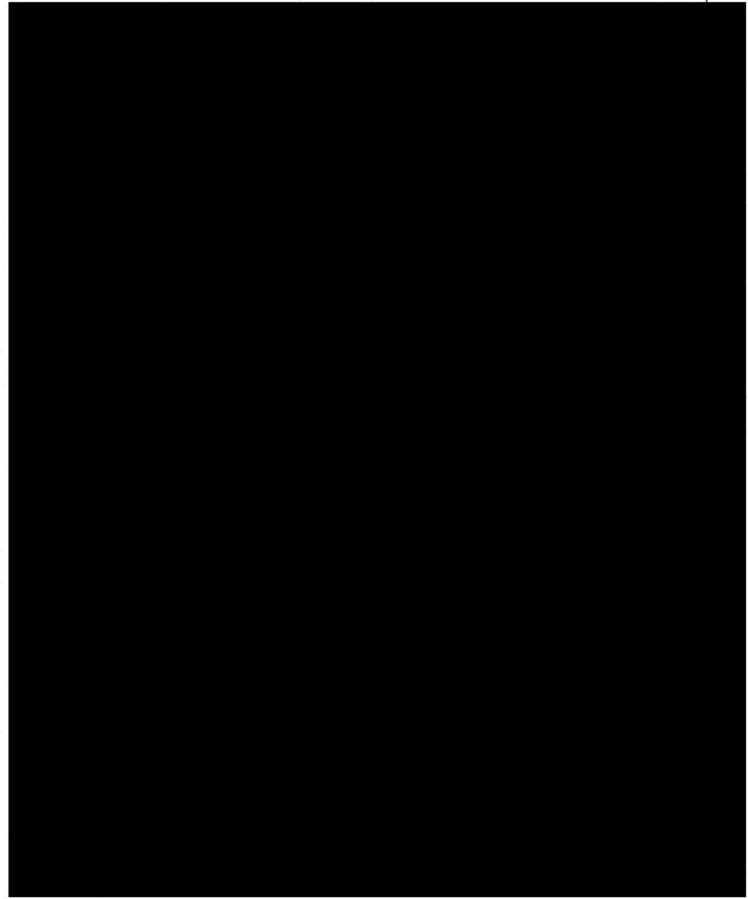
名称	配置図
フロア	B2F

A
B
C
D
E
F
G
H

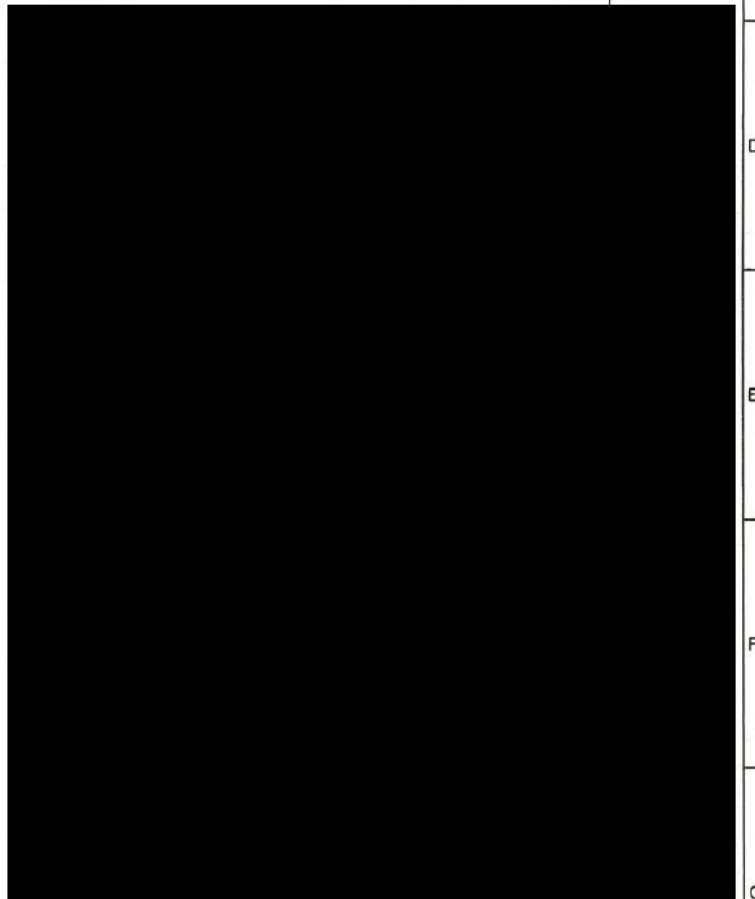
	 (W300 × H400 × D100)
	 必要範囲 (W800 × H1900 × D800)
	 (W1500 × H300 × D300)
	 必要範囲 (W2100 × H900 × D1000)
	



A-A' 断面図
S=1/50




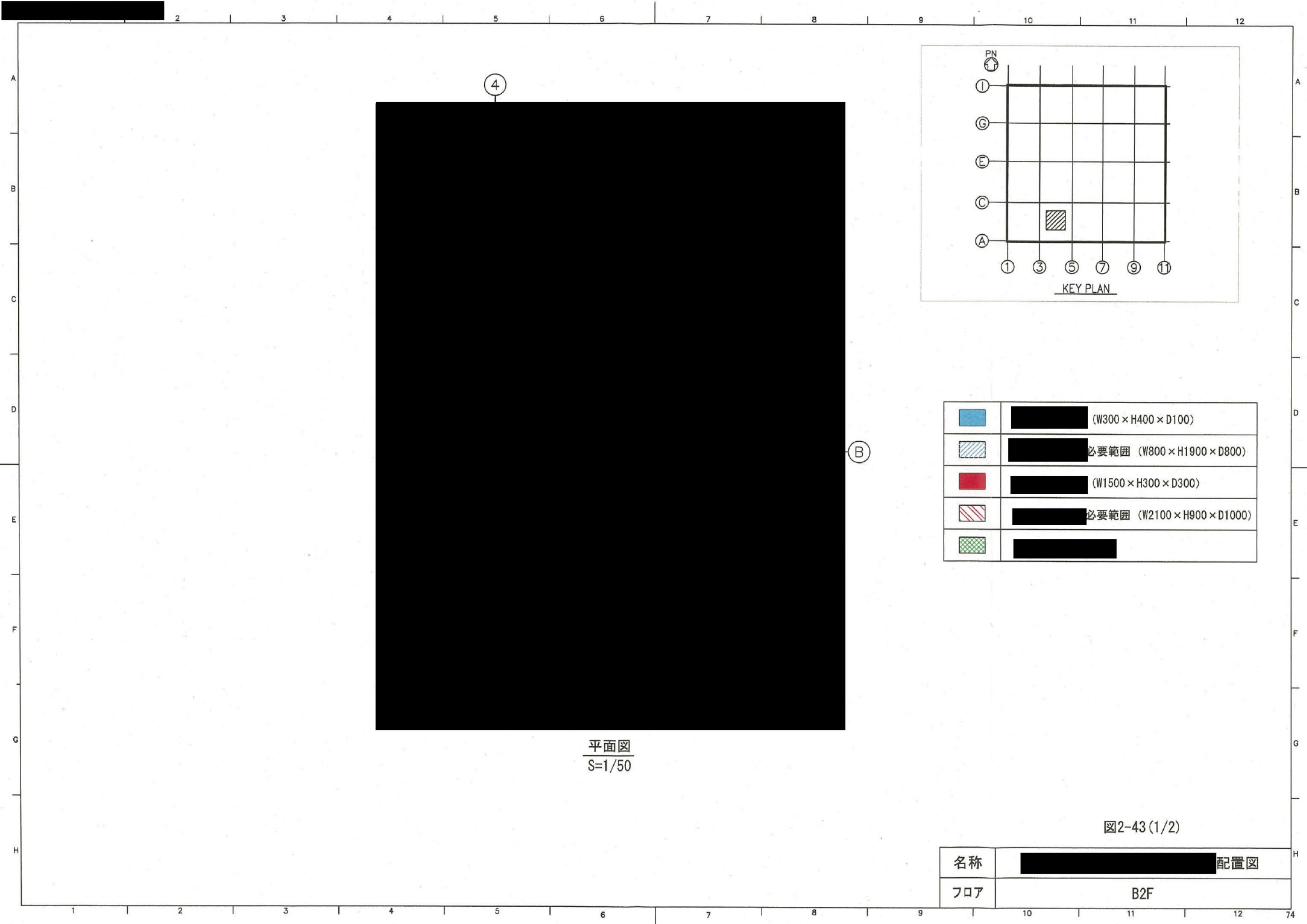
B-B' 断面図
S=1/50



C-C' 断面図
S=1/50

図2-42 (2/2)

名称	 配置図
フロア	B2F

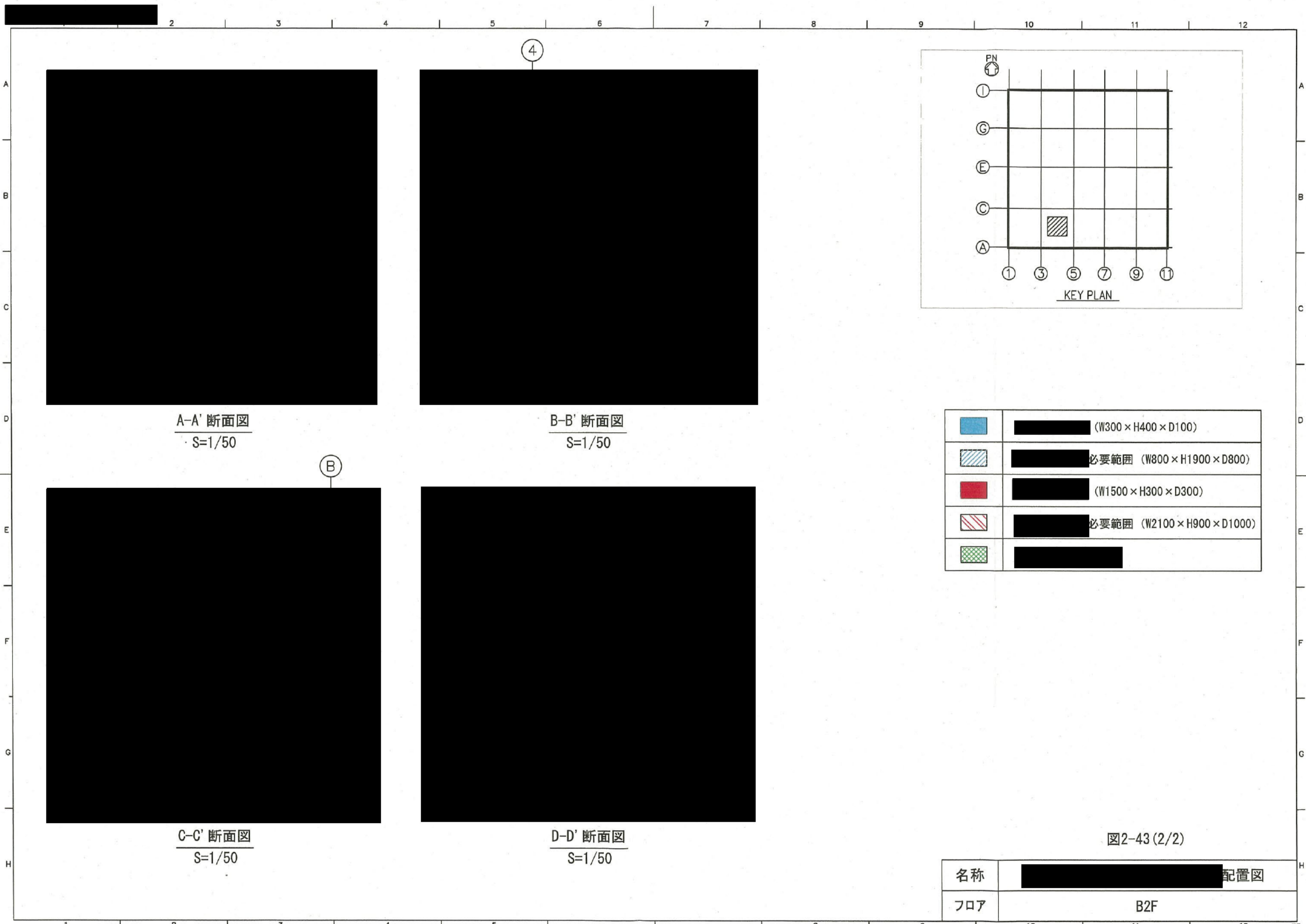


平面图
S=1/50

	■ (W300 × H400 × D100)
	■ 必要範囲 (W800 × H1900 × D800)
	■ (W1500 × H300 × D300)
	■ 必要範囲 (W2100 × H900 × D1000)
	■

図2-43(1/2)

名称	■ 配置図
フロア	B2F



A-A' 断面図
S=1/50

B-B' 断面図
S=1/50

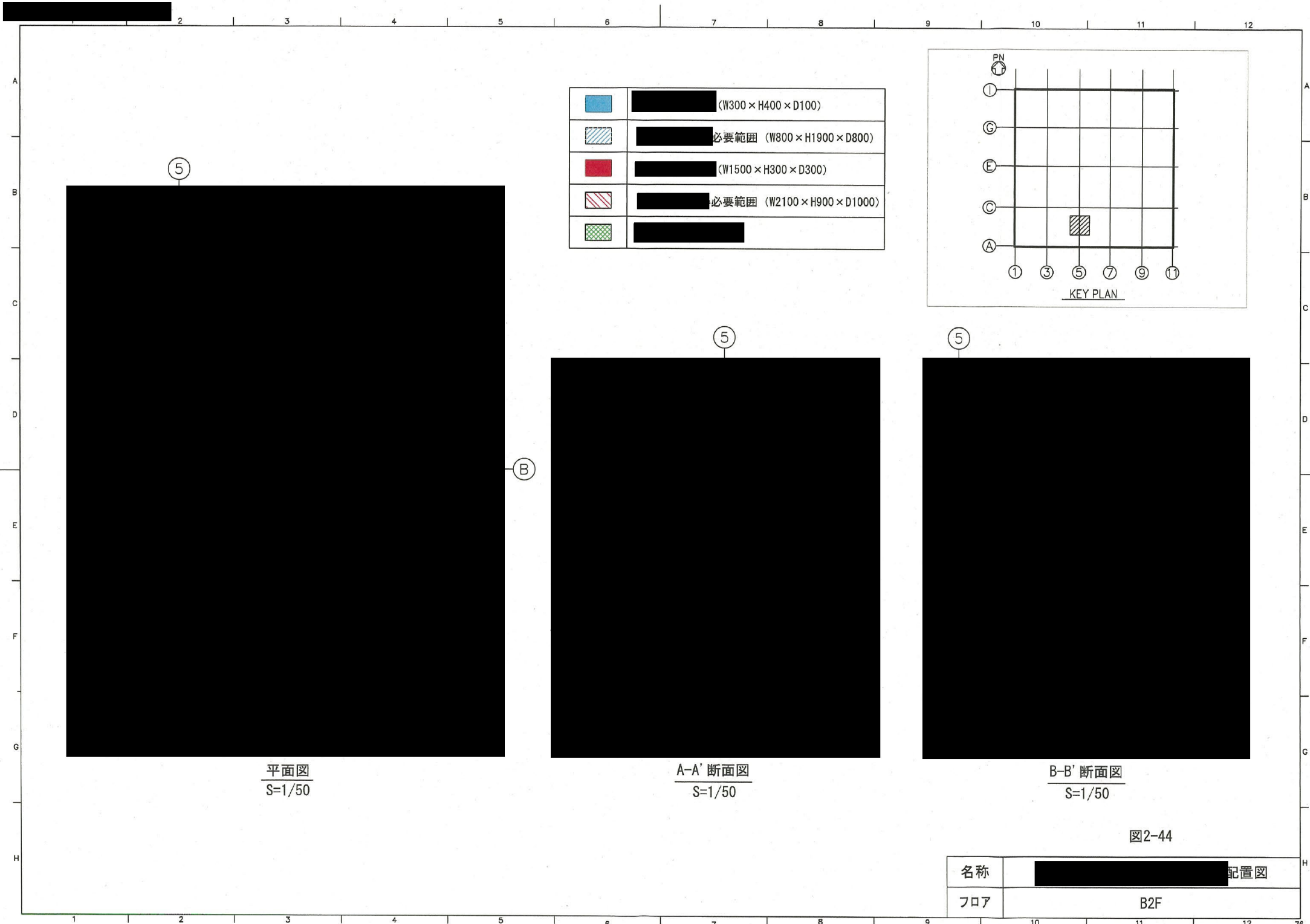
C-C' 断面図
S=1/50

D-D' 断面図
S=1/50

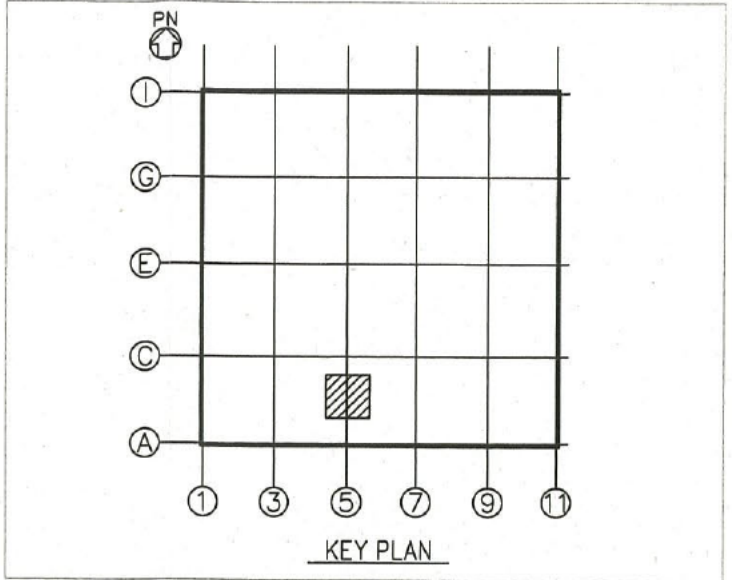
	必要範囲 (W300 × H400 × D100)
	必要範囲 (W800 × H1900 × D800)
	必要範囲 (W1500 × H300 × D300)
	必要範囲 (W2100 × H900 × D1000)
	必要範囲

図2-43 (2/2)

名称	必要範囲配置図
フロア	B2F



	 (W300 × H400 × D100)
	 必要範囲 (W800 × H1900 × D800)
	 (W1500 × H300 × D300)
	 必要範囲 (W2100 × H900 × D1000)
	




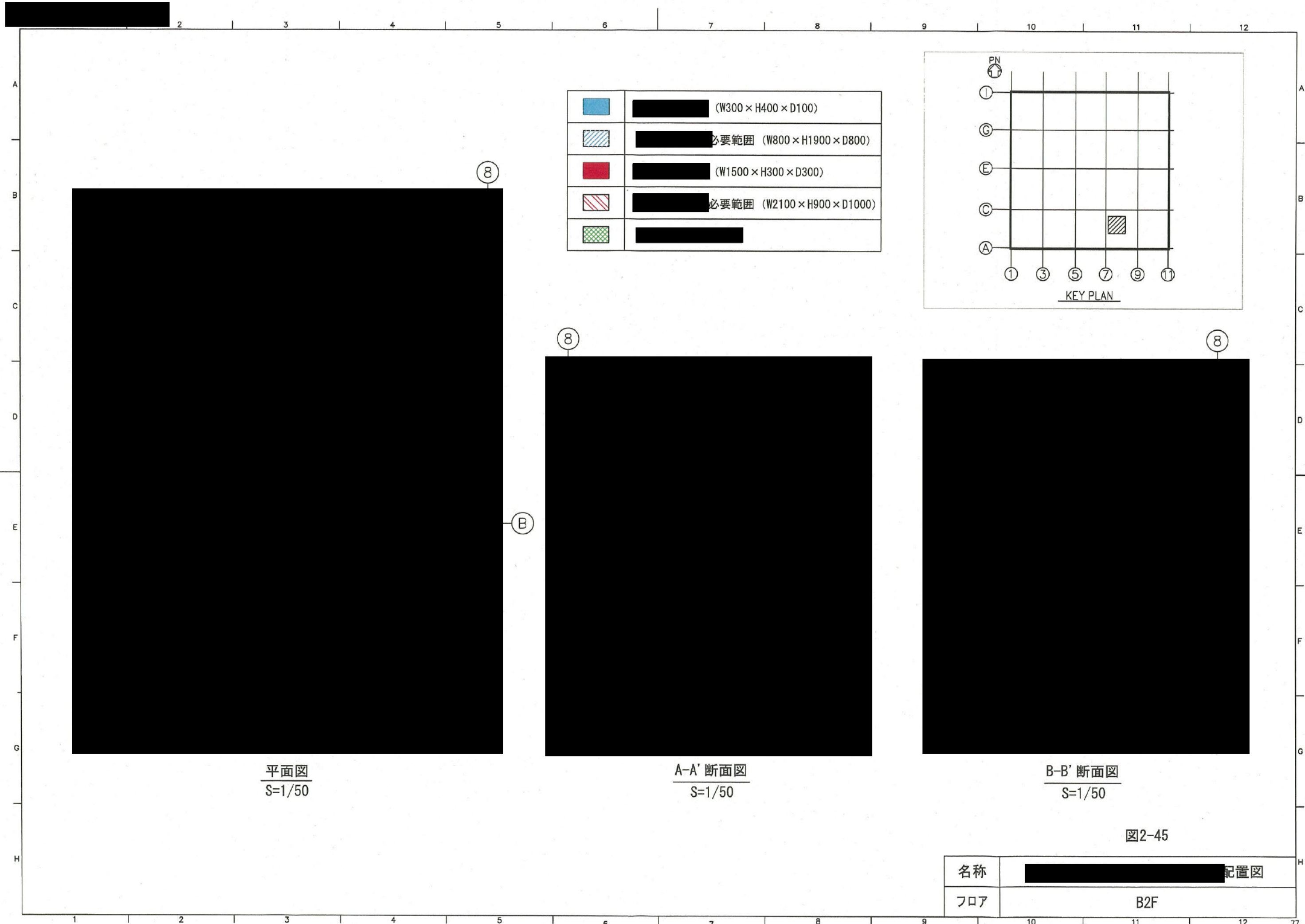
平面図
S=1/50

A-A' 断面図
S=1/50

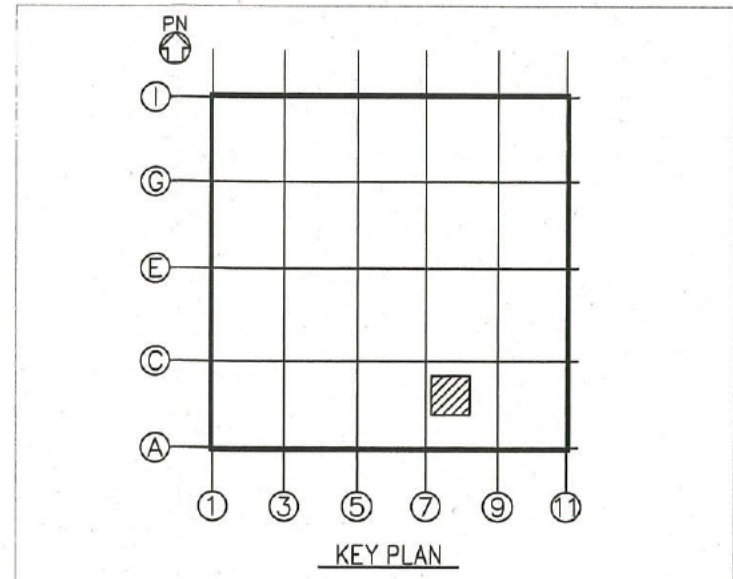
B-B' 断面図
S=1/50

図2-44

名称	 配置図
フロア	B2F



	(W300 × H400 × D100)
	必要範囲 (W800 × H1900 × D800)
	(W1500 × H300 × D300)
	必要範囲 (W2100 × H900 × D1000)



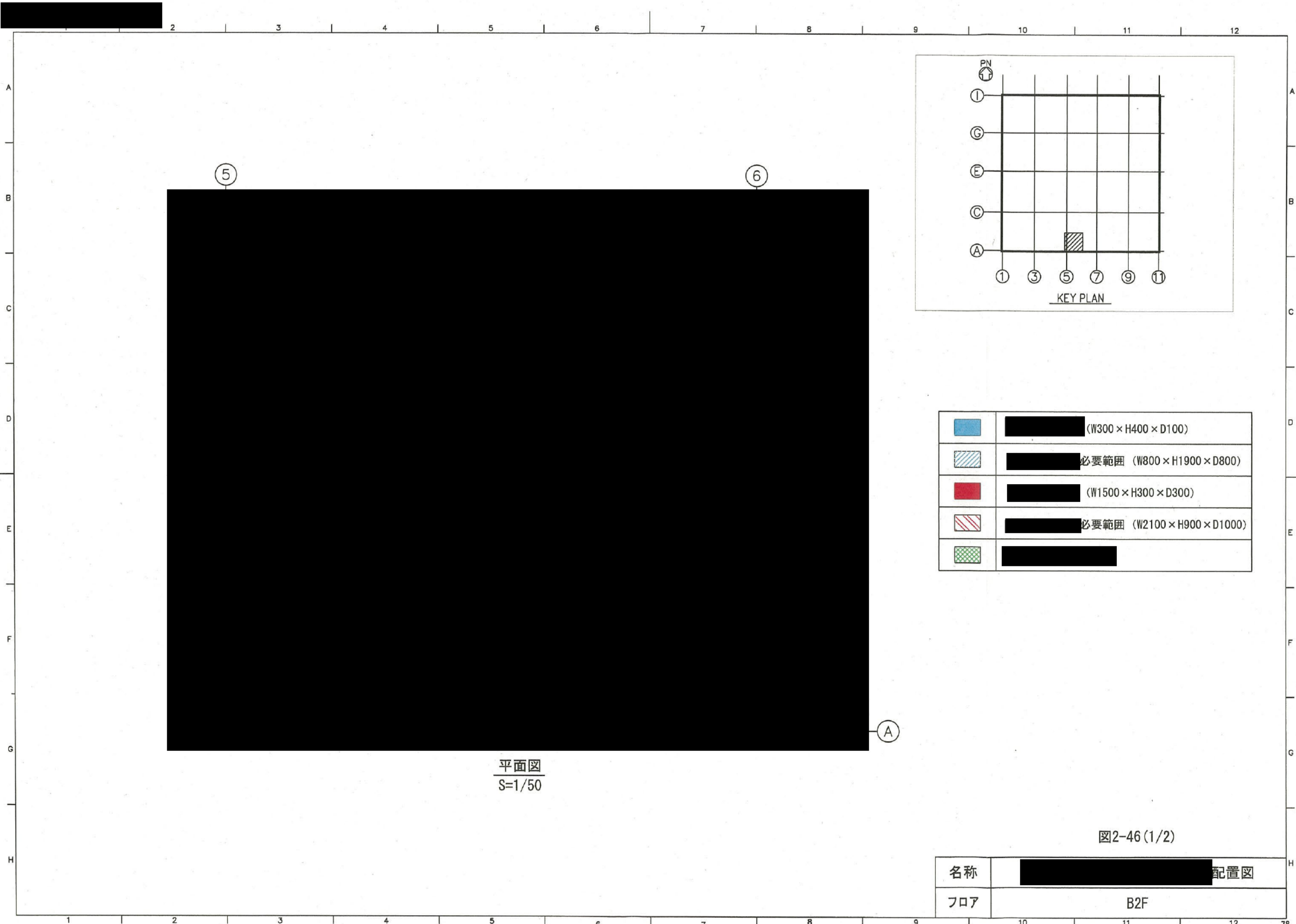
平面図
S=1/50

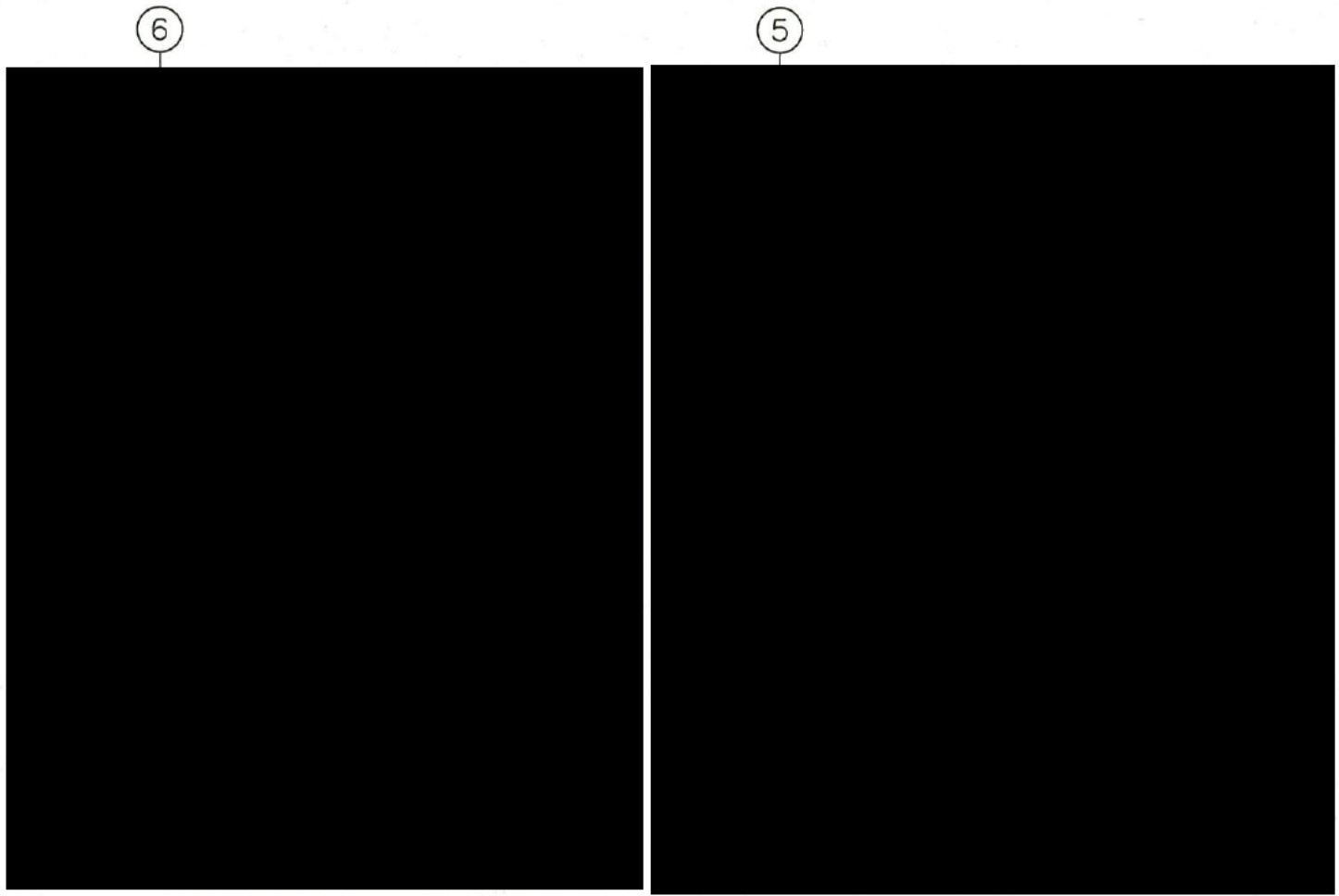
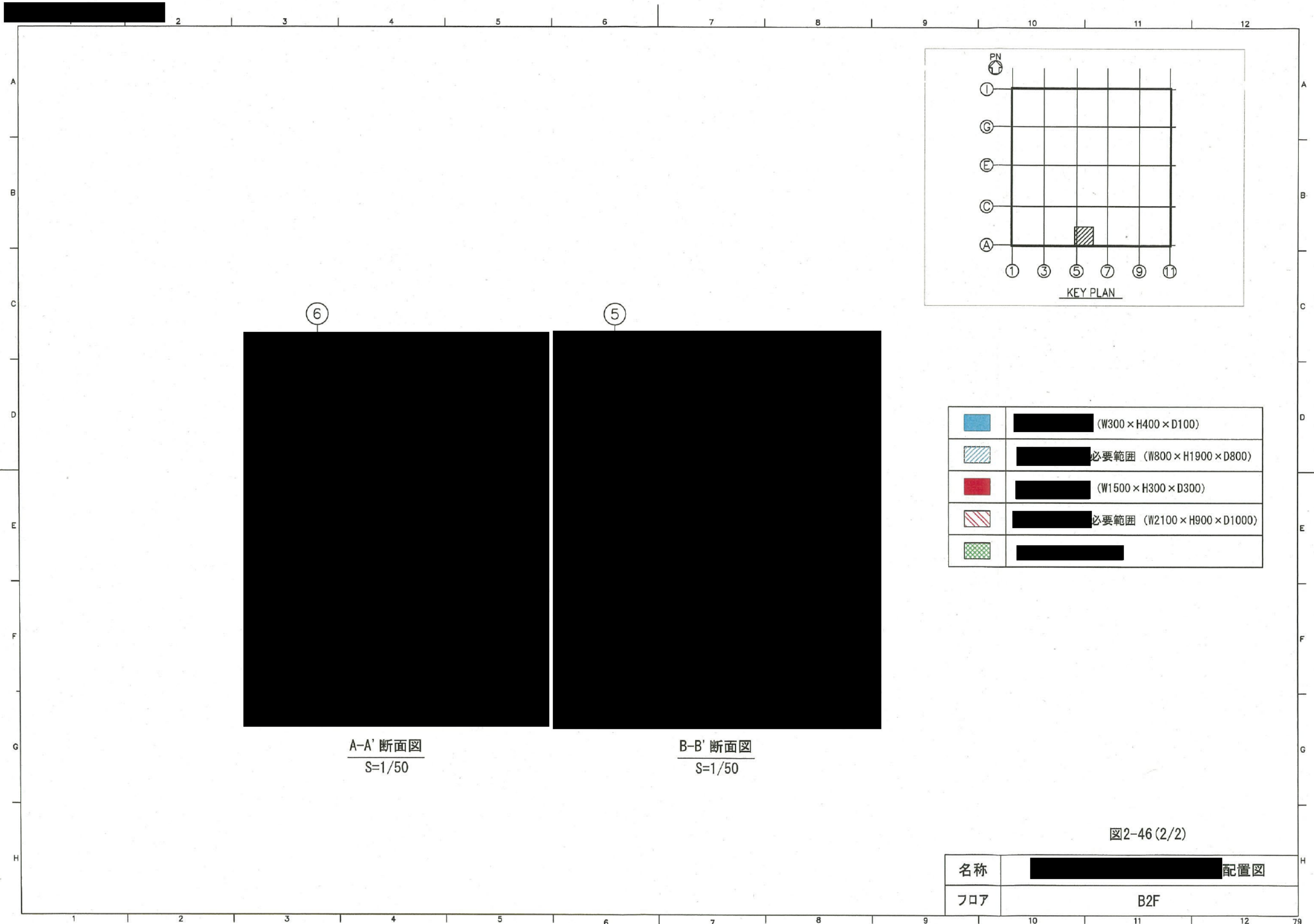
A-A' 断面図
S=1/50

B-B' 断面図
S=1/50

図2-45

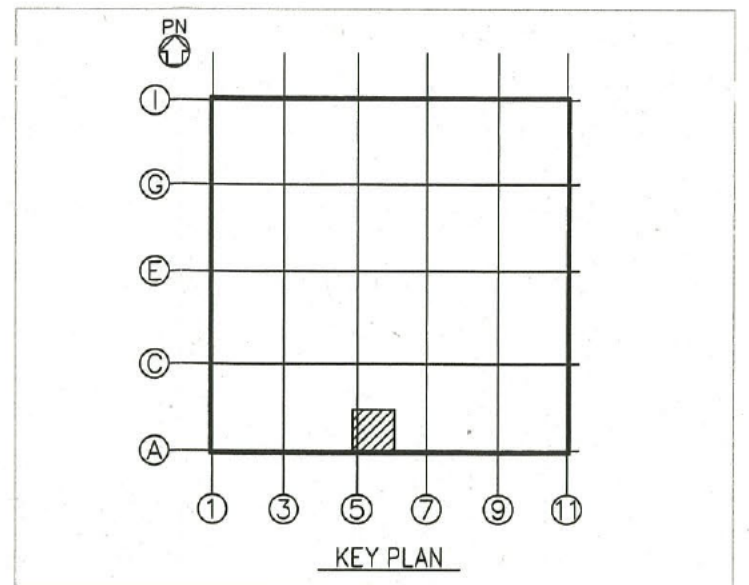
名称	配置図
フロア	B2F





A-A' 断面図
S=1/50

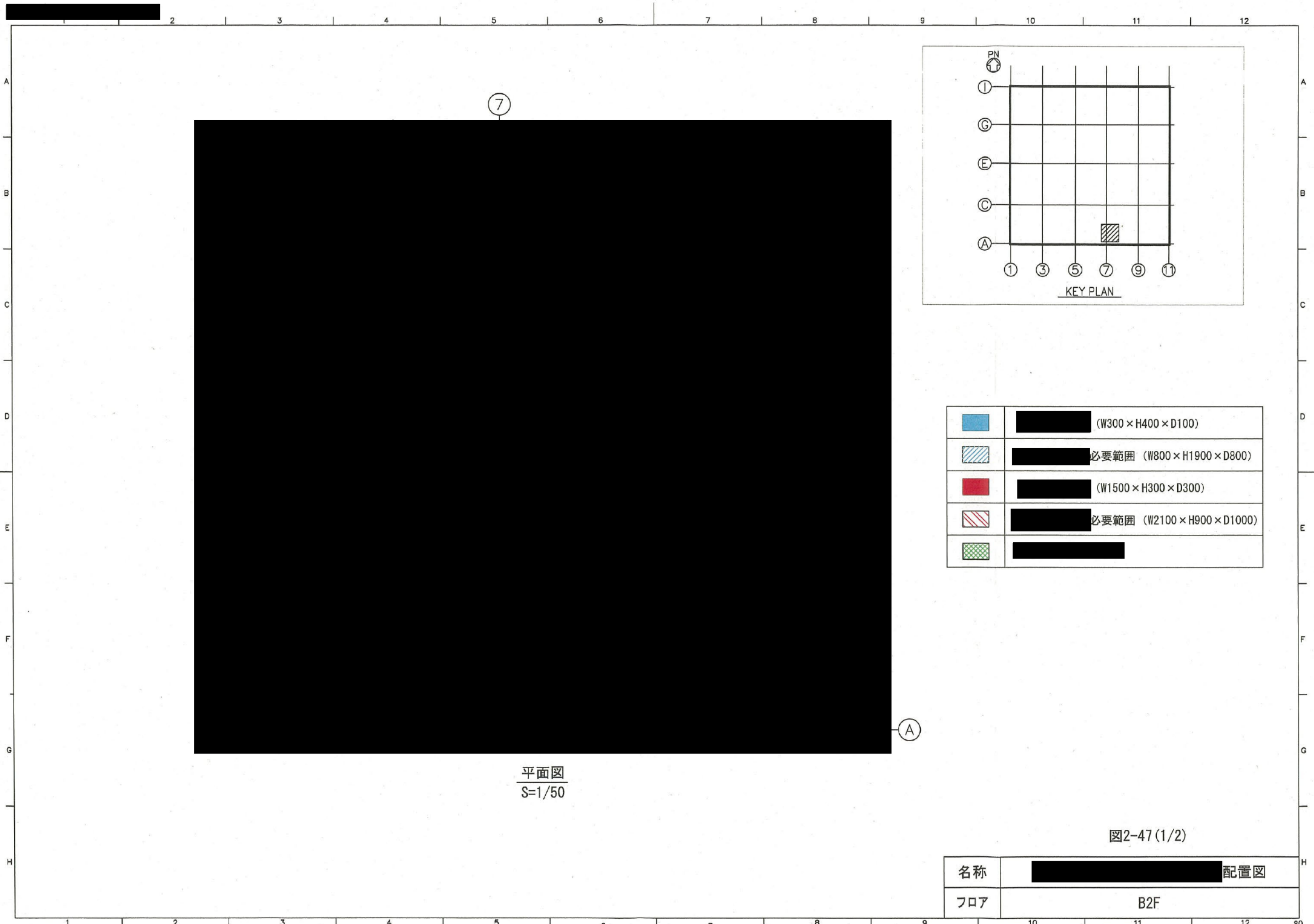
B-B' 断面図
S=1/50



	(W300 × H400 × D100)
	必要範囲 (W800 × H1900 × D800)
	(W1500 × H300 × D300)
	必要範囲 (W2100 × H900 × D1000)

図2-46 (2/2)

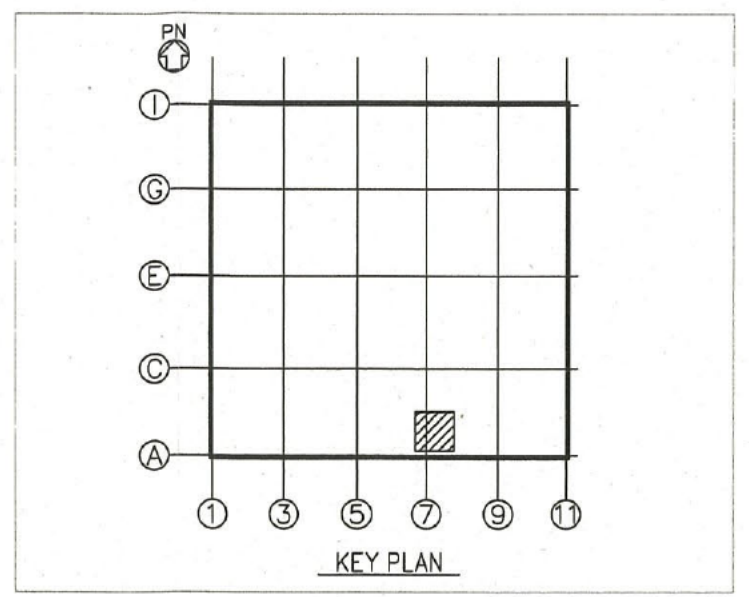
名称	配置図
フロア	B2F



7

A

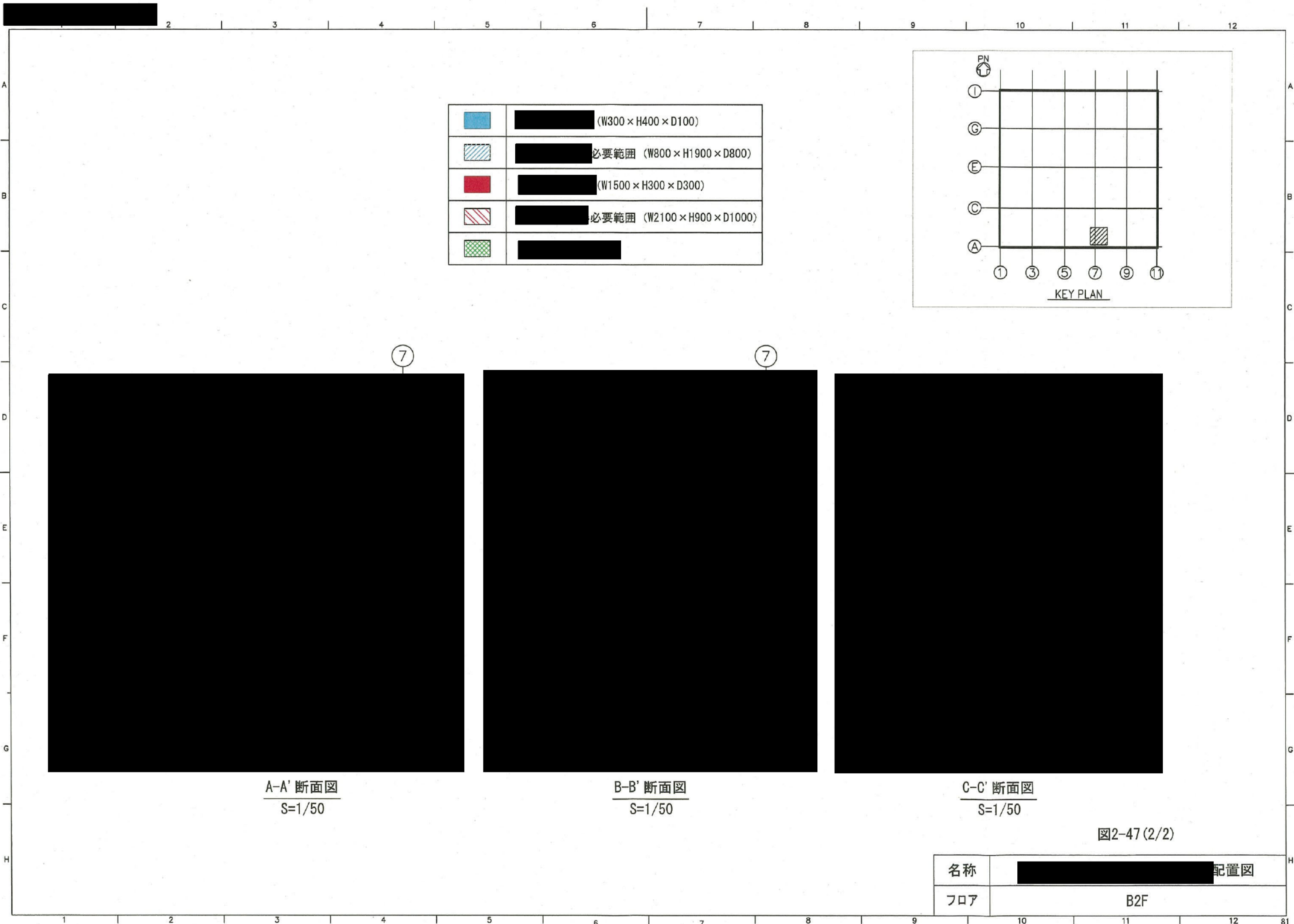
平面図
S=1/50



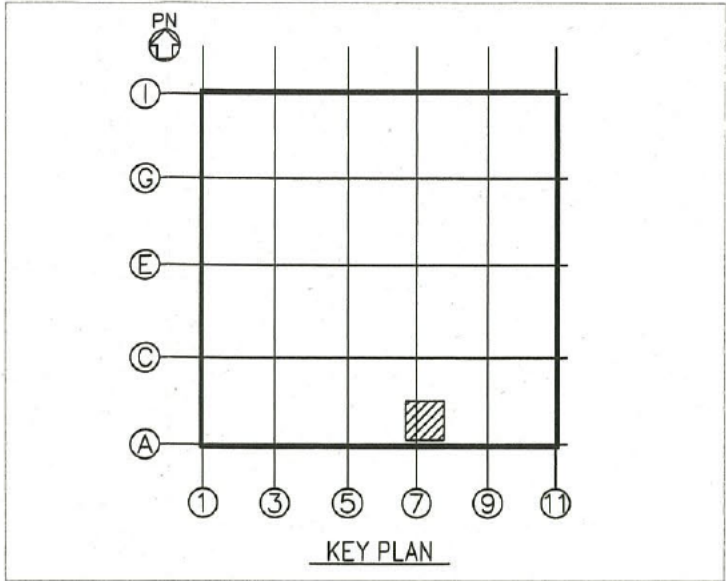
	(W300 × H400 × D100)
	必要範囲 (W800 × H1900 × D800)
	(W1500 × H300 × D300)
	必要範囲 (W2100 × H900 × D1000)

図2-47 (1/2)

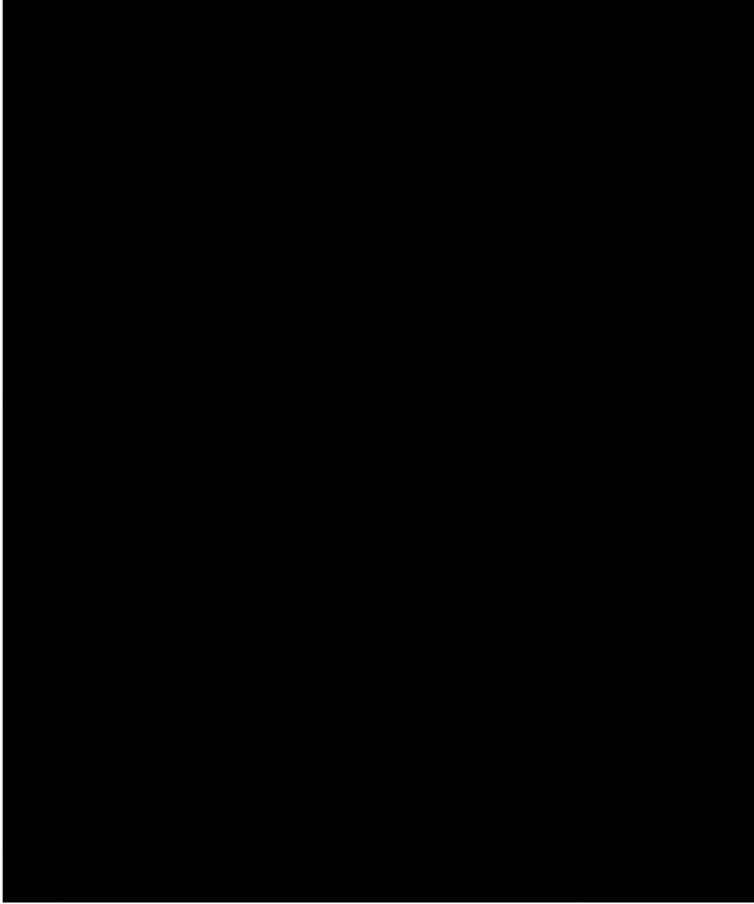
名称	配置図
フロア	B2F



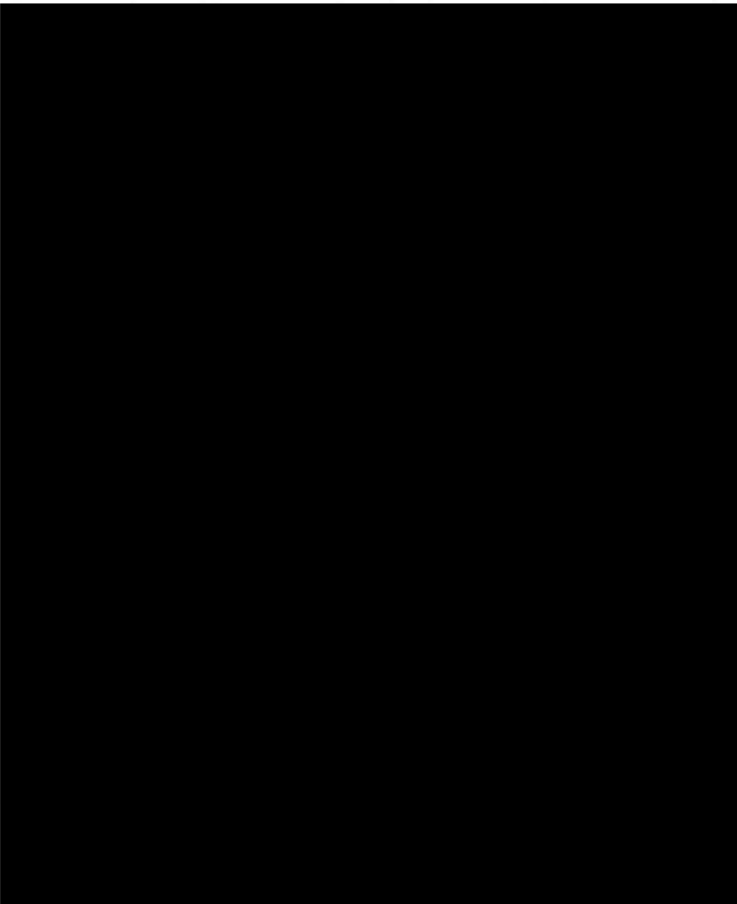
	■■■■■ (W300 × H400 × D100)
	■■■■■ 必要範囲 (W800 × H1900 × D800)
	■■■■■ (W1500 × H300 × D300)
	■■■■■ 必要範囲 (W2100 × H900 × D1000)
	■■■■■



A-A' 断面図
S=1/50



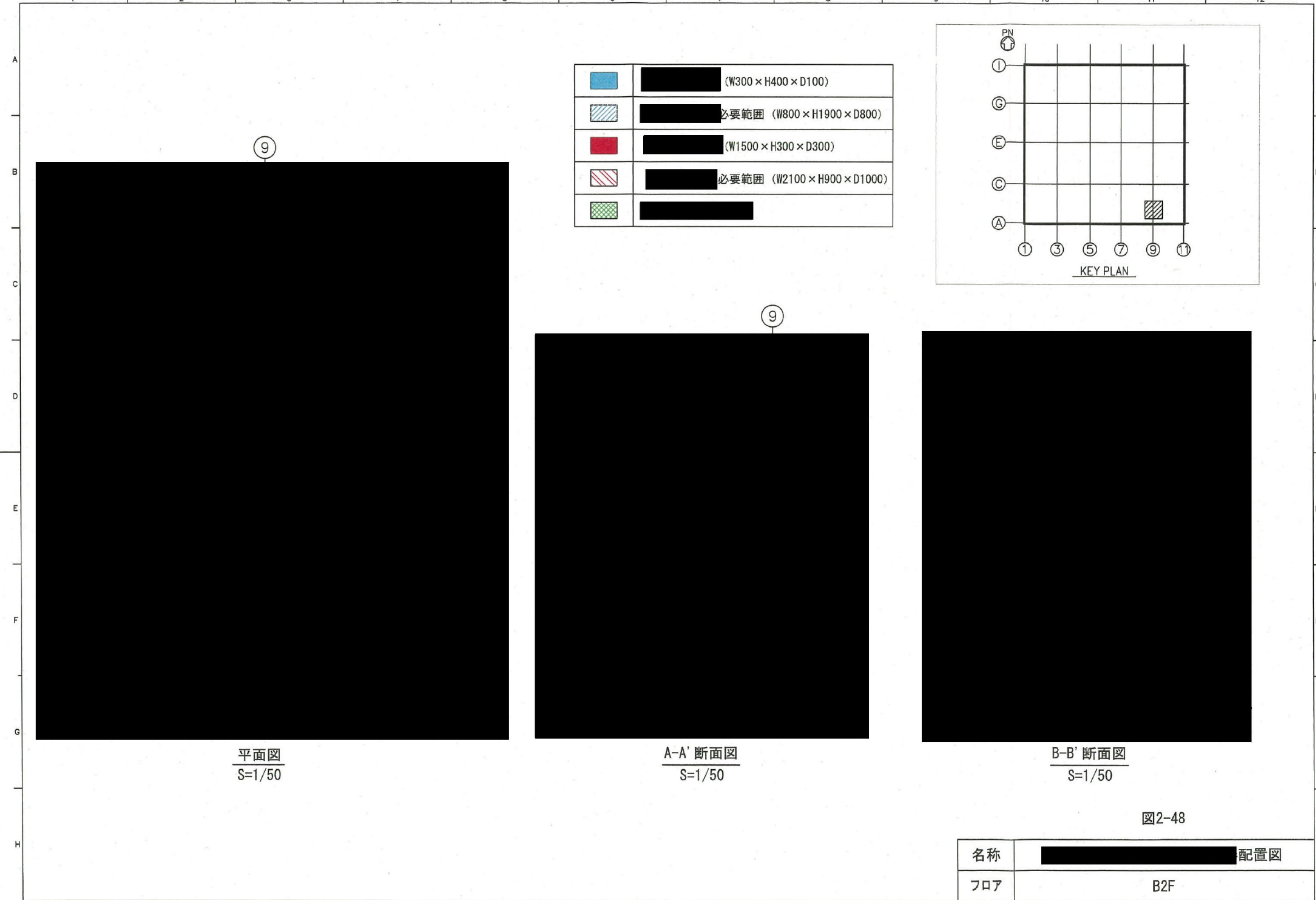
B-B' 断面図
S=1/50



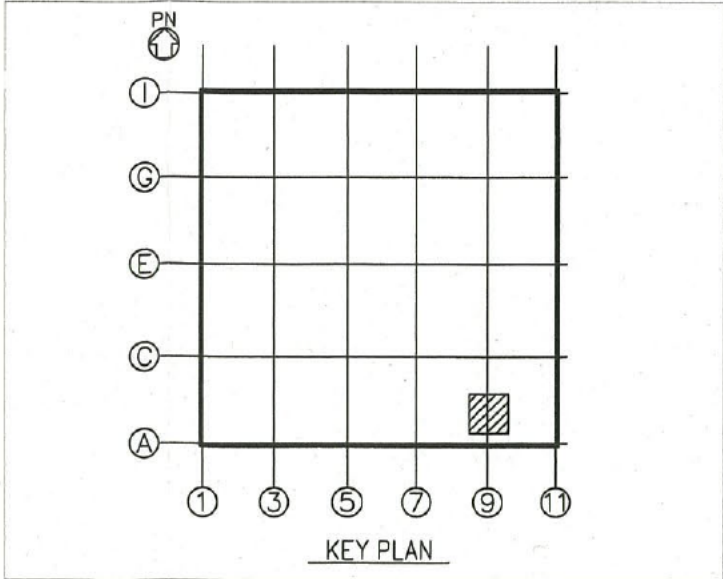
C-C' 断面図
S=1/50

図2-47 (2/2)

名称	■■■■■ 配置図
フロア	B2F



	(W300 × H400 × D100)
	必要範囲 (W800 × H1900 × D800)
	(W1500 × H300 × D300)
	必要範囲 (W2100 × H900 × D1000)



平面図
S=1/50

A-A' 断面図
S=1/50

B-B' 断面図
S=1/50

図2-48

名称	配置図
フロア	B2F

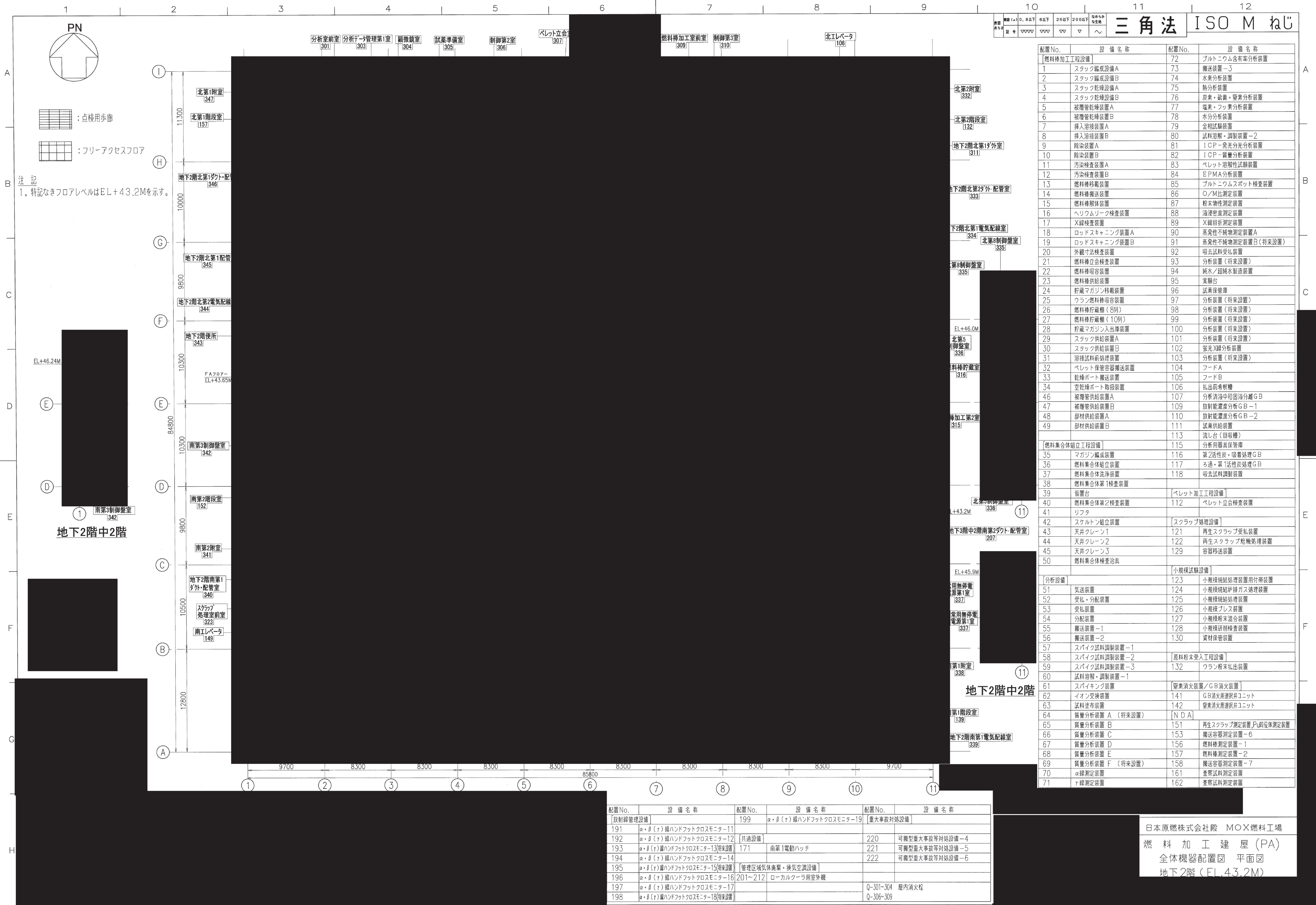


配置No.	設備名称
【原料粉末受入工程設備】	
1	潤滑油送台車
2	排塵室クレーン
3	一時排塵ピット
5	受塵ピット
6	受塵天井クレーン
【粉末加工工程設備】	
12	原料粉末搬送装置
【ペレット加工工程設備】	
14	プレス装置A(粉末取込部)
15	プレス装置B(粉末取込部)
16	焼結ボート搬送装置
17	ペレット後容室搬送装置
18	空焼結ボート取込装置
19	細粉粉本谷搬送装置
20	焼結炉A線ガス処理装置
21	焼結炉B線ガス処理装置
22	焼結炉C線ガス処理装置
【NDA】	
30	搬送容器測定装置-8
31	搬送容器測定装置-5
32	搬送容器測定装置-9
【清浄作業工程設備】	
51	手洗水・シャワー水受槽
【防火ダンパ作動設備】	
61	防火ダンパ作動用選別機ユニット
62	防火ダンパ作動用選別機ユニット
Q-202 屋内消火栓	

注記
1. 特記なきフロアレベルはEL+38.3Mを示す。

- : 点検用歩廊(機電側)
- : 点検用歩廊(建築側)
- : フリーアクセスフロア

日本原燃株式会社 燃 MOX燃料工場
燃料加工建屋(PA)
全体機器配置図 平面図
地下3階中2階(EL+38.3M)



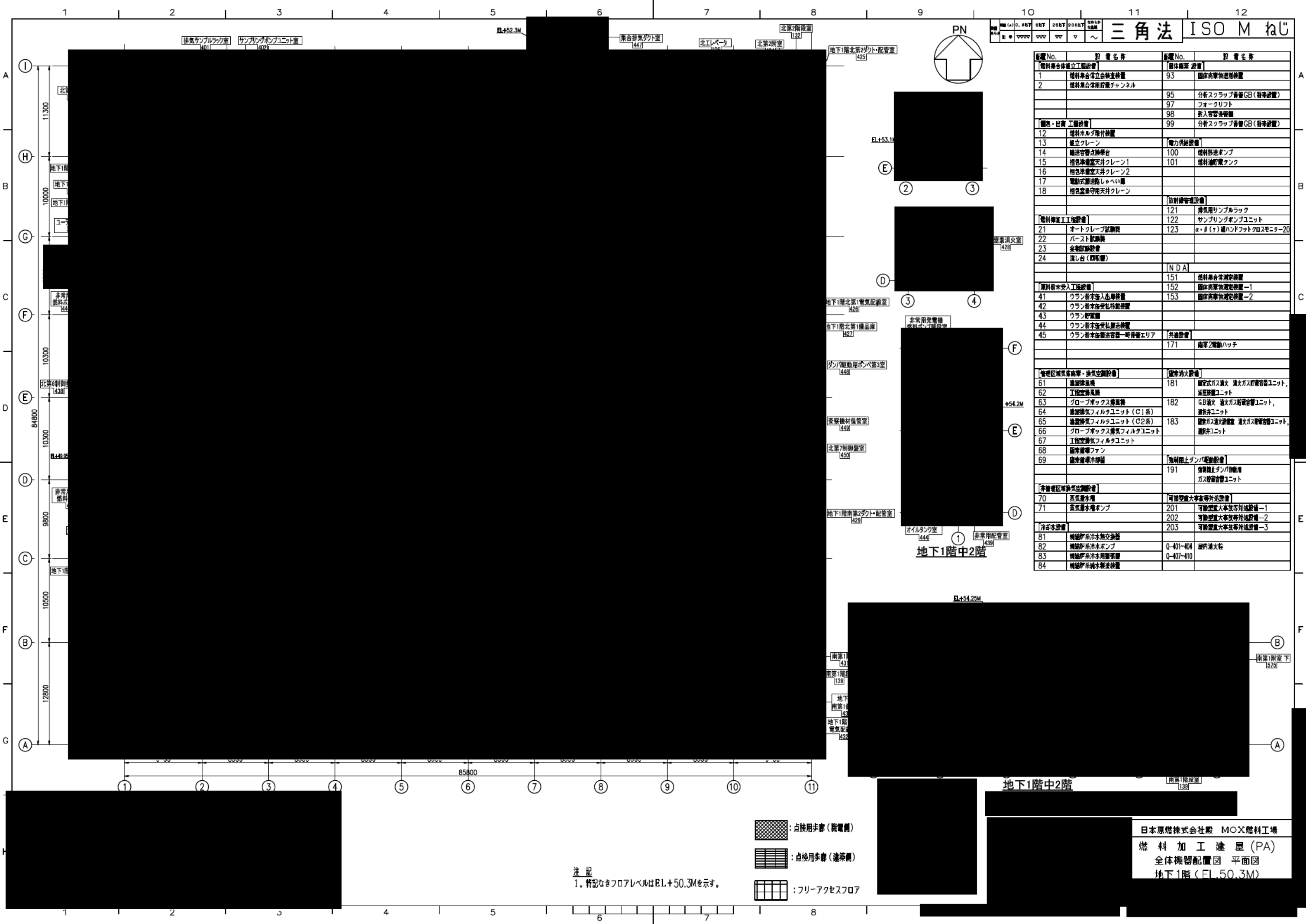
三角法 ISO M ねじ

配置No.	設備名称	配置No.	設備名称
1	燃料棒加工工程設備	72	燃料棒加工工程設備
2	燃料棒加工工程設備	73	燃料棒加工工程設備
3	燃料棒加工工程設備	74	燃料棒加工工程設備
4	燃料棒加工工程設備	75	燃料棒加工工程設備
5	燃料棒加工工程設備	76	燃料棒加工工程設備
6	燃料棒加工工程設備	77	燃料棒加工工程設備
7	燃料棒加工工程設備	78	燃料棒加工工程設備
8	燃料棒加工工程設備	79	燃料棒加工工程設備
9	燃料棒加工工程設備	80	燃料棒加工工程設備
10	燃料棒加工工程設備	81	燃料棒加工工程設備
11	燃料棒加工工程設備	82	燃料棒加工工程設備
12	燃料棒加工工程設備	83	燃料棒加工工程設備
13	燃料棒加工工程設備	84	燃料棒加工工程設備
14	燃料棒加工工程設備	85	燃料棒加工工程設備
15	燃料棒加工工程設備	86	燃料棒加工工程設備
16	燃料棒加工工程設備	87	燃料棒加工工程設備
17	燃料棒加工工程設備	88	燃料棒加工工程設備
18	燃料棒加工工程設備	89	燃料棒加工工程設備
19	燃料棒加工工程設備	90	燃料棒加工工程設備
20	燃料棒加工工程設備	91	燃料棒加工工程設備
21	燃料棒加工工程設備	92	燃料棒加工工程設備
22	燃料棒加工工程設備	93	燃料棒加工工程設備
23	燃料棒加工工程設備	94	燃料棒加工工程設備
24	燃料棒加工工程設備	95	燃料棒加工工程設備
25	燃料棒加工工程設備	96	燃料棒加工工程設備
26	燃料棒加工工程設備	97	燃料棒加工工程設備
27	燃料棒加工工程設備	98	燃料棒加工工程設備
28	燃料棒加工工程設備	99	燃料棒加工工程設備
29	燃料棒加工工程設備	100	燃料棒加工工程設備
30	燃料棒加工工程設備	101	燃料棒加工工程設備
31	燃料棒加工工程設備	102	燃料棒加工工程設備
32	燃料棒加工工程設備	103	燃料棒加工工程設備
33	燃料棒加工工程設備	104	燃料棒加工工程設備
34	燃料棒加工工程設備	105	燃料棒加工工程設備
35	燃料棒加工工程設備	106	燃料棒加工工程設備
36	燃料棒加工工程設備	107	燃料棒加工工程設備
37	燃料棒加工工程設備	108	燃料棒加工工程設備
38	燃料棒加工工程設備	109	燃料棒加工工程設備
39	燃料棒加工工程設備	110	燃料棒加工工程設備
40	燃料棒加工工程設備	111	燃料棒加工工程設備
41	燃料棒加工工程設備	112	燃料棒加工工程設備
42	燃料棒加工工程設備	113	燃料棒加工工程設備
43	燃料棒加工工程設備	114	燃料棒加工工程設備
44	燃料棒加工工程設備	115	燃料棒加工工程設備
45	燃料棒加工工程設備	116	燃料棒加工工程設備
46	燃料棒加工工程設備	117	燃料棒加工工程設備
47	燃料棒加工工程設備	118	燃料棒加工工程設備
48	燃料棒加工工程設備	119	燃料棒加工工程設備
49	燃料棒加工工程設備	120	燃料棒加工工程設備
50	燃料棒加工工程設備	121	燃料棒加工工程設備
51	燃料棒加工工程設備	122	燃料棒加工工程設備
52	燃料棒加工工程設備	123	燃料棒加工工程設備
53	燃料棒加工工程設備	124	燃料棒加工工程設備
54	燃料棒加工工程設備	125	燃料棒加工工程設備
55	燃料棒加工工程設備	126	燃料棒加工工程設備
56	燃料棒加工工程設備	127	燃料棒加工工程設備
57	燃料棒加工工程設備	128	燃料棒加工工程設備
58	燃料棒加工工程設備	129	燃料棒加工工程設備
59	燃料棒加工工程設備	130	燃料棒加工工程設備
60	燃料棒加工工程設備	131	燃料棒加工工程設備
61	燃料棒加工工程設備	132	燃料棒加工工程設備
62	燃料棒加工工程設備	133	燃料棒加工工程設備
63	燃料棒加工工程設備	134	燃料棒加工工程設備
64	燃料棒加工工程設備	135	燃料棒加工工程設備
65	燃料棒加工工程設備	136	燃料棒加工工程設備
66	燃料棒加工工程設備	137	燃料棒加工工程設備
67	燃料棒加工工程設備	138	燃料棒加工工程設備
68	燃料棒加工工程設備	139	燃料棒加工工程設備
69	燃料棒加工工程設備	140	燃料棒加工工程設備
70	燃料棒加工工程設備	141	燃料棒加工工程設備
71	燃料棒加工工程設備	142	燃料棒加工工程設備

配置No.	設備名称	配置No.	設備名称	配置No.	設備名称
191	放射線管理設備	199	放射線モニタ	200	放射線モニタ
192	放射線モニタ	201	放射線モニタ	202	放射線モニタ
193	放射線モニタ	203	放射線モニタ	204	放射線モニタ
194	放射線モニタ	205	放射線モニタ	206	放射線モニタ
195	放射線モニタ	207	放射線モニタ	208	放射線モニタ
196	放射線モニタ	209	放射線モニタ	210	放射線モニタ
197	放射線モニタ	211	放射線モニタ	212	放射線モニタ
198	放射線モニタ	213	放射線モニタ	214	放射線モニタ

日本原燃株式会社 MOX燃料工場
 燃料加工建屋 (PA)
 全体機器配置図 平面図
 地下2階 (EL+43.2M)

燃料加工建屋に設置するSG設備 地下2階 (3/7)

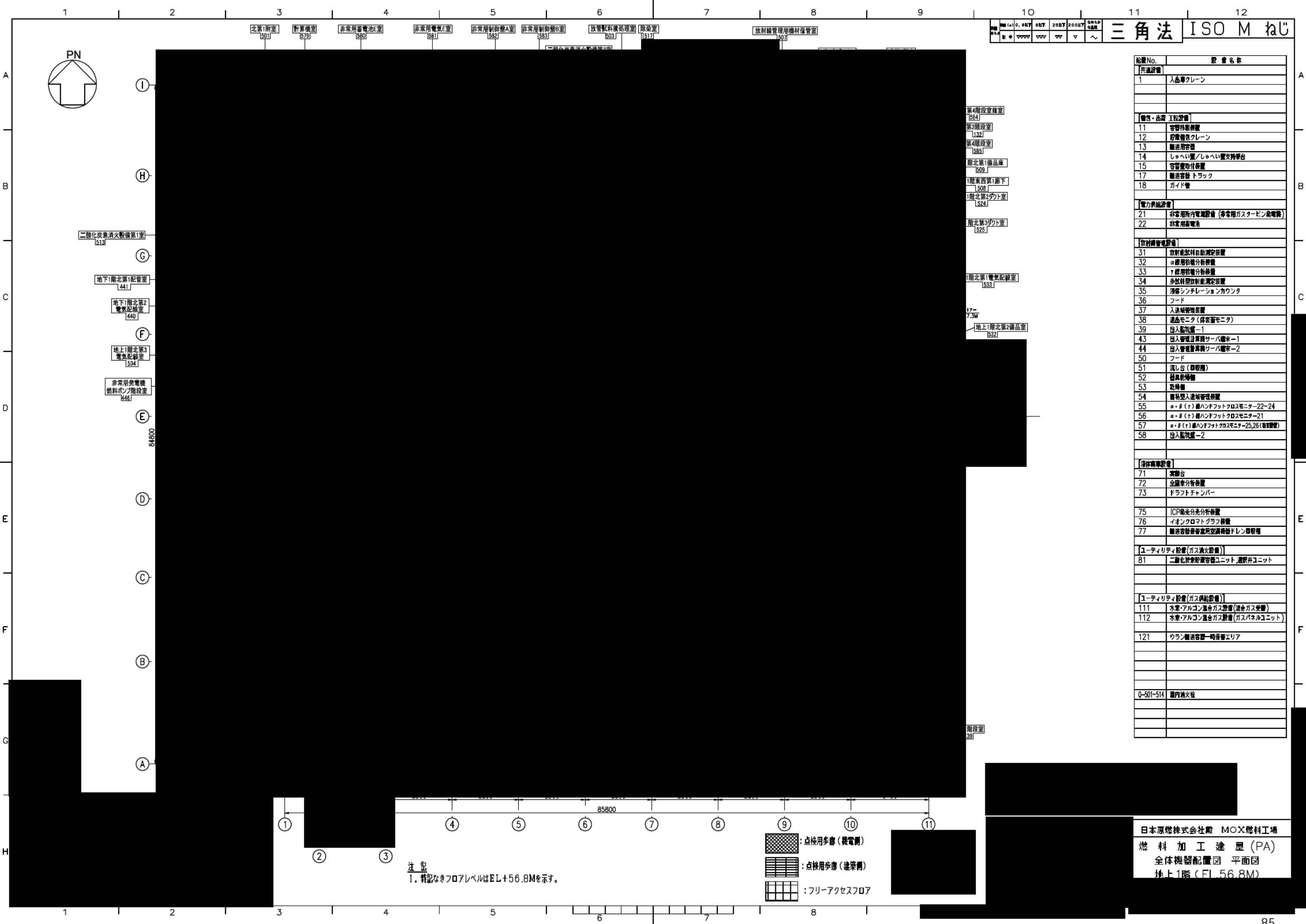


配置No.	設置名称	配置No.	設置名称
【燃料検査設備】			
1	燃料検査立上り検査機	93	燃料検査立上り検査機
2	燃料検査用搬送チャンネル	95	燃料検査用搬送チャンネル
		96	燃料検査用搬送チャンネル
		97	燃料検査用搬送チャンネル
		98	燃料検査用搬送チャンネル
		99	燃料検査用搬送チャンネル
【燃料検査用搬送設備】			
12	燃料検査用搬送機		
13	燃料検査用搬送機		
14	燃料検査用搬送機		
15	燃料検査用搬送機		
16	燃料検査用搬送機		
17	燃料検査用搬送機		
18	燃料検査用搬送機		
【燃料検査用搬送機】			
21	燃料検査用搬送機	121	燃料検査用搬送機
22	燃料検査用搬送機	122	燃料検査用搬送機
23	燃料検査用搬送機	123	燃料検査用搬送機
24	燃料検査用搬送機		
【燃料検査用搬送機】			
41	燃料検査用搬送機	152	燃料検査用搬送機
42	燃料検査用搬送機	153	燃料検査用搬送機
43	燃料検査用搬送機		
44	燃料検査用搬送機		
45	燃料検査用搬送機		
【燃料検査用搬送機】			
61	燃料検査用搬送機	181	燃料検査用搬送機
62	燃料検査用搬送機	182	燃料検査用搬送機
63	燃料検査用搬送機	183	燃料検査用搬送機
64	燃料検査用搬送機		
65	燃料検査用搬送機		
66	燃料検査用搬送機		
67	燃料検査用搬送機		
68	燃料検査用搬送機		
69	燃料検査用搬送機		
【燃料検査用搬送機】			
70	燃料検査用搬送機	201	燃料検査用搬送機
71	燃料検査用搬送機	202	燃料検査用搬送機
72	燃料検査用搬送機	203	燃料検査用搬送機
【燃料検査用搬送機】			
81	燃料検査用搬送機		
82	燃料検査用搬送機		
83	燃料検査用搬送機		
84	燃料検査用搬送機		

注記
1. 特記なきフロアレベルはEL+50.3Mを示す。

- : 点検用歩廊 (機電側)
- : 点検用歩廊 (建築側)
- : フリーアクセスフロア

日本原燃株式会社 燃料加工建屋 (PA)
全体機器配置図 平面図
地下1階 (EL+50.3M)



種別	0.4kV	6kV	20kV	200kV	200kV以上
電圧	▽	▽	▽	▽	▽

三角法 ISO M ねじ

設備No.	設備名称
共通設備	
1	入出庫クレーン
梱包・出荷 工程設備	
11	容積移動装置
12	貯蔵用クレーン
13	輸送用容器
14	しゃへい臺/しゃへい臺支脚架台
15	容積量取付装置
17	輸送容器 トラック
18	ガイド管
電力供給設備	
21	非常用内電線設備 (非常用ガスタービン発電機)
22	非常用蓄電池
放射線管理設備	
31	放射能汚染自動測定装置
32	α線用汚染分析装置
33	β線用汚染分析装置
34	多相線型放射能測定装置
35	溶解シンチレーションカウンタ
36	フード
37	入出庫管理装置
38	退出モニタ (除去管モニタ)
39	出入監視器-1
43	出入監視計算機サーバ端末-1
44	出入監視計算機サーバ端末-2
50	フード
51	流し台 (取替機)
52	器具乾燥機
53	乾燥機
54	簡易型入出庫管理装置
55	α・β (γ) 線ハンドフットクロスモニター-22~24
56	α・β (γ) 線ハンドフットクロスモニター-21
57	α・β (γ) 線ハンドフットクロスモニター-25,26 (管理室)
58	出入監視器-2
溶出機設備	
71	実験台
72	全要素分析装置
73	ドラフトチャンバー
75	ICP発光分光分析装置
76	イオンクロマトグラフ装置
77	輸送容器保管室空調機送風ドレン取付機
ユーティリティ設備 (ガス供給設備)	
81	二酸化炭素貯蔵容器ユニット、選択弁ユニット
ユーティリティ設備 (ガス供給設備)	
111	水素・アルゴン混合ガス設備 (混合ガス受槽)
112	水素・アルゴン混合ガス設備 (ガスパネルユニット)
121	ウラン輸送容器一時保管エリア
Q-501-514	屋内消火栓

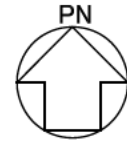
第4階段後室 [584]
 第2階段室 [132]
 第4階段室 [585]
 階北第1品庫 [509]
 1階東第1廊下 [508]
 1階北第2サブ室 [524]
 階北第3サブ室 [525]
 1階北第1電気配線室 [533]
 17F-7.3M
 地上1階北第2品庫室 [532]

二酸化炭素消火設備第1室 [513]
 地下1階北第1配管室 [441]
 地下1階北第2電気配線室 [440]
 地上1階北第3電気配線室 [534]
 非常用発電機燃料ポンプ階段室 [446]

注記
 1. 特記なきフロアレベルはEL+56.8Mを示す。

: 点検用歩廊 (機械側)
 : 点検用歩廊 (建築側)
 : フリーアクセスフロア

日本原燃株式会社 燃 MOX燃料工場
 燃料加工建屋 (PA)
 全体機器配置図 平面図
 地上1階 (EL+56.8M)



配置No.	設備名称
[備品・出資工機設備]	
1	槽色天井クレーン
2	保管室天井クレーン
[共通設備]	
11	設備搬入用クレーン
[管理区域気体検察・換気空調設備]	
21	冷卻塔
[非管理区域換気空調設備]	
31	常時換気率1室パッケージ型外機
32	非常時換気率マルチパッケージ型外機
33	監視室等マルチパッケージ型外機



11300
10000
9800
10300
84800
10300
9800
10500
12800

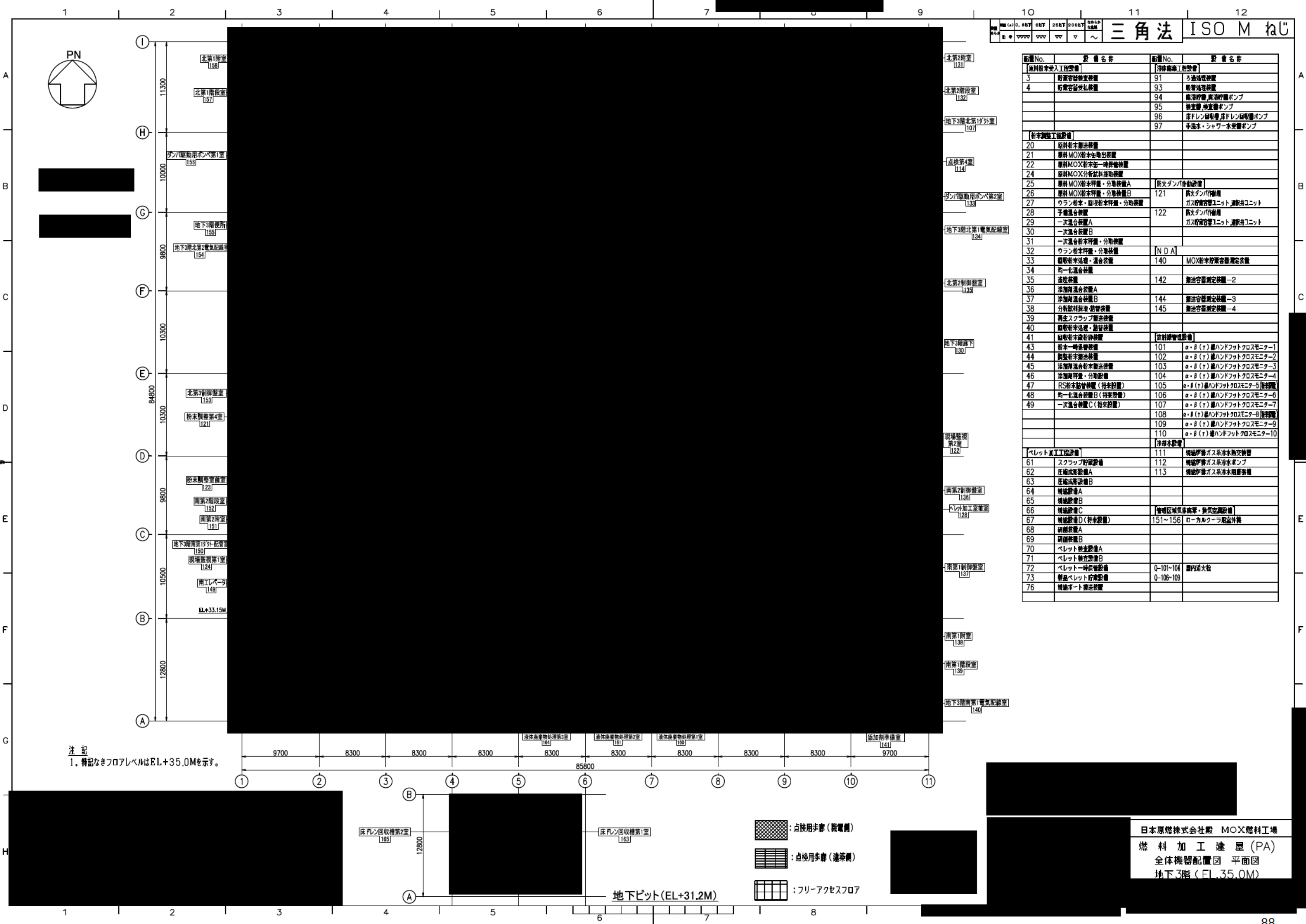
南第3階 B5
南第2階 L5
南第1階 L2
南工機階 703
設備搬入口棟 1619

9700 8300 8300 8300 8300 8300 8300 8300 8300 8300 9700
85800

注記
1. 特記なきフロアレベルはEL+70.2Mを示す。

- : 点検用歩廊 (機電側)
- : 点検用歩廊 (建築側)
- : フリーアクセスフロア

日本原燃株式会社 燃 MOX燃料工場
燃料加工建屋 (PA)
全体機器配置図 平面図
塔屋階 (EL.70.2M)



三角法 ISO M ねじ

配置No.	設備名称	配置No.	設備名称
3	貯蔵容器検査装置	91	ろ過処理装置
4	貯蔵容器受払装置	93	搬送装置
		94	高圧貯蔵 高圧貯蔵ポンプ
		95	排定機 排定機ポンプ
		96	床ドレン回収機 床ドレン回収機ポンプ
		97	手洗水・シャワー水受取ポンプ
【新増設設備】			
20	原料粉末搬送装置		
21	原料MOX粉末搬出装置		
22	原料MOX粉末受払一時貯蔵装置		
24	原料MOX分析試料採取装置		
25	原料MOX粉末秤量・分取装置A		
26	原料MOX粉末秤量・分取装置B	121	防火ダンパ制御
27	ウラン粉末・回収粉末秤量・分取装置		ガス貯蔵容器ユニット 選択ユニット
28	予備混合装置	122	防火ダンパ制御
29	一次混合装置A		ガス貯蔵容器ユニット 選択ユニット
30	一次混合装置B		
31	一次混合粉末秤量・分取装置		
32	ウラン粉末秤量・分取装置		NDA
33	回収粉末処理・混合装置	140	MOX粉末貯蔵容器測定装置
34	均一化混合装置		
35	濃化装置	142	測定容器測定装置-2
36	添加剤混合装置A		
37	添加剤混合装置B	144	測定容器測定装置-3
38	分析試料採取 貯蔵装置	145	測定容器測定装置-4
39	再生スクラップ搬送装置		
40	回収粉末処理・貯蔵装置		
41	回収粉末搬出装置		
43	粉末一時貯蔵装置	101	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-1
44	回収粉末搬送装置	102	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-2
45	添加剤混合粉末搬送装置	103	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-3
46	添加剤秤量・分取装置	104	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-4
47	RS粉末貯蔵装置 (待機装置)	105	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-5 (待機装置)
48	均一化混合装置日 (待機装置)	106	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-6
49	一次混合装置C (待機装置)	107	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-7
		108	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-8 (待機装置)
		109	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-9
		110	α・β (r) 線ハンドフットクロスモニター-10
			【浄水設備】
		111	焼結炉排ガス系冷水熱交換器
		112	焼結炉排ガス系冷水ポンプ
		113	焼結炉排ガス系冷水用配管機
			【管理区域気体検知・換気設備】
		151~156	ローカルクラリアー気体検知
			【ベレット加工設備】
61	スクラップ貯蔵装置		
62	圧縮成形装置A		
63	圧縮成形装置B		
64	焼結装置A		
65	焼結装置日		
66	焼結装置C		
67	焼結装置D (待機装置)		
68	研削装置A		
69	研削装置日		
70	ベレット検査装置A		
71	ベレット検査装置B		
72	ベレット一時貯蔵装置	Q-101~104	屋内消火栓
73	製成ベレット貯蔵装置	Q-106~109	
76	焼結ボート搬送装置		

注記
1. 特記なきフロアレベルはEL+35.0Mを示す。

- 点検用歩廊 (機電側)
- 点検用歩廊 (遠業側)
- フリーアクセスフロア

日本原燃株式会社 燃料加工建屋 (PA)
全体機器配置図 平面図
地下3階 (EL+35.0M)

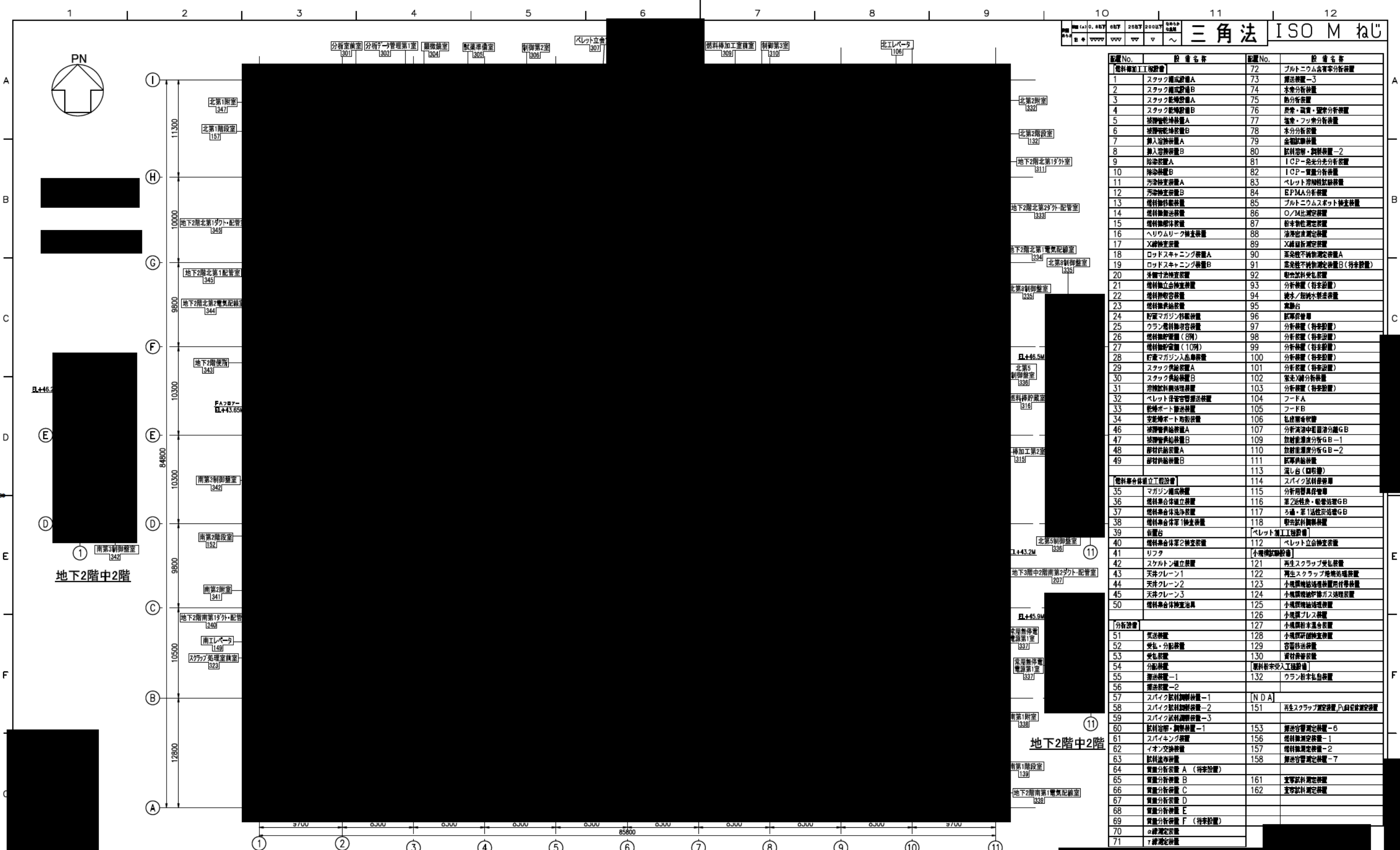


配置No.	設備名称
【原料粉末受入工程設備】	
1	潤滑油送付車
2	排煙室クレーン
3	一時検査ピット
5	受渡ピット
6	受渡天井クレーン
【粉末加工工程設備】	
12	原料粉末搬送装置
【ペレット加工工程設備】	
14	プレス装置A(粉末取込部)
15	プレス装置B(粉末取込部)
16	焼結ボート搬送装置
17	ペレット後保管装置搬送装置
18	空焼結ボート取込装置
19	細粉粉末保管装置
20	焼結炉A線ガス処理装置
21	焼結炉B線ガス処理装置
22	焼結炉C線ガス処理装置
【NDA】	
30	搬送装置測定装置-8
31	搬送装置測定装置-5
32	搬送装置測定装置-9
【清浄作業工程設備】	
51	手洗水・シャワー水受槽
【防火ダンパ作動設備】	
61	防火ダンパ作動用選別機ユニット
62	防火ダンパ作動用選別機ユニット
Q-202 屋内消火栓	

注記
1. 特記なきフロアレベルはEL+38.3Mを示す。

- : 点検用歩廊(機電側)
- : 点検用歩廊(建築側)
- : フリーアクセスフロア

日本原燃株式会社 燃 MOX燃料工場
燃料加工建屋(PA)
全体機器配置図 平面図
地下3階中2階(EL.38.3M)



三角法 ISO M ねじ

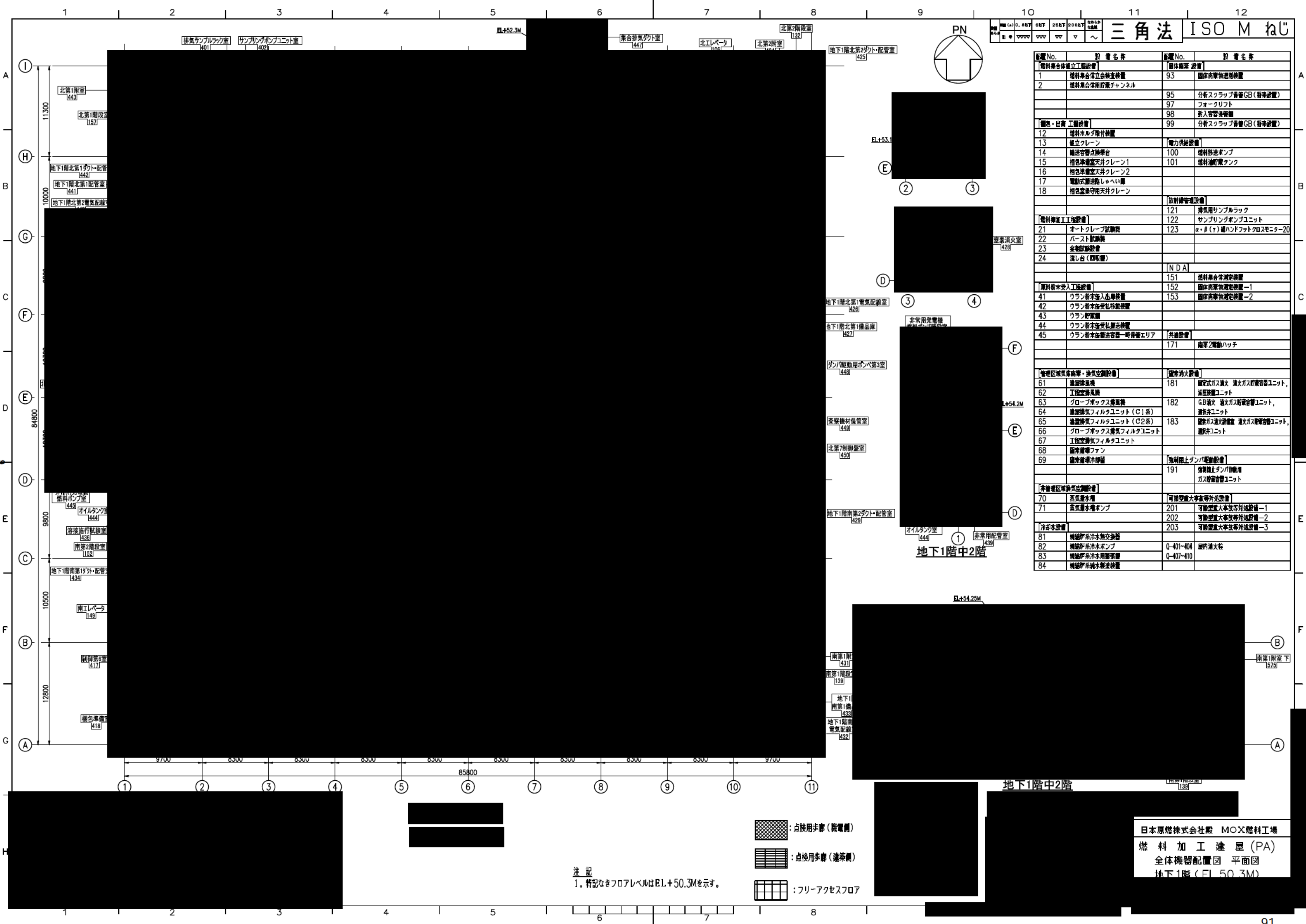
配置No.	設備名称	配置No.	設備名称
【燃料加工工程設備】			
1	スタック構成設備A	72	フルトニウム含有率分析装置
2	スタック構成設備B	73	搬送装置-3
3	スタック乾燥設備A	74	水分分析装置
4	スタック乾燥設備B	75	水分分析装置
5	燃料乾燥機A	76	灰率・灰質・窒素分析装置
6	燃料乾燥機B	77	塩素・フッ素分析装置
7	排入治練装置A	78	水分分析装置
8	排入治練装置B	79	全粒試験装置
9	除染装置A	80	燃料治練・調整装置-2
10	除染装置B	81	ICP-発光分光分析装置
11	汚染検査装置A	82	ICP-質量分析装置
12	汚染検査装置B	83	ベレット溶解試験装置
13	燃料乾燥機A	84	EPMA分析装置
14	燃料乾燥機B	85	フルトニウムスポット検査装置
15	燃料乾燥機A	86	α/M比測定装置
16	ヘリウムリーク検査装置	87	粉末物性測定装置
17	X線検査装置	88	溶液密度測定装置
18	ロッドスキャニング装置A	89	X線密度測定装置
19	ロッドスキャニング装置B	90	放射性不純物測定装置A
20	外観寸法検査装置	91	放射性不純物測定装置B(待来設置)
21	燃料検査台検査装置	92	軟性燃料受払装置
22	燃料検査台検査装置	93	分析装置(待来設置)
23	燃料検査台検査装置	94	絶水/超純水製造装置
24	貯蔵マガジン移送装置	95	実験台
25	ウラン燃料検査装置	96	燃料検査車
26	燃料検査装置(8列)	97	分析装置(待来設置)
27	燃料検査装置(10列)	98	分析装置(待来設置)
28	貯蔵マガジン入出庫装置	99	分析装置(待来設置)
29	スタック供給装置A	100	分析装置(待来設置)
30	スタック供給装置B	101	分析装置(待来設置)
31	溶融燃料調製装置	102	蛍光X線分析装置
32	ベレット保管管理装置	103	分析装置(待来設置)
33	乾燥ポート搬送装置	104	フードA
34	空乾燥ポート搬送装置	105	フードB
35	燃料検査台検査装置	106	私用倉庫
36	燃料検査台検査装置	107	分析装置(待来設置)
37	燃料検査台検査装置	108	放射能濃度分析GB-1
38	燃料検査台検査装置	109	放射能濃度分析GB-2
39	検査台	110	燃料検査装置
40	燃料検査台検査装置	111	燃料検査装置
41	リフト	112	深し台(取付)
42	スケルトン組立装置	113	深し台(取付)
43	天井クレーン1	114	スパイク試験装置
44	天井クレーン2	115	分析用器具保管庫
45	天井クレーン3	116	第2活性炭・脱炭装置GB
46	燃料検査台検査装置	117	ろ過・第1活性炭装置GB
47	燃料検査台検査装置	118	軟性燃料調製装置
48	燃料検査台検査装置	119	燃料検査台検査装置
49	燃料検査台検査装置	120	燃料検査台検査装置
50	燃料検査台検査装置	121	燃料検査台検査装置
51	燃料検査台検査装置	122	燃料検査台検査装置
52	燃料検査台検査装置	123	燃料検査台検査装置
53	燃料検査台検査装置	124	燃料検査台検査装置
54	燃料検査台検査装置	125	燃料検査台検査装置
55	燃料検査台検査装置	126	燃料検査台検査装置
56	燃料検査台検査装置	127	燃料検査台検査装置
57	燃料検査台検査装置	128	燃料検査台検査装置
58	燃料検査台検査装置	129	燃料検査台検査装置
59	燃料検査台検査装置	130	燃料検査台検査装置
60	燃料検査台検査装置	131	燃料検査台検査装置
61	燃料検査台検査装置	132	燃料検査台検査装置
62	燃料検査台検査装置	133	燃料検査台検査装置
63	燃料検査台検査装置	134	燃料検査台検査装置
64	燃料検査台検査装置	135	燃料検査台検査装置
65	燃料検査台検査装置	136	燃料検査台検査装置
66	燃料検査台検査装置	137	燃料検査台検査装置
67	燃料検査台検査装置	138	燃料検査台検査装置
68	燃料検査台検査装置	139	燃料検査台検査装置
69	燃料検査台検査装置	140	燃料検査台検査装置
70	燃料検査台検査装置	141	燃料検査台検査装置
71	燃料検査台検査装置	142	燃料検査台検査装置

注記
1. 特記なきフロアレベルはEL+43.2Mを示す。

配置No.	設備名称	配置No.	設備名称	配置No.	設備名称
191	α・β (γ) 線ハンドフットクロスモニター-11	197	α・β (γ) 線ハンドフットクロスモニター-17	201~209	管理区域気体循環・換気空調設備
192	α・β (γ) 線ハンドフットクロスモニター-12	198	α・β (γ) 線ハンドフットクロスモニター-18		ローカルコントロール室外機
193	α・β (γ) 線ハンドフットクロスモニター-13	199	α・β (γ) 線ハンドフットクロスモニター-19		
194	α・β (γ) 線ハンドフットクロスモニター-14				
195	α・β (γ) 線ハンドフットクロスモニター-15			Q-301~304	屋内消火栓
196	α・β (γ) 線ハンドフットクロスモニター-16	171	南第1階ハッチ	Q-306~309	

- : 点検用歩廊(機側)
- : 点検用歩廊(建側)
- : フリーアクセスフロア

日本原燃株式会社 燃料加工工場
燃料加工建屋(PA)
全体機器配置図 平面図
地下2階(EL.43.2M)



三角法 ISO M ねじ

配置No.	設置名称	配置No.	設置名称
【燃料集合体竣工設備】			
1	燃料集合体立上検査機	93	燃料集合体立上検査機
2	燃料集合体用貯蔵チャンネル	95	分析スクラップ検査GB(特殊設置)
		97	フォークリフト
		98	斜入管受け管
		99	分析スクラップ検査GB(特殊設置)
【梱包・出荷 工機設備】			
12	燃料ホルダ取付装置		
13	搬上クレーン		電力供給設備
14	輸送台車検査台	100	燃料移送ポンプ
15	梱包準備室天井クレーン1	101	燃料貯蔵タンク
16	梱包準備室天井クレーン2		
17	電動式搬送機しゃへい車		
18	梱包準備室天井クレーン		
			放射線管理設備
		121	換気用サンムラック
		122	サンプリングポンプユニット
【燃料検査工機設備】			
21	オートクレーン試験機	123	α・β(γ)線ハンドフットクロスモニター-20
22	バースト試験機		
23	全粒試験機		
24	減し台(四脚型)		
			N D A
		151	燃料集合体測定装置
【燃料前未受入工機設備】			
41	ウラン粉末受入品検査機	152	燃料集合体測定装置-1
42	ウラン粉末受入品検査機	153	燃料集合体測定装置-2
43	ウラン貯蔵機		
44	ウラン粉末受入品検査機		
45	ウラン粉末搬送装置一時保管エリア		共通設備
		171	油圧2電動ハッチ
【管理区域気体廃棄・換気空調設備】			
【廃棄物処理設備】			
61	遠隔操作機	181	固定式ガス漏れ 漏れガス貯蔵容器ユニット、減圧装置ユニット
62	工機空調機		
63	グローブボックス換気機	182	G B漏れ 漏れガス貯蔵容器ユニット、減圧装置ユニット
64	遠隔操作機		
65	遠隔操作機	183	固定式ガス漏れ 漏れガス貯蔵容器ユニット、減圧装置ユニット
66	グローブボックス換気機		
67	工機空調機		
68	遠隔操作機		
69	遠隔操作機		
		191	強制排気ファン
			強制排気ファン
			強制排気ファン
【非管理区域換気空調設備】			
70	蒸気発生機		可燃物燃焼炉等対峙設備
71	蒸気発生機	201	可燃物燃焼炉等対峙設備-1
		202	可燃物燃焼炉等対峙設備-2
		203	可燃物燃焼炉等対峙設備-3
【冷却水設備】			
81	燃料系冷水熱交換機		
82	燃料系冷水ポンプ	Q-401-404	屋内消火栓
83	燃料系冷水用配管	Q-407-410	
84	燃料系冷水熱交換機		

注記
1. 特記なきフロアレベルはEL+50.3Mを示す。

- : 点検用歩廊(機電側)
- : 点検用歩廊(建築側)
- : フリーアクセスフロア

日本原燃株式会社 燃料加工建屋(PA)
全体機器配置図 平面図
地下1階(EL+50.3M)

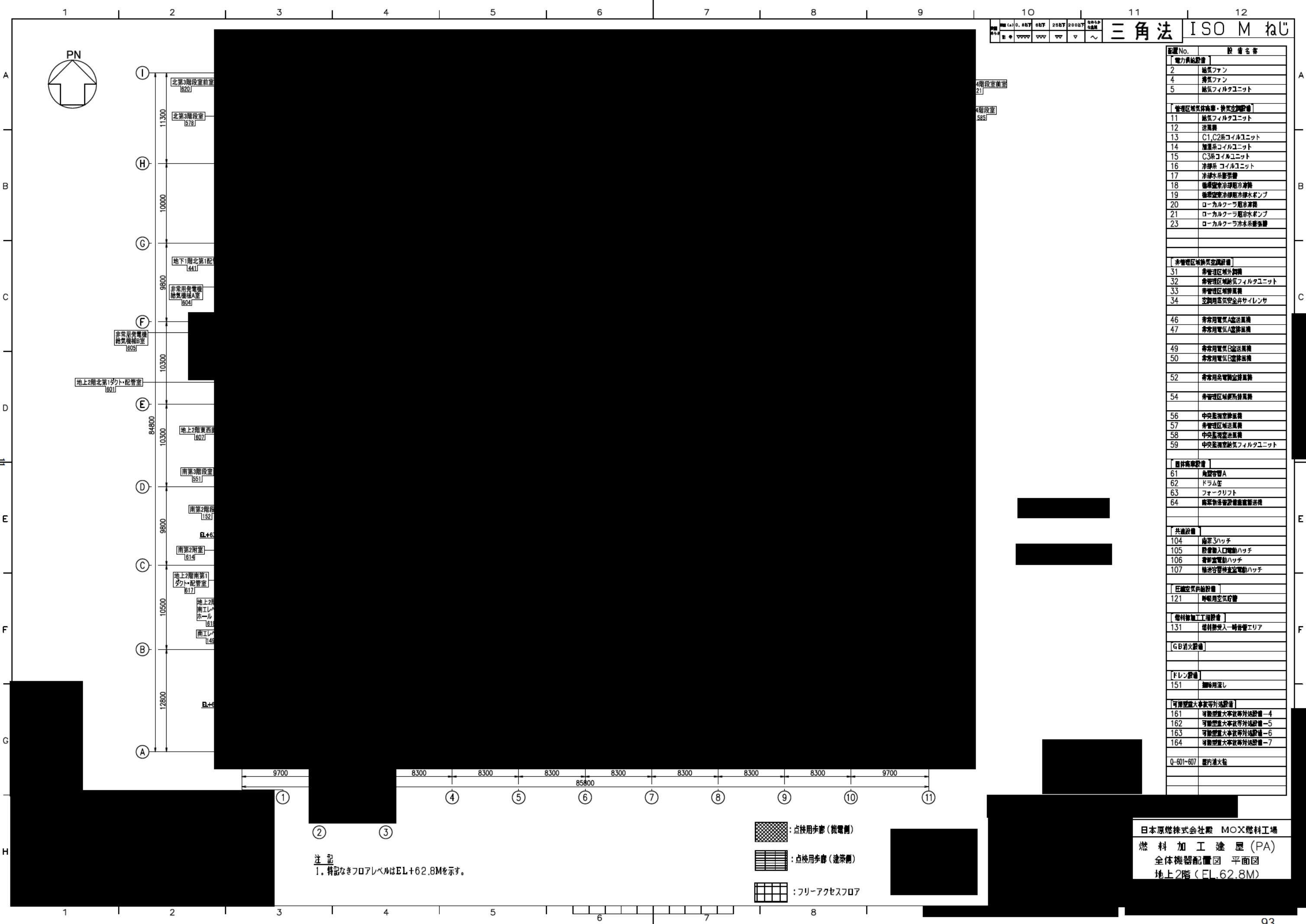


設置No.	設置名称
共通設備	
1	入出庫クレーン
梱包・出荷 工程設備	
11	容器移動装置
12	貯蔵容器クレーン
13	輸送用容器
14	しゃへい臺/しゃへい臺支脚平台
15	容器重量計装置
17	輸送容器 トラック
18	ガイド管
電力供給設備	
21	非常用所内電源設備 (非常用ガスタービン発電機)
22	非常用蓄電池
放射線管理設備	
31	放射能汚染自動測定装置
32	α線用汚染分析装置
33	γ線用汚染分析装置
34	多相線型放射能測定装置
35	溶解シンチレーションカウンタ
36	フード
37	入出庫管理装置
38	退出モニタ (除去管モニタ)
39	出入監視器-1
43	出入管理計算機サーバ端末-1
44	出入管理計算機サーバ端末-2
50	フード
51	流し台 (取替機)
52	器具乾燥機
53	乾燥機
54	簡易型入出庫管理装置
55	α・β (γ) 線ハンドフットクロスモニター-22~24
56	α・β (γ) 線ハンドフットクロスモニター-21
57	α・β (γ) 線ハンドフットクロスモニター-25,26 (管理用)
58	出入監視器-2
溶出機設備	
71	実験台
72	全要素分析装置
73	ドラフトチャンバー
75	ICP発光分光分析装置
76	イオンクロマトグラフ装置
77	輸送容器保管室空調機送風ドレン取付機
ユーティリティ設備 (ガス供給設備)	
81	二酸化炭素貯蔵容器ユニット、選択弁ユニット
ユーティリティ設備 (ガス供給設備)	
111	水素・アルゴン混合ガス設備 (混合ガス受槽)
112	水素・アルゴン混合ガス設備 (ガスパネルユニット)
121	ウラン輸送容器一時保管エリア
Q-501-514	屋内消火栓

日本原燃株式会社 燃料工場
 燃料加工建屋 (PA)
 全体機器配置図 平面図
 地上1階 (EL.56.8M)

注記
 1. 特記なきフロアレベルはEL+56.8Mを示す。

- : 点検用歩廊 (機電機)
- : 点検用歩廊 (建築用)
- : フリーアクセスフロア



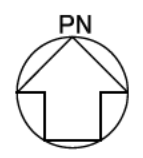
三角法 ISO M ねじ

配置No.	設備名称
【電力供給設備】	
2	給電ファン
4	換気ファン
5	給気フィルタユニット
【管理区域気体換気・換気空調設備】	
11	給気フィルタユニット
12	送風機
13	C1,C2系コイルユニット
14	加湿系コイルユニット
15	C3系コイルユニット
16	冷凍系コイルユニット
17	冷凍水系膨張器
18	循環冷却用冷凍機
19	循環冷却用冷凍機ポンプ
20	ローカルクーラ用冷凍機
21	ローカルクーラ用冷凍機ポンプ
23	ローカルクーラ用冷凍系膨張器
【非管理区域換気空調設備】	
31	非管理区域外換気
32	非管理区域給気フィルタユニット
33	非管理区域排気機
34	空調用高気圧安全弁サイレンサ
46	非常用電気A送風機
47	非常用電気A送風機
49	非常用電気C送風機
50	非常用電気C送風機
52	非常用電気送風機
54	非管理区域排気機
56	中央送風機
57	非管理区域送風機
58	中央送風機
59	中央送風機給気フィルタユニット
【器具設備】	
61	角型警告灯
62	ドラム缶
63	フォークリフト
64	廃棄物保管設備設置機
【共通設備】	
104	扉扉3ハッチ
105	設備出入口電動ハッチ
106	倉庫電動ハッチ
107	輸送警告検査室電動ハッチ
【圧縮空気供給設備】	
121	呼吸用空気貯蔵
【燃料加工用設備】	
131	燃料搬入一時保管エリア
【GB着火設備】	
【ドレン設備】	
151	溜め用溜し
【可燃性重大事故等対応設備】	
161	可燃性重大事故等対応設備-4
162	可燃性重大事故等対応設備-5
163	可燃性重大事故等対応設備-6
164	可燃性重大事故等対応設備-7
Q-601-607	屋内消火栓

注記
1. 特記なきフロアレベルはEL+62.8Mを示す。

- : 点検用歩廊 (機電側)
- : 点検用歩廊 (建築側)
- : フリーアクセスフロア

日本原燃株式会社 燃料加工工場
燃料加工建屋(PA)
全体機器配置図 平面図
地上2階 (EL.62.8M)



配置No.	設備名称
【管区・出管工区設備】	
1	槽色天井クレーン
2	保管室天井クレーン
【共通設備】	
11	設備搬入用クレーン
【管理区着気体病室・換気空調設備】	
21	冷卻塔
【非管理区換気空調設備】	
31	常時換気率1室パッケージ屋外機
32	非常管理区換気マルチパッケージ屋外機
33	監視室換気マルチパッケージ屋外機

11300
10000
9800
10300
84800
10300
9800
10500
12800

南第3階段
B5J
南第2階段
1152J
南第2階
1202J
南工レベル塔機
1203J
設備搬入口機室
1619J

9700 8300 8300 8300 8300 8300 8300 8300 8300 8300 9700
85800

注記
1. 特記なきフロアレベルはEL+70.2Mを示す。

- : 点検用歩廊 (機電側)
- : 点検用歩廊 (建築側)
- : フリーアクセスフロア

日本原燃株式会社 燃 MOX燃料工場
燃料加工建屋 (PA)
全体機器配置図 平面図
塔屋階 (EL.70.2M)

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分		設備区分			機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回次	D B区分	S A区分	耐震設計	PP,SG設備設置状況		PP, SG設備に対する安全機能を有する施設 の設計	PP設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するPP設備の設計上の考慮)		SG設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するSG設備の設計上の考慮)		補足
	施設区分①	施設区分②	設備区分①	設備区分②	設備区分③									機器	機種		設置場所	数量	申請時期 及び 申請回次	D B区分	
270	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒検査 設備	—	ヘリウムリーク検査装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-2	非加重	—	B-1/—	—	OSG: カメラ OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 ■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保で きる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを 確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇨ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇨運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。	—
271	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒検査 設備	—	X線検査装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-2	非加重	—	B-1/—	—	OSG: カメラ OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 ■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保で きる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを 確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇨ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇨運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。	—
272	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒検査 設備	—	ロッドスキニング装置	機械装置	燃料加工建屋	2	2-2	非加重	—	B-1/—	—	OSG:燃料棒用NDA (FRSS-1、 FRSS-2) OSG: カメラ OPP: ■ ※FRSS (Fuel Rod Scanning Station) : 燃料棒スキニング装置	・ロッドスキニング装置は、メンテナンスに影響 がないFRSSの設置計画箇所のスペースを確保 する設計とする。(FRSS-1、FRSS-2の至近 にはロッドスキニング装置のローコンベアがある が、ローコンベアは上側からアクセスすることでメ ンテナンスに影響はない) ・安全機能を有する施設は通常時及びメンテ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 ■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転条件（搬送する核 物質、搬送速度等）で、保障措置上要求される検出限界 の放射線量を検出可能な設計とする（SG: FRSS）。 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保で きる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを 確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇨ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転条件（搬送する核 物質、搬送速度等）で、保障措置上要求される検出限界 の放射線量を検出可能な設計とする（SG: FRSS）。 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇨運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検時に作業員がSG設 備を不用意に破損することがない配置とする。また、必要に応じ て、破損しにくい構造（封印カバー等）とする。（SG: FRSS）	②
273	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒検査 設備	—	外線寸法検査装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-2	非加重	—	B-1/—	—	OSG:燃料棒用NDA (FRSS-2) OSG: カメラ OPP: ■ ※FRSS (Fuel Rod Scanning Station) : 燃料棒スキニング装置	・外線寸法検査装置とFRSS-2は直線距離で 離隔されておりメンテナンスに影響は無い設計と する。 ・安全機能を有する施設は通常時及びメンテ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 ■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保で きる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを 確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇨ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転条件（搬送する核 物質、搬送速度等）で、保障措置上要求される検出限界 の放射線量を検出可能な設計とする（SG: FRSS）。 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇨運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検時に作業員がSG設 備を不用意に破損することがない配置とする。また、必要に応じ て、破損しにくい構造（封印カバー等）とする。（SG: FRSS）	②
274	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒検査 設備	—	燃料棒移動装置	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	非加重 ※	—	B,B-1/—	—	OSG: カメラ OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 ■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保で きる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを 確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇨ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇨運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分		設備区分			機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	DB区分	SA区分	耐震設計	PP,SG設備設置状況		PP, SG設備に対する安全機能を有する施設 の設計	PP設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するPP設備の設計上の考慮)		SG設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するSG設備の設計上の考慮)		補足
	施設区分①	施設区分②	設備区分①	設備区分②	設備区分③									機器	機種		設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	DB区分	
275	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒検査 設備	—	燃料棒立会検査装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-2	非安重 ※	—	B-1/—	—	OSG：カメラ OPP：■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 ■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンス スペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。	—
276	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒収容 設備	—	貯蔵マガジン	運搬・製品容器	燃料加工建屋	72	2-1	非安重	—	—/—	—	OSG：カメラ OPP：■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 ■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンス スペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。	—
277	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒収容 設備	—	燃料棒収容装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-1	非安重	—	B-1/—	—	OSG:燃料棒用NDA (FRCA) OSG：カメラ OPP：■ ※FRCA (Fuel Rod Counting Array)：貯蔵用燃料棒本数測定 装置	・燃料棒収容装置は、メンテナンスに影響がな いFRCAの設置計画箇所のスペース（燃料棒 収容装置のメンテナンスが必要なスペース）を 確保する設計とする。 ・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 ■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンス スペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転条件（搬送する核 物質、搬送速度等）で、保障措置上要求される検出限界 の放射線量を検出可能な設計とする（SG：FRCA）。 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検時に作業員がSG設 備を不用意に破損することがない配置とする。また、必要に応じ て、破損しにくい構造（封印カバー等）とする。（SG： FRCA）	③
278	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒収容 設備	—	燃料棒供給装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-1	非安重 ※	—	B,B-1/—	—	OSG:燃料棒用NDA (FRIS) OSG：カメラ OPP：■ ※FRIS (Fuel Rod Inspection Station)：燃料棒検査装置	・燃料棒供給装置は、メンテナンスに影響がな いFRISの設置計画箇所のスペース（燃料棒 供給装置のメンテナンスが必要なスペース）を 確保する設計とする。 ・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 ■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンス スペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転条件（搬送する核 物質、搬送速度等）で、保障措置上要求される検出限界 の放射線量を検出可能な設計とする（SG：FRCA）。 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検時に作業員がSG設 備を不用意に破損することがない配置とする。また、必要に応じ て、破損しにくい構造（封印カバー等）とする。（SG： FRCA）	③
279	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒収容 設備	—	貯蔵マガジン移動装置	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	非安重	—	B,B-1/—	—	OSG：カメラ OPP：■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 ■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンス スペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検時に作業員がSG設 備を不用意に破損することがない配置とする。また、必要に応じ て、破損しにくい構造（封印カバー等）とする。（SG： FRCA）	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分		設備区分			機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	D B区分	S A区分	耐震設計	PP,SG設備設置状況		PP, SG設備に対する安全機能を有する施設 の設計	PP設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するPP設備の設計上の考慮)		SG設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するSG設備の設計上の考慮)		補足
	番号	施設区分①	施設区分②	設備区分①	設備区分②	設備区分③	機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	D B区分	S A区分	耐震設計	PP,SG設備が安全機能を有する 施設等と一体となって設置され る機器		PP,SG設備が周辺に設置されている 機器	火災, 地震に係る設計方針	その他, 通常時, メンテナンス時における 設計方針, 考慮事項	火災, 地震に係る設計方針	
280	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒解体 設備	—	燃料棒搬入オープンボ ックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	C/—	—	OSG : カメラ OPP : ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメン テナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、 XXXXXXXXXX の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペース を確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。	—	
281	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒解体 設備	—	燃料棒解体装置グローブボ ックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	OSG : カメラ OPP : ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメン テナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、 XXXXXXXXXX の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペース を確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。	—	
283	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒解体 設備	—	溶接試料前処理装置オープ ンボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	C/—	—	OPP : ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメン テナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、 XXXXXXXXXX の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペース を確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	—		
284	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒解体 設備	—	溶接試料前処理装置グローブ ボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	C/—	—	OPP : ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメン テナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、 XXXXXXXXXX の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペース を確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	—		
286	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒加工 工程搬送設 備	—	ペレット保管容器搬送装置グ ローボックス-1	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	非安重	—	B-1/—	—	OSG : 搬送容器用NDA (AMGB- 7) ペレット保管容器搬送装置GB-14の 周辺に取り付くSG機器 OPP : ■ ※AMGB (Advanced Material accountancy Glove Box system) : 搬送容器測定装置	・ペレット保管容器搬送装置グローボックス-2 は、AMGB-7付近のポートにアクセス可能な設 計とする。 ・安全機能を有する施設は通常時及びメン テナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、 XXXXXXXXXX の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペース を確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検時に作業員がSG設 備を不用意に破損することがない配置とする。また、必要に応じ て、破損にくい構造 (封印カバー等) とする。(SG : AMGB-7)	④	

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分		設備区分			機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	DB区分	SA区分	耐震設計	PP,SG設備設置状況		PP, SG設備に対する安全機能を有する施設 の設計	PP設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するPP設備の設計上の考慮)		SG設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するSG設備の設計上の考慮)		補足
	施設区分①	施設区分②	設備区分①	設備区分②	設備区分③									機器	機種		設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	DB区分	
287	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒加工 工程搬送設 備	—	ペレット保管容器搬送装置グ ローボックス-2	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	非安重	—	B-1/—	—	OSG：搬送容器用NDA（AMGB- 7） ペレット保管容器搬送装置GB-14の 周辺に取り付くSG機器	ペレット保管容器搬送装置グローボックス-2 は、AMGB-7付近のポートにアクセス可能な設 計とする。 ・安全機能を有する施設は通常時及びメンテ ナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペース を確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計 とする。 ・SG設備は監視が中断されないように外部電源喪失時において も継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペース を確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	④
288	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒加工 工程搬送設 備	—	ペレット保管容器搬送装置グ ローボックス-3	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	非安重	—	B-1/—	—	OPP：■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテ ナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペース を確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
289	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒加工 工程搬送設 備	—	ペレット保管容器搬送装置グ ローボックス-4	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	非安重	—	B-1/—	—	OPP：■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテ ナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペース を確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
290	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒加工 工程搬送設 備	—	ペレット保管容器搬送装置グ ローボックス-5	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	非安重	—	B-1/—	—	OPP：■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテ ナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペース を確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
291	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒加工 工程搬送設 備	—	ペレット保管容器搬送装置グ ローボックス-6	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	非安重	—	B-1/—	—	OPP：■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテ ナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペース を確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	—	—	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分		設備区分			機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	DB区分	SA区分	耐震設計	PP,SG設備設置状況		PP, SG設備に対する安全機能を有する施設 の設計	PP設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するPP設備の設計上の考慮)		SG設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するSG設備の設計上の考慮)		補足	
	施設区分①	施設区分②	設備区分①	設備区分②	設備区分③									機器	機種		設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	DB区分		SA区分
292	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒加工 工程搬送設 備	—	ペレット保管容器搬送装置グ ローボックス-7	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	非安重	—	B-1/—	—	OSG：搬送容器用NDA (AMGB- 7) ペレット保管容器搬送装置GB-14の 周辺に取り付くSG機器 OPP：■	AMGB (Advanced Material accountancy Glove Box system)：搬送容器測定装置	・ペレット保管容器搬送装置グローボックス-2 は、AMGB-7付近のポートにアクセス可能な設 計とする。 ・安全機能を有する施設は通常時及びメンテ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・SG設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペース を確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。	④	
293	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒加工 工程搬送設 備	—	ペレット保管容器搬送装置グ ローボックス-8	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	非安重	—	B-1/—	—	OSG：直察現場キャビネット(LC- 15B) OSG：カメラ OPP：■	OSG：直察現場キャビネット(LC- 15B) OSG：カメラ	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテ ンス時に直察設備に干渉しないスペースを確保 できる設計とする。 ・安全機能を有する施設は通常時及びメンテ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペース を確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。	①	
294	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒加工 工程搬送設 備	—	ペレット保管容器搬送装置グ ローボックス-9	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	非安重	—	B-1/—	—	OSG：カメラ OPP：■	OSG：カメラ	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペース を確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。	—	
295	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒加工 工程搬送設 備	—	ペレット保管容器搬送装置グ ローボックス-10	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	非安重	—	B-1/—	—	OSG：カメラ OPP：■	OSG：カメラ	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペース を確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。	—	
296	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒加工 工程搬送設 備	—	ペレット保管容器搬送装置グ ローボックス-11	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	非安重	—	B-1/—	—	OPP：■	—	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペース を確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	—	—	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分		設備区分			機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	DB区分	SA区分	耐震設計	PP,SG設備設置状況		PP, SG設備に対する安全機能を有する施設 の設計	PP設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するPP設備の設計上の考慮)		SG設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するSG設備の設計上の考慮)		補足	
	施設区分①	施設区分②	設備区分①	設備区分②	設備区分③									機器	機種		設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	DB区分		SA区分
303	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒加工 工程搬送設 備	—	乾燥ポート搬送装置グローブ ボックス-5	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	非加重	—	B-1/—	—	OSG：カメラ OPP：■	—	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 ■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを 確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。	—
304	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒加工 工程搬送設 備	—	乾燥ポート搬送装置グローブ ボックス-6	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	非加重	—	B-1/—	—	OSG：搬送用容器用NDA (AMGB-6) OSG：カメラ OPP：■ ※AMGB (Advanced Material accountancy Glove Box system)：搬送容器測定装置	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 ■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転条件（搬送する核 物質質量、搬送速度等）で、保障措置上要求される検出限界 の放射線量を検出可能な設計とする（SG：AMGB-6）。 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検時に作業員がSG設 備を不用意に破損することがない配置とする。また、必要に応じ て、破損しにくい構造（封印カバー等）とする。（SG： AMGB-6）	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検時に作業員がSG設 備を不用意に破損することがない配置とする。また、必要に応じ て、破損しにくい構造（封印カバー等）とする。（SG： AMGB-6）	⑤	
305	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒加工 工程搬送設 備	—	乾燥ポート搬送装置グローブ ボックス-7	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	非加重	—	B-1/—	—	OSG：カメラ OPP：■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 ■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを 確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。	—	
306	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒加工 工程搬送設 備	—	乾燥ポート搬送装置グローブ ボックス-8	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	非加重	—	B-1/—	—	OSG：カメラ OPP：■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 ■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを 確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。	—	
307	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒加工 工程搬送設 備	—	乾燥ポート搬送装置グローブ ボックス-9	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	非加重	—	B-1/—	—	OSG：カメラ OPP：■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 ■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを 確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。	—	

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分		設備区分			機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	D B区分	S A区分	耐震設計	PP,SG設備設置状況		PP, SG設備に対する安全機能を有する施設 の設計	PP設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するPP設備の設計上の考慮)		SG設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するSG設備の設計上の考慮)		補足	
	施設区分①	施設区分②	設備区分①	設備区分②	設備区分③									機器	機種		設置場所	数量	PP,SG設備が安全機能を有する 施設等と一体となって設置され る機器	PP,SG設備が周辺に設置されている 機器		火災、地震に係る設計方針
314	加工設備 本体	被覆施設	燃料棒加工 工程	燃料棒加工 工程搬送設 備	—	燃料棒搬送装置	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	非安重	—	B, B-1/—	—	OSG：カメラ OPP：■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保で きる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを 確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計 とする。 ・SG設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。	—	
315	加工設備 本体	組立施設	燃料集合体 組立工程	燃料集合体 組立設備	—	マガジン編成装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	OSG・FRCS (マガジン編成 装置の機器である洗浄機架台 から支持)	OSG：カメラ OPP：■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、■の視界を遮らない計画とする。 ・機器上にFRCSを設置可能であり、互いに干 渉しないスペースを確保する設計とする。 ・FRCSの設置機器について、FRCSを設置して も問題の無い強度を有する設計とする。 ・査察機器と一体となっている機器より査察機 器を取り外してメンテナンスが可能設計とす る。 ・マガジン編成装置の耐震設計上の評価条件 としてFRCSの負荷を考慮した設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。 ・FRCSは、マガジン編成装置の耐震設計上 で考慮する負荷条件を逸脱しない設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保で きる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを 確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。 ・FRCSは、マガジン編成装置の耐震設計上 で考慮する負荷条件を逸脱しない設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計 とする。 ・SG設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。	⑥	
316	加工設備 本体	組立施設	燃料集合体 組立工程	燃料集合体 組立設備	—	組立マガジン	運搬・製品容器	燃料加工建屋	2	2-2	非安重	—	—/—	—	OSG：カメラ OPP：■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保で きる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを 確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計 とする。 ・SG設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。	—	
317	加工設備 本体	組立施設	燃料集合体 組立工程	燃料集合体 組立設備	—	スケルトン組立装置	—	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	C/—	—	OPP：■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保で きる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを 確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	—	—	—	—
318	加工設備 本体	組立施設	燃料集合体 組立工程	燃料集合体 組立設備	—	燃料集合体組立装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	OPP：■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保で きる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを 確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	—	—	—	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分		設備区分			機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	DB区分	SA区分	耐震設計	PP,SG設備設置状況		PP, SG設備に対する安全機能を有する施設 の設計	PP設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するPP設備の設計上の考慮)		SG設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するSG設備の設計上の考慮)		補足
	施設区分①	施設区分②	設備区分①	設備区分②	設備区分③									機器	機種		設置場所	数量	DB区分	SA区分	
324	加工設備 本体	組立施設	燃料集合体 組立工程	燃料集合体 組立工程搬 送設備	—	組立クレーン	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	非安重	—	B-1/—	—	OSG: カメラ OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保で きる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンス スペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保で きる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンス スペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	—	
325	加工設備 本体	組立施設	燃料集合体 組立工程	燃料集合体 組立工程搬 送設備	—	リフト	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	OSG:燃料集合体用NDA (AFAS- PAFAS-B) OSG:査察現場キヤビネット (LC- 21B,LC-21A) OPP: ■ ※AFAS-P (Advanced Fuel assembly Assay System- PWR) : PWR燃料集合体測定装 置 ※AFAS-B (Advanced Fuel assembly Assay System- BWR) : BWR燃料集合体測定装 置	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に査察設備に干渉しないスペースを確保 できる設計とする。 ・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保で きる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンス スペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転条件（搬送する核 物質質量、搬送速度等）で、保障措置上要求される検出限界 の放射線量を検出可能な設計とする（SG：AFAS-P,B）。 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・AFASは取り外し可能な構造とし、安全機能を有する施設が メンテナンススペースを確保できる設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等に作業員がSG設 備を不用意に破損することがない配置とする。また、必要に応じ て、破損しにくい構造（封印カバー等）とする。（SG：AFAS- P,B, LC-21B,LC-21A）	⑦		
326	加工設備 本体	組立施設	梱包出荷工 程	梱包 出荷 設備	—	貯蔵梱包クレーン	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	OSG:燃料集合体用NDA (DIPD) OSG: カメラ ※DIPD (Directional Item Passage Detector) : 燃料集合 体通過検知器	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に査察設備に干渉しないスペースを確保 できる設計とする。 ・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、監視カメラの視界を遮らない計画とする。	—	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検時に作業員がSG設 備を不用意に破損することがない配置とする。また、必要に応じ て、破損しにくい構造（封印カバー等）とする。（SG： DIPD）	⑧		
327	加工設備 本体	組立施設	梱包出荷工 程	梱包 出荷 設備	—	燃料ホルダ取付装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	OSG: カメラ	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、監視カメラの視界を遮らない計画とする。	—	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。	—		

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分		設備区分			機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	D B区分	S A区分	耐震設計	PP,SG設備設置状況		PP, SG設備に対する安全機能を有する施設 の設計	PP設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するPP設備設計上の考慮)		SG設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するSG設備設計上の考慮)		補足
	施設区分①	施設区分②	設備区分①	設備区分②	設備区分③									機器	機種		設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	D B区分	
328	加工設備 本体	組立施設	梱包出荷工 程	梱包 出荷 設備	—	容器蓋取付装置	機械装置	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B/—	—	OSG:燃料集合体用NDA (DIPD) OSG:カメラ ※DIPD (Directional Item Passage Detector) : 燃料集合 体通過検知器	—	—	—	—	—	⑧
329	加工設備 本体	組立施設	梱包出荷工 程	梱包 出荷 設備	—	梱包天井クレーン	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	OSG:カメラ	—	—	—	—	—	—
330	加工設備 本体	組立施設	梱包出荷工 程	梱包 出荷 設備	—	容器移載装置	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	OSG:カメラ	—	—	—	—	—	—
331	加工設備 本体	組立施設	梱包出荷工 程	梱包 出荷 設備	—	保管室天井クレーン	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	C/—	—	OSG:カメラ	—	—	—	—	—	—
332	加工設備 本体	組立施設	梱包出荷工 程	梱包 出荷 設備	—	遮蔽扉 (梱包 出荷設備)	遮蔽設備	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	C/—	—	OSG:カメラ	—	—	—	—	—	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分		設備区分			機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	D B区分	S A区分	耐震設計	PP,SG設備設置状況		PP, SG設備に対する安全機能を有する施設 の設計	PP設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するPP設備の設計上の考慮)		SG設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するSG設備の設計上の考慮)		補足	
	番号	施設区分①	施設区分②	設備区分①	設備区分②	設備区分③	機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	D B区分	S A区分	耐震設計	PP,SG設備が安全機能を有する 施設等と一体となって設置さ れる機器		PP,SG設備が周辺に設置されている 機器	火災, 地震に係る設計方針	その他, 通常時, メンテナンス時における 設計方針, 考慮事項	火災, 地震に係る設計方針		その他, 通常時, メンテナンス時における 設計方針, 考慮事項
333	核燃料物質 の貯蔵施設	—	貯蔵容器一 時保管設備	—	—	一時保管ピット	ラック/ピット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	安重	—	B-3/—	—	—	OSG : カメラ	—	—	—	—	【通常時】 -SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 -SG設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 -SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 -SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 -SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—
336	核燃料物質 の貯蔵施設	—	原料MOX粉 末缶一時保 管設備	—	—	原料MOX粉末缶一時保管 装置グローブボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	安重	—	S/—	—	—	OPP : ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、■の視界を遮らない計画とする。	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 -PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 -PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 -PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 -PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 -PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—		
344	核燃料物質 の貯蔵施設	—	粉末一時保 管設備	—	—	粉末一時保管装置グローブ ボックス-1	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	安重	—	S/—	—	—	OPP : ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、■の視界を遮らない計画とする。	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 -PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 -PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 -PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 -PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 -PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—		
345	核燃料物質 の貯蔵施設	—	粉末一時保 管設備	—	—	粉末一時保管装置グローブ ボックス-2	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	安重	—	S/—	—	—	OPP : ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、■の視界を遮らない計画とする。	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 -PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 -PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 -PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 -PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 -PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—		
346	核燃料物質 の貯蔵施設	—	粉末一時保 管設備	—	—	粉末一時保管装置グローブ ボックス-3	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	安重	—	S/—	—	—	OPP : ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、■の視界を遮らない計画とする。	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らない場所に設置する又は落下防止措置を講ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 -PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 -PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 -PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 -PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 -PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—		

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分		設備区分			機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	DB区分	SA区分	耐震設計	PP,SG設備設置状況		PP, SG設備に対する安全機能を有する施設 の設計	PP設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するPP設備の設計上の考慮)		SG設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するSG設備の設計上の考慮)		補足
	施設区分①	施設区分②	設備区分①	設備区分②	設備区分③	機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数				DB区分	SA区分		耐震設計	PP,SG設備が安全機能を有する 施設等と一体となって設置され る機器	PP,SG設備が周辺に設置されている 機器	火災, 地震に係る設計方針	
347	核燃料物質 の貯蔵施設	—	粉末一時保 管設備	—	—	粉末一時保管装置グループ ボックス-4	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	安重	—	S/—	—	OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り, ■の視界を遮らない計画とする。	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう 落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らな い場所に設置する又は落下防止措置を講ず る設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保で きる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを 確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
348	核燃料物質 の貯蔵施設	—	粉末一時保 管設備	—	—	粉末一時保管装置グループ ボックス-5	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	安重	—	S/—	—	OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り, ■の視界を遮らない計画とする。	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう 落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らな い場所に設置する又は落下防止措置を講ず る設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保で きる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを 確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
349	核燃料物質 の貯蔵施設	—	粉末一時保 管設備	—	—	粉末一時保管装置グループ ボックス-6	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	安重	—	S/—	—	OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り, ■の視界を遮らない計画とする。	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう 落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らな い場所に設置する又は落下防止措置を講ず る設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保で きる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを 確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
371	核燃料物質 の貯蔵施設	—	ペレット一時 保管設備	—	—	ペレット一時保管装置グループ ボックス-1	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	安重	—	S/—	—	OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り, ■の視界を遮らない計画とする。	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう 落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らな い場所に設置する又は落下防止措置を講ず る設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保で きる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを 確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
372	核燃料物質 の貯蔵施設	—	ペレット一時 保管設備	—	—	ペレット一時保管装置グループ ボックス-2	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	安重	—	S/—	—	OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り, ■の視界を遮らない計画とする。	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう 落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らな い場所に設置する又は落下防止措置を講ず る設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保で きる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを 確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	—	—	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分		設備区分			機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	DB区分	SA区分	耐震設計	PP,SG設備設置状況		PP, SG設備に対する安全機能を有する施設 の設計	PP設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するPP設備の設計上の考慮)		SG設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するSG設備の設計上の考慮)		補足
	施設区分①	施設区分②	設備区分①	設備区分②	設備区分③									機器	機種		設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	DB区分	
373	核燃料物質 の貯蔵施設	—	ペレット一時 保管設備	—	—	ペレット一時保管槽グループ ボックス-3	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	安重	—	S/-	—	OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、 XXXXXXXXXX の視界を遮らない計画とする。	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう 落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らな い場所に設置する又は落下防止措置を講ず る設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、遮熱ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保で きる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを 確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
379	核燃料物質 の貯蔵施設	—	ペレット一時 保管設備	—	—	焼結ポート受渡装置グループ ボックス-1	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	安重	—	S/-	—	OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、 XXXXXXXXXX の視界を遮らない計画とする。	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう 落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らな い場所に設置する又は落下防止措置を講ず る設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、遮熱ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保で きる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを 確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
380	核燃料物質 の貯蔵施設	—	ペレット一時 保管設備	—	—	焼結ポート受渡装置グループ ボックス-2	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	安重	—	S/-	—	OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、 XXXXXXXXXX の視界を遮らない計画とする。	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう 落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らな い場所に設置する又は落下防止措置を講ず る設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、遮熱ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保で きる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを 確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
381	核燃料物質 の貯蔵施設	—	ペレット一時 保管設備	—	—	焼結ポート受渡装置グループ ボックス-3	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	安重	—	S/-	—	OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、 XXXXXXXXXX の視界を遮らない計画とする。	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう 落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入らな い場所に設置する又は落下防止措置を講ず る設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、遮熱ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保で きる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを 確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
382	核燃料物質 の貯蔵施設	—	ペレット一時 保管設備	—	—	焼結ポート受渡装置グループ ボックス-4	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-1	安重	—	S/-	—	OSG:搬送容器用NDA (AMGB- 8) OPP: ■ ※AMGB (Advanced Material accountancy Glove Box system) : 搬送容器測定装置	・安全機能を有する施設は通常時においては、 近接しているグループボックスに対して、干渉しな い設計とする。 ・焼結ポート受渡装置グループボックス-4の本体 及び内装機器の点検、保守を行う上で、 AMGB-8は干渉しない配置設計としているた め、検査機器の機能を損なうことはない。 ・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、 XXXXXXXXXX の視界を遮らない計画とする。	・周辺機器への波及的影響を及ぼさないよう 落下及び転倒範囲に上位クラス機器が入ら ない場所に設置する又は落下防止措置を講 ずる設計とする。 ・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、 原則、遮熱ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計 とする。 ・SG設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器 を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンス スペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検時に作業員がSG設 備を不用意に破損することがない配置とする。また、必要に応 じて、破損に強い構造（封印カバー等）とする。（SG: AMGB-8)	・AMGB-8は、Sクラスとなるグループボックスに 波及の影響を及ぼさないよう、基準地震動 Ssの地震力にて、影響を及ぼさない設計とす る。	⑨	

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分		設備区分			機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	D B区分	S A区分	耐震設計	PP,SG設備設置状況		PP, SG設備に対する安全機能を有する施設 の設計	PP設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するPP設備の設計上の考慮)		SG設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するSG設備の設計上の考慮)		補足
	施設区分①	施設区分②	設備区分①	設備区分②	設備区分③									機器	機種		設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	D B区分	
437	核燃料物質 の貯蔵施設	—	燃料棒貯蔵 設備	—	—	燃料棒貯蔵機-2	ラック/ピット/棚	燃料加工建屋	1	2-1	安重	—	B,B-3/—	—	OSG: カメラ OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメン テナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよ う、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンス スペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよ う、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。	—
438	核燃料物質 の貯蔵施設	—	燃料棒貯蔵 設備	—	—	貯蔵マガジン入出庫装置	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-1	非安重	—	B-1/—	—	OSG: カメラ OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメン テナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよ う、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよ う、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機 器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。	—
439	核燃料物質 の貯蔵施設	—	燃料棒貯蔵 設備	—	—	ウラン燃料棒収容装置	搬送設備	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	C/—	—	OSG:燃料棒用NDA (NMGM- 2) OSG: カメラ OPP: ■ ※NMGM (Nuclear Material Gate Monitor) : 燃料棒通過検 知器	・ウラン燃料棒収容装置は、NMGM-2の設置 計画箇所にはメンテナンス品が存在しないことか ら、影響は無い設計となっている。 ・安全機能を有する施設は通常時及びメン テナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよ う、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよ う、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転条件（搬送する核 物質、搬送速度等）で、保障措置上要求される検出限界 の放射線量を検出可能な設計とする（SG：NMGM-2）。 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。	①
440	核燃料物質 の貯蔵施設	—	燃料棒貯蔵 設備	—	—	遮蔽屏（燃料棒貯蔵設備）	遮蔽設備	燃料加工建屋	3	2-2	非安重	—	C/—	—	OSG:燃料棒用NDA (NMGM- 2) OSG: カメラ OPP: ■ ※NMGM (Nuclear Material Gate Monitor) : 燃料棒通過検 知器	・遮蔽屏（燃料棒貯蔵設備）はNMGM-2が 設置できるスペースを確保する設計とする。な お、NMGM-2が遮蔽屏の下方に設置される場 合、下方には遮蔽屏の駆動部やレール、センサ が設置されていることからメンテナンスを考慮した 設計を具体化する。 ・安全機能を有する施設は通常時及びメン テナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよ う、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保 できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移 動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよ う、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転条件（搬送する核 物質、搬送速度等）で、保障措置上要求される検出限界 の放射線量を検出可能な設計とする（SG：NMGM-2）。 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。	①

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分		設備区分			機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	D B区分	S A区分	耐震設計	PP,SG設備設置状況		PP, SG設備に対する安全機能を有する施設 の設計	PP設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するPP設備の設計上の考慮)		SG設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するSG設備の設計上の考慮)		補足	
	施設区分①	施設区分②	設備区分①	設備区分②	設備区分③	機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	D B区分	S A区分	耐震設計	PP,SG設備が安全機能を有する 施設等と一体となって設置され る機器	PP,SG設備が周辺に設置されている 機器		火災、地震に係る設計方針	その他、通常時、メンテナンス時における 設計方針、考慮事項	火災、地震に係る設計方針	その他、通常時、メンテナンス時における 設計方針、考慮事項		
758	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	気送装置	—	燃料加工建屋	1式	2-1, 2-2, 3-1※, 3-2※	非加重	—	C,C-1/—	—	OSG : カメラ OPP : ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・SG設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。	—	—
759	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	受払装置グローブボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非加重	—	B-1/—	—	OPP : ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	—	—	—		
761	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	ブルトニウムスポット検査装置 オープンポートボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非加重	—	C/—	—	OPP : ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	—	—	—		
762	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	フード	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	2	2-2	非加重	—	C/—	—	OSG : カメラ OPP : ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・SG設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。	—	—
763	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	受払 分配装置グローブボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非加重	—	B-1/—	—	OSG : カメラ OPP : ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・SG設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。	—	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分		設備区分			機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	D B区分	S A区分	耐震設計	PP,SG設備設置状況		PP, SG設備に対する安全機能を有する施設 の設計	PP設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するPP設備の設計上の考慮)		SG設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するSG設備の設計上の考慮)		補足
	施設区分①	施設区分②	設備区分①	設備区分②	設備区分③	機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	D B区分	S A区分	耐震設計	PP,SG設備が安全機能を有する 施設等と一体となって設置され る機器	PP,SG設備が周辺に設置されている 機器		火災, 地震に係る設計方針	その他, 通常時, メンテナンス時における 設計方針, 考慮事項	火災, 地震に係る設計方針	その他, 通常時, メンテナンス時における 設計方針, 考慮事項	
764	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	試料溶解 調製装置-1グローブボックス-1	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	OSG: カメラ OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替が行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・SG設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替が行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—
765	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	試料溶解 調製装置-1グローブボックス-2	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	OSG: カメラ OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替が行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・SG設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替が行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—
766	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	試料溶解 調製装置-2グローブボックス-1	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替が行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
767	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	試料溶解 調製装置-2グローブボックス-2	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替が行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
768	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	試料溶解 調製装置-2グローブボックス-3	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替が行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—	—	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分		設備区分			機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	DB区分	SA区分	耐震設計	PP,SG設備設置状況		PP, SG設備に対する安全機能を有する施設 の設計	PP設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するPP設備の設計上の考慮)		SG設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するSG設備の設計上の考慮)		補足
	施設区分①	施設区分②	設備区分①	設備区分②	設備区分③									機器	機種		設置場所	数量	DB区分	SA区分	
788	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	取去試料受払装置グループボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非加重	—	B-1/—	—	OSG: 査察機器 (AVIS 測定装置) OSG: 査察現場キヤベネット (LC-20A) OSG: カメラ OP: ■ ※AVIS (Advanced Verification for Inventory Samples system) : 査察試料測定装置	・AVISについては、当該測定装置は当該GBの下部に設置されるが、メンテナンス時はAVISを分割してGB下部から移動させることができるため、相互の保守性に影響は無い。また、GBとAVISが干渉しないよう、クリアランスを確保した配置としている。 ・キヤベネットおよび盤とは距離距離があるため干渉せず、両機器のメンテナンスに影響は無い。 ・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転条件（搬送する核物質、搬送速度等）で、保障措置上要求される検出限界の放射線量を検出可能な設計とする（SG: AVIS 測定装置）。 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・SG設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検時に作業員がSG設備を不用意に破損することがない配置とする。また、必要に応じて、破損しにくい構造（封印カバー等）とする。（SG: AVIS 測定装置、LC-20A）	⑫	
789	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	取去試料調製装置グループボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非加重	—	B-1/—	—	OSG: カメラ OP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・SG設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—	
790	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	分配装置グループボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非加重	—	B-1/—	—	OP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	—	—	—	
791	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	塩素・フッ素分析装置グループボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非加重	—	B-1/—	—	OP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
792	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	O/M比測定装置グループボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非加重	—	B-1/—	—	OP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないよう、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないよう外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—	—	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分		設備区分			機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回次	D B区分	S A区分	耐震設計	PP,SG設備設置状況		PP, SG設備に対する安全機能を有する施設 の設計	PP設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するPP設備の設計上の考慮)		SG設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するSG設備の設計上の考慮)		補足	
	番号	施設区分①	施設区分②	設備区分①	設備区分②	設備区分③	機器	機種	設置場所	数量	D B区分	S A区分	耐震設計	PP,SG設備が安全機能を有する施設等と一体となって設置される機器	PP,SG設備が周辺に設置されている機器		火災, 地震に係る設計方針	その他, 通常時, メンテナンス時における設計方針, 考慮事項	火災, 地震に係る設計方針	その他, 通常時, メンテナンス時における設計方針, 考慮事項		
793	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	水分分析装置グローブボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	OPP: ■	—	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 XXXXXXXXXX の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
794	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	炭素 硫黄 窒素分析装置グローブボックス-1	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	OPP: ■	—	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 XXXXXXXXXX の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
795	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	炭素 硫黄 窒素分析装置グローブボックス-2	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	OPP: ■	—	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 XXXXXXXXXX の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
796	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	EPMA分析装置グローブボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	OPP: ■	—	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 XXXXXXXXXX の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
797	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	ICP-発光分光分析装置グローブボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B/—	—	OPP: ■	—	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 XXXXXXXXXX の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—	—	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分		設備区分			機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	D B区分	S A区分	耐震設計	PP,SG設備設置状況		PP, SG設備に対する安全機能を有する施設 の設計	PP設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するPP設備の設計上の考慮)		SG設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するSG設備の設計上の考慮)		補足	
	施設区分①	施設区分②	設備区分①	設備区分②	設備区分③	機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	D B区分	S A区分	耐震設計	PP,SG設備が安全機能を有する 施設等と一体となって設置され る機器	PP,SG設備が周辺に設置されている 機器		火災, 地震に係る設計方針	その他, 通常時, メンテナンス時における 設計方針, 考慮事項	火災, 地震に係る設計方針	その他, 通常時, メンテナンス時における 設計方針, 考慮事項		
798	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	ICP-質量分析装置グループボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	—	OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 ■ の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
799	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	水素分析装置グループボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	—	OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 ■ の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
800	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	蒸発性不純物測定装置Aグループボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	—	OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 ■ の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
801	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	粉末物性測定装置グループボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	—	OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 ■ の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
802	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	金相試験装置グループボックス-1	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	—	OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 ■ の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—	—	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分		設備区分			機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	D B区分	S A区分	耐震設計	PP,SG設備設置状況		PP, SG設備に対する安全機能を有する施設 の設計	PP設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するPP設備の設計上の考慮)		SG設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するSG設備の設計上の考慮)		補足	
	施設区分①	施設区分②	設備区分①	設備区分②	設備区分③	機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	D B区分	S A区分	耐震設計	PP,SG設備が安全機能を有する 施設等と一体となって設置さ れる機器	PP,SG設備が周辺に設置されている 機器		火災, 地震に係る設計方針	その他, 通常時, メンテナンス時における 設計方針, 考慮事項	火災, 地震に係る設計方針	その他, 通常時, メンテナンス時における 設計方針, 考慮事項		
803	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	金相試験装置グローブボックス-2	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	—	OPP	<ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、XXXXXXXXXXの視界を遮らない計画とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。 	—	—	—
804	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	ブルトニウムスポット検査装置グローブボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	—	OPP	<ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、XXXXXXXXXXの視界を遮らない計画とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。 	—	—	—
805	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	液浸密度測定装置グローブボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	—	OPP	<ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、XXXXXXXXXXの視界を遮らない計画とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。 	—	—	—
806	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	熱分析装置グローブボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	—	OPP	<ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、XXXXXXXXXXの視界を遮らない計画とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。 	—	—	—
807	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	ペレット溶解性試験装置グローブボックス-1	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	—	OPP	<ul style="list-style-type: none"> 安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、XXXXXXXXXXの視界を遮らない計画とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。 	—	—	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分		設備区分			機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	D B区分	S A区分	耐震設計	PP,SG設備設置状況		PP, SG設備に対する安全機能を有する施設 の設計	PP設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するPP設備の設計上の考慮)		SG設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するSG設備の設計上の考慮)		補足
	番号	施設区分①	施設区分②	施設区分③	施設区分④	機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	D B区分	S A区分	耐震設計	PP,SG設備が安全機能を有する 施設等と一体となって設置され る機器	PP,SG設備が周辺に設置されている 機器		火災, 地震に係る設計方針	その他, 通常時, メンテナンス時における 設計方針, 考慮事項	火災, 地震に係る設計方針	その他, 通常時, メンテナンス時における 設計方針, 考慮事項	
813	—	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	搬送装置-2グローブボックス-1	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	OSG : カメラ OPP : ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り, ■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう 原則, 難燃ケーブルを採用し, 可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように, 安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保で きる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は, 機器を移 動できる構造とし, 安全機能を有する施設のメンテナンススペース を確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し, 常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても, 機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように, 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は, 機 器を移動できる構造とし, 安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し, 常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても, 機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。	—	
814	—	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	搬送装置-2グローブボックス-2	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	OSG : カメラ OPP : ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り, ■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう 原則, 難燃ケーブルを採用し, 可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように, 安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保で きる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は, 機器を移 動できる構造とし, 安全機能を有する施設のメンテナンススペース を確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し, 常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても, 機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように, 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は, 機 器を移動できる構造とし, 安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し, 常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても, 機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。	—	
815	—	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	搬送装置-2グローブボックス-3	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	OSG : カメラ OPP : ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り, ■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう 原則, 難燃ケーブルを採用し, 可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように, 安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保で きる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は, 機器を移 動できる構造とし, 安全機能を有する施設のメンテナンススペース を確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し, 常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても, 機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	【通常時】 ・SG設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように, 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設 計とする。 ・SG設備は監視が中断されないように外部電源喪失時におい ても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・SG設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確 保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は, 機 器を移動できる構造とし, 安全機能を有する施設のメンテナ ンススペースを確保する。 ・SG設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し, 常用 ⇄運転予備負荷の切替えが行われても, 機器に継続して給電 される設計とする。 ・SG設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない 配置および配線ルートの設計とする。	—	
816	—	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	搬送装置-3グローブボックス -1	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	OPP : ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り, ■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう 原則, 難燃ケーブルを採用し, 可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように, 安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保で きる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は, 機器を移 動できる構造とし, 安全機能を有する施設のメンテナンススペース を確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し, 常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても, 機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
817	—	—	核燃料物質 の検査設備 及び計量設 備	核燃料物質 の検査設備	分析設備	搬送装置-3グローブボックス -2	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	OPP : ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナ ンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと 並びに通常時及びメンテナンス時の操作によ り, ■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう 原則, 難燃ケーブルを採用し, 可燃材は金属 で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように, 安 全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計と する。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても 継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保で きる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は, 機器を移 動できる構造とし, 安全機能を有する施設のメンテナンススペース を確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し, 常用⇄ 運転予備負荷の切替えが行われても, 機器に継続して給電される 設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配 置および配線ルートの設計とする。	—	—	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分		設備区分			機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	D B区分	S A区分	耐震設計	PP,SG設備設置状況		PP, SG設備に対する安全機能を有する施設 の設計	PP設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するPP設備の設計上の考慮)		SG設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するSG設備の設計上の考慮)		補足		
	番号	施設区分①	施設区分②	設備区分①	設備区分②	設備区分③	機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	D B区分	S A区分	耐震設計	PP,SG設備が安全機能を有する 施設等と一体となって設置さ れる機器		PP,SG設備が周辺に設置されている 機器	火災, 地震に係る設計方針	その他, 通常時, メンテナンス時における 設計方針, 考慮事項	火災, 地震に係る設計方針		その他, 通常時, メンテナンス時における 設計方針, 考慮事項	
818		その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	搬送装置-3グローブボックス-3	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	OPP: ■	—	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 XXXXXXXXXX の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
819		その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	搬送装置-3グローブボックス-4	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	OPP: ■	—	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 XXXXXXXXXX の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
821		その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	分析溶液中和固液分離グローブボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	OPP: ■	—	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 XXXXXXXXXX の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
822		その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	放射能濃度分析グローブボックス-1	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	OPP: ■	—	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 XXXXXXXXXX の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
823		その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	放射能濃度分析グローブボックス-2	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1/—	—	OPP: ■	—	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、 XXXXXXXXXX の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—	—	—

第2回申請対象設備とPP設備及びSG設備の相互影響の考慮

番号	施設区分		設備区分			機器	機種	設置場所	数量	申請時期 及び 申請回数	D B区分	S A区分	耐震設計	PP,SG設備設置状況		PP, SG設備に対する安全機能を有する施設 の設計	PP設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するPP設備の設計上の考慮)		SG設備の設計方針 (安全機能を有する施設に対するSG設備の設計上の考慮)		補足
	施設区分①	施設区分②	設備区分①	設備区分②	設備区分③									機器	機種		設置場所	数量	PP,SG設備が安全機能を有する 施設等と一体となって設置され る機器	PP,SG設備が周辺に設置されている 機器	
824	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	ろ過 第1活性炭処理グローブボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1, B-2/ —	—	OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
825	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	第2活性炭 吸着処理グローブボックス	核物質等取扱ボックス	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	B-1, B-2/ —	—	OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
854	その他の加工施設	—	核燃料物質の検査設備及び計量設備	核燃料物質の検査設備	分析設備	払出前希釈槽	容器	燃料加工建屋	1	2-2	非安重	—	C/-	—	OPP: ■	・安全機能を有する施設は通常時及びメンテナンス時に各部屋の照明を消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、■の視界を遮らない計画とする。	・周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計とする。	【通常時】 ・PP設備は安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計とする。 ・PP設備は監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計とする。 【メンテナンス時】 ・PP設備は安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する。 ・PP設備は安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計とする。 ・PP設備は安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルートの設計とする。	—	—	—
—	—	—	—	—	—	アクセラレーター (PA建屋内)	—	—	—	—	—	—	—	OPP: ■ (W1976×D1036×H2032) OPP: ■ (W700W×D350×H1000) OPP: ■ (W300×D100×H400) OPP: ■ (W1500×D300×H300)	—	・近傍に■が設置されるが、転倒したとしてもアクセラレーターに必要な幅が確保できるため、阻害しない なお、■は、軽量物であり、アクセラレーターを阻害するものではないため、対象外	—	—	—	⑬	

設工認申請における核セキュリティ及び保障措置への影響確認

MOX 燃料加工施設の新規制基準を受けた第 2 回設工認申請における核セキュリティ及び保障措置への影響の有無について確認した結果を示す。

設工認申請における核セキュリティ及び保障措置への影響の有無の確認については、以下の視点で行った。

【核セキュリティ】

- 核セキュリティの設備が、周辺の申請対象設備の機器等への火災影響や落下等による波及影響を及ぼさないこと。
- 申請対象設備である各部屋の照明が、通常時及びメンテナンス時に消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により核セキュリティの設備である ████████ の視界を遮らない

【保障措置】

- 保障措置の設備が、周辺の申請対象設備の機器等への火災影響や落下等による波及影響を及ぼさないこと。
- 申請対象設備の機器等が保障措置の設備である監視装置の視野障害等になっていないこと。

上述の視点により、第 2 回設工認の申請対象設備の周辺に設置される核セキュリティ及び保障措置に係る設備への影響の有無について確認を行い、以下のとおり影響がないことを確認した。

項目	影響の有無の確認の視点	確認結果
核セキュリティ	核セキュリティの設備が、周辺の申請対象設備の機器等への火災影響や落下等による波及影響を及ぼさないこと	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計であることを確認。 ➤ 安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計又は十分な耐震性を有する等申請対象設備に対して波及的影響を及ぼさない設計であることを確認。
	重大事故等対処におけるアクセスルートの確保、対処所要時間等に影響を及ぼさないこと	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 重大事故等対処におけるアクセスルートに影響を及ぼさない設計であることを確認。(アクセスルートに影響しない箇所に設置されている等)

(つづき)

項目	影響の有無の確認の視点	確認結果
核セキュリティ	申請対象設備である各部屋の照明が、通常時及びメンテナンス時に消灯することがないこと並びに通常時及びメンテナンス時の操作により、核セキュリティの設備である■ ■の視界を遮らない	<ul style="list-style-type: none">▶ 監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計であることを確認。▶ 安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計であることを確認。▶ 安全機能を有する施設のメンテナンススペースが確保できる設計とする。配置上スペース確保が困難な場合は、機器を移動できる構造とし、安全機能を有する施設のメンテナンススペースを確保する設計であることを確認。▶ 安全機能を有する施設の点検等の支障とならない配置および配線ルート的设计であることを確認。
保障措置	保障措置の設備が、周辺の申請対象設備の機器等への火災影響や落下等による波及影響を及ぼさないこと。	<ul style="list-style-type: none">▶ 周囲の設備へ波及的影響を及ぼさないよう、原則、難燃ケーブルを採用し、可燃材は金属で覆う設計であることを確認。▶ 安全機能を有する施設の運転に影響しないように、安全機能を有する施設との間に十分なクリアランスを確保した設計又は十分な耐震性を有する等申請対象設備に対して波及的影響を及ぼさない設計であることを確認。
	申請対象設備である各部屋の照明が、通常時及びメンテナンス時に消灯することがないこと並びに申請対象設備の機器等が保障措置の設備である監視装置の視野障害等になっていないこと	<ul style="list-style-type: none">▶ 監視が中断されないように外部電源喪失時においても継続的に給電される設計であることを確認。▶ 安全機能を有する施設の定期保守を考慮し、常用⇄運転予備負荷の切替えが行われても、機器に継続して給電される設計であることを確認。▶ 通常時及びメンテナンス時の操作により、監視カメラの視界を遮らない計画であることを確認。

資料

- (1)別添1 第2回設工認申請 申請対象設備周辺に設置される PP 設備
- (2)別添2 第2回設工認申請 申請対象設備周辺に設置される SG 設備
- (3)別添3 燃料加工建屋における PP設備及び SG設備の■
■の設置エリア
- (4)別添4 第2回申請対象設備と PP 設備及び SG 設備の相互影響の考慮
- (5)補足 申請対象設備周辺の SG 設備に係る説明

申請対象設備周辺の SG 設備に係る説明

第 2 回設工認申請の申請対象設備周辺に設置される SG 設備に係る補足説明を示す。

補足①：スタック編成設備グローブボックス等周辺の SG 設備（査察現場キャビネット（LC-15A, LC-15B））

補足②：ロッドスキャニング装置等周辺の SG 設備（FRSS-1, FRSS-2）

補足③：燃料棒収容装置等周辺の SG 設備（FRCA, FRIS）

補足④：ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1 等周辺の SG 設備（AMGB-7）

補足⑤：乾燥ボート搬送装置グローブボックス-6 周辺の SG 設備（AMGB-6）

補足⑥：マガジン編成装置と一体となって設置する SG 設備（FRCS）

補足⑦：リフタ周辺の SG 設備（AFAS-P, AFAS-B, 査察現場キャビネット（LC-21A, LC-21B））

補足⑧：貯蔵梱包クレーン等周辺の SG 設備（DIPD）

補足⑨：焼結ボート受渡装置グローブボックス-4 周辺の SG 設備（AMGB-8）

補足⑩：スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1 周辺の SG 設備（AMGB-9）

補足⑪：ウラン燃料棒収容装置等周辺の SG 設備（NMGM-2）

補足⑫：収去試料受払装置グローブボックス周辺の SG 設備（AVIS, 査察現場キャビネット（LC-20A））

補足⑬：アクセスルート周辺の PP 設備, SG 設備

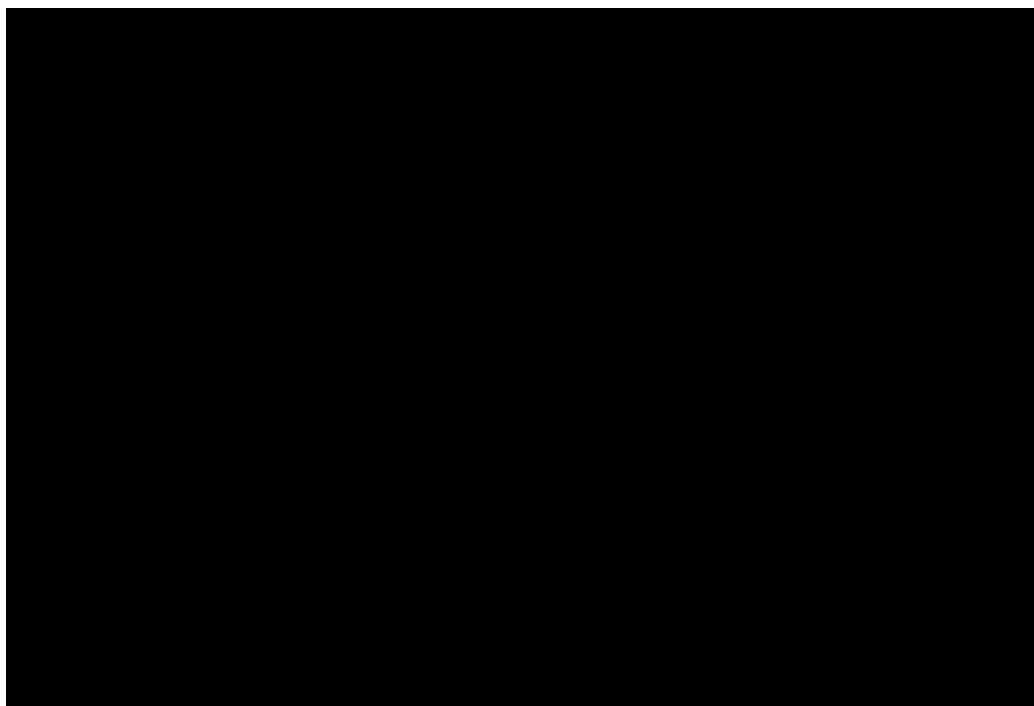
スタック編成設備グローブボックス等周辺のSG設備
 (査察現場キャビネット (LC-15A, LC-15B))

スタック編成設備グローブボックス及びペレット保管容器搬送装置グローブボックス-8の周辺に査察現場キャビネット (LC-15A, LC-15B) を設置する設計としている。

査察現場キャビネット (LC-15A, LC-15B) とスタック編成設備グローブボックス及びペレット保管容器搬送装置グローブボックス-8の設置場所を第1図に示す。査察現場キャビネットの外形図を第2図に示す。

スタック編成設備グローブボックスと査察現場キャビネット (LC-15A) は、スタック編成設備グローブボックスのメンテナンスに必要なスペース及びキャビネットのメンテナンスに必要なスペースを確保した場所に設置していることから、相互影響を考慮した設置場所となっている。

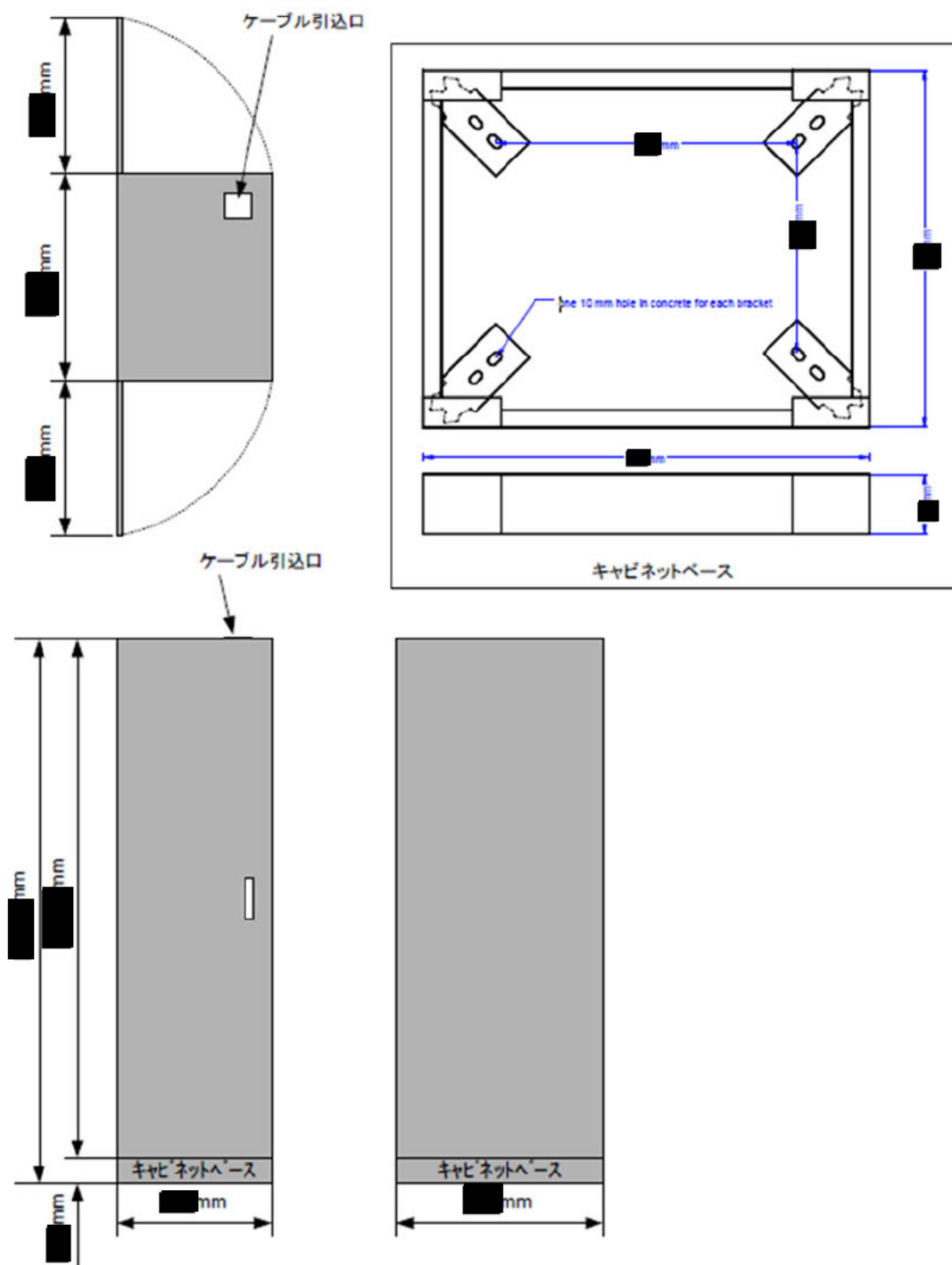
査察現場キャビネット (LC-15B) とペレット保管容器搬送装置グローブボックス-8も同様の設計となっている。



ペレット保管容器搬送装置
 グローブボックス-8

スタック編成設備グローブボックス

第1図 LC-15A及びLC-15B 設置場所



第2図 査察監視キャビネット外形図

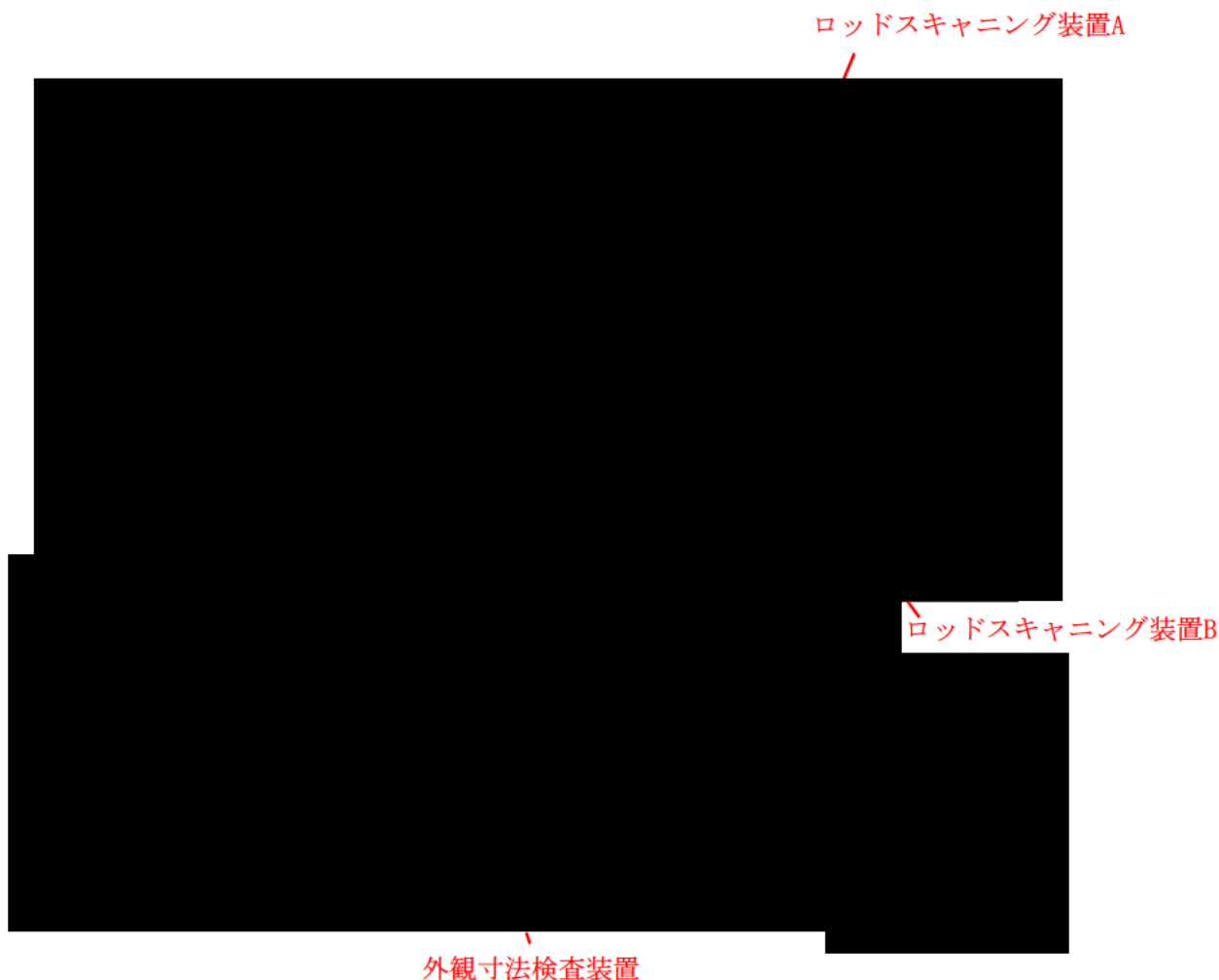
ロッドスキャンニング装置等周辺のSG設備
(FRSS-1, FRSS-2)

ロッドスキャンニング装置及び外観寸法検査装置の周辺にFRSS-1, FRSS-2を設置する設計としている。

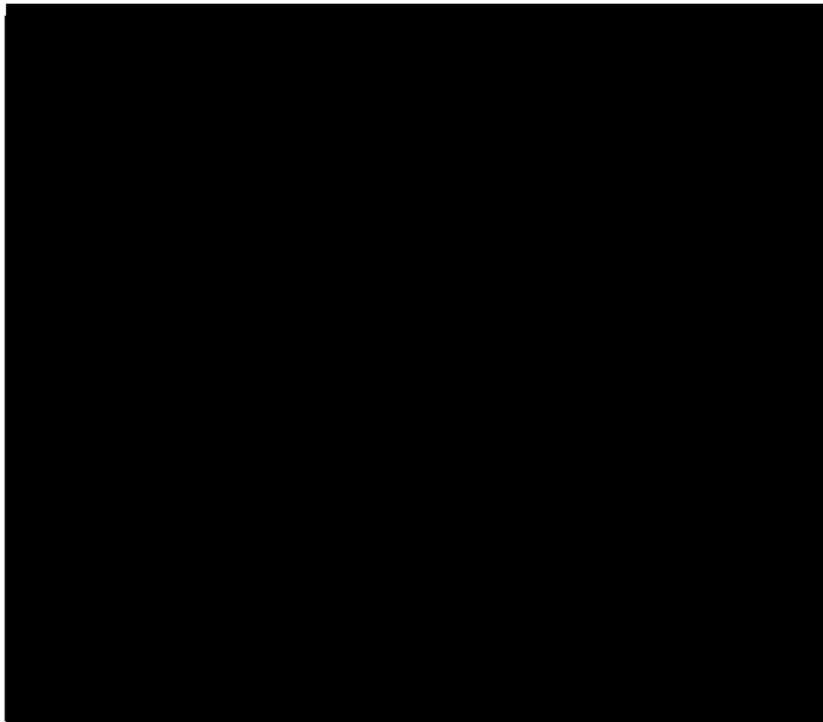
FRSS-1, FRSS-2とロッドスキャンニング装置及び外観寸法検査装置の設置場所を第1図に示す。FRSSの概略図及び設置スペースを第2図, 第3図に示す。

FRSS-1, FRSS-2の至近にはロッドスキャンニング装置のローラコンベアがあるが、ローラコンベアは上側からアクセスすることでメンテナンスに影響はない場所を設置スペースとして確保していることから相互影響を考慮した設置場所となっている。

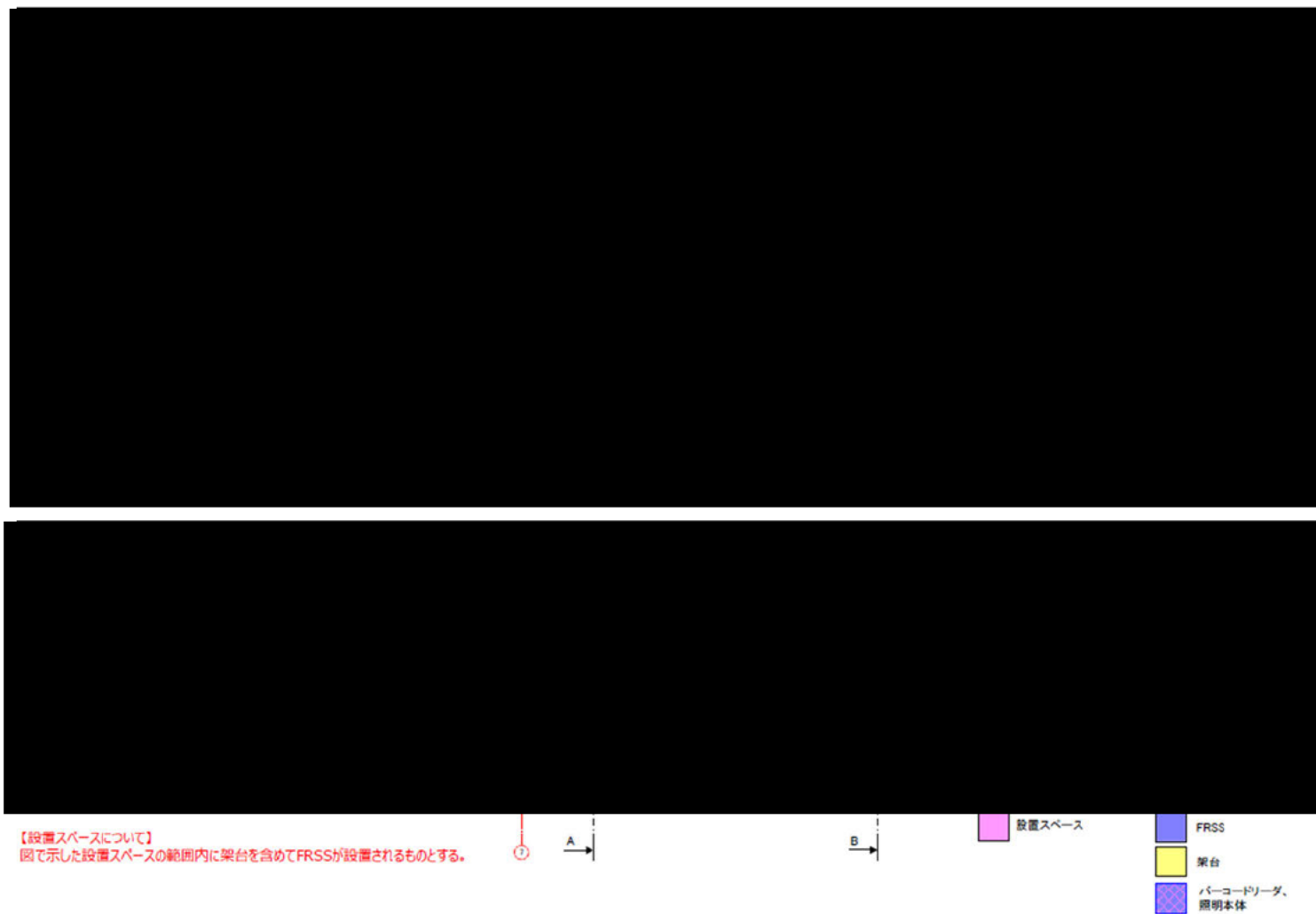
また, FRSS-2の設置場所から外観寸法検査装置は十分に距離が離れており, 相互影響を考慮した設置となっている。



第1図 FRSS-1及びFRSS-2の設置場所



第2図 FRSS 概略図



第3図 FRSS 設置スペース

燃料棒収容装置等周辺のSG設備
(FRCA, FRIS)

燃料棒収容装置及び燃料棒供給装置の燃料棒の搬送を監視するため、燃料棒収容装置及び燃料棒供給装置の周辺にFRCA, FRISを設置する設計としている。

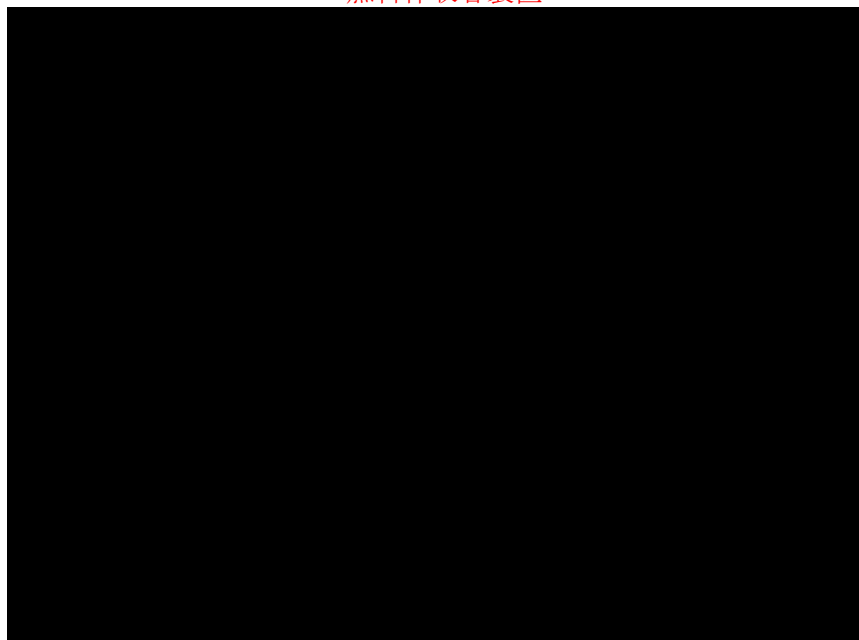
FRCA, FRISと燃料棒収納装置及び燃料棒供給装置の設置場所を第1図に示す。FRCAの概略図及び設置スペースを第2図, 第3図に示す。FRISの概略図及び設置スペースを第4図, 第5図に示す。

FRCAは、燃料棒収容装置のメンテナンスに影響がないスペース（燃料棒収容装置のメンテナンスに使用しないスペース）に設置することで、相互影響を考慮した設置場所となっている。

燃料棒収容装置は、メンテナンスに影響がないFRCAの設置計画箇所のスペース（燃料棒収容装置のメンテナンスが必要ないスペース）を確保する設計とする。

FRISも同様に、燃料棒供給装置のメンテナンスが必要ないスペースに設置するスペースを確保することで、相互影響を考慮した設置場所となっている。

燃料棒収容装置



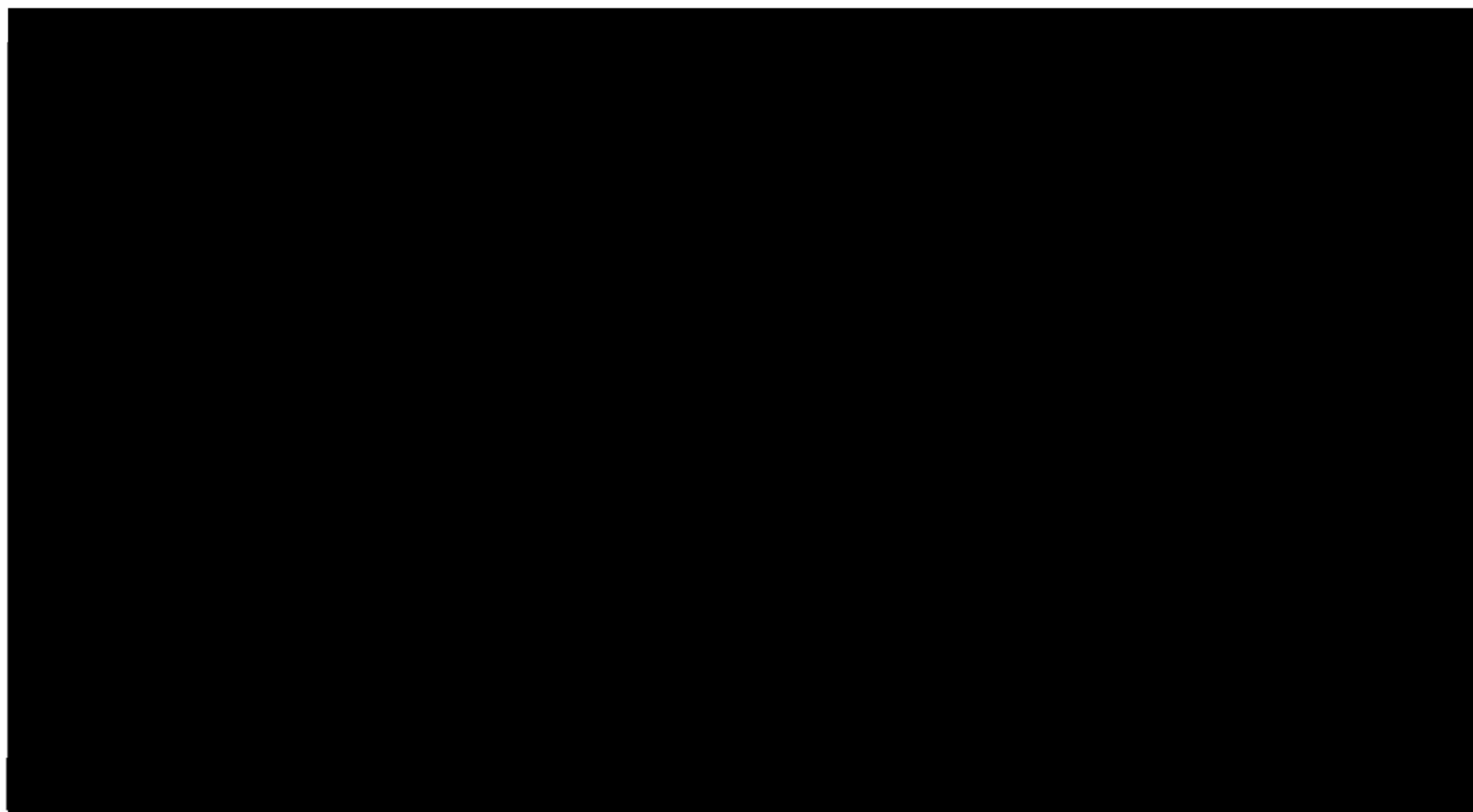
燃料棒供給装置

第1図 FRCA及びFRISの設置場所



単位：mm

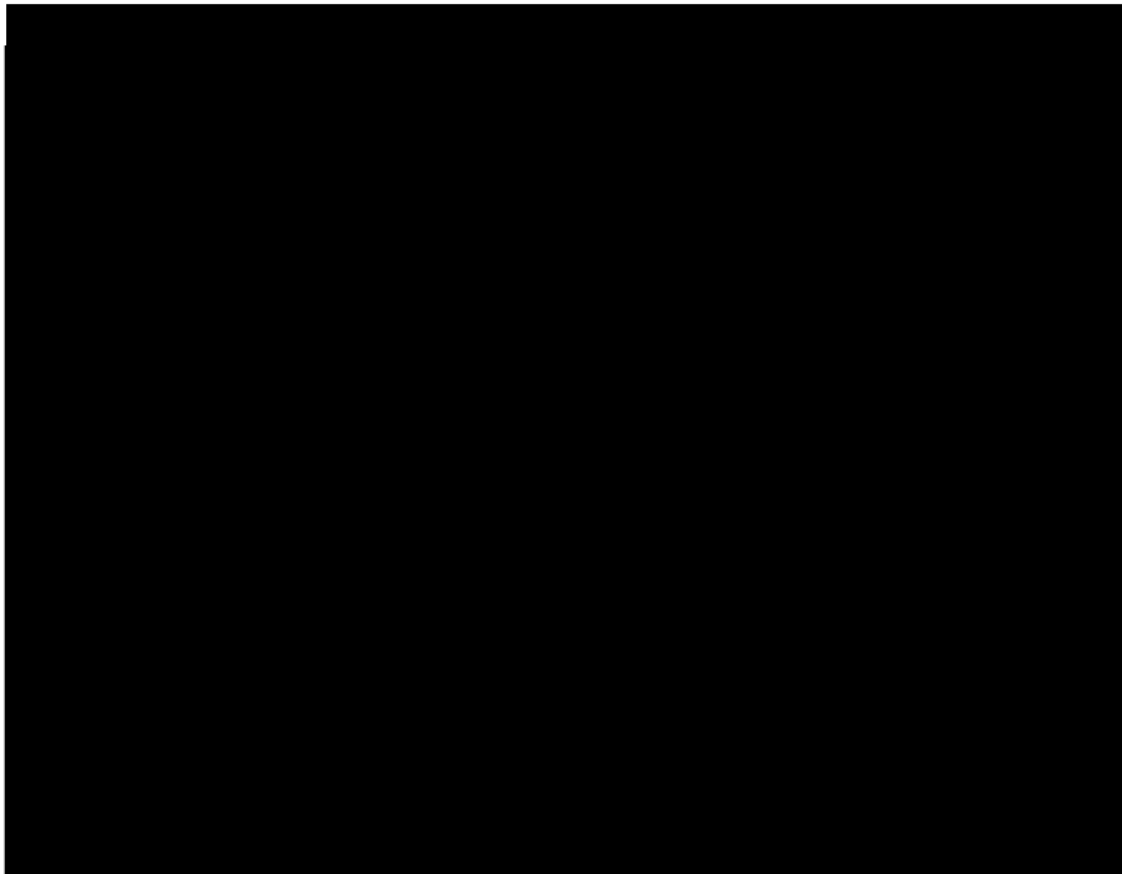
第2図 FRCA 概略図



【設置スペースについて】
図で示した設置スペースの範囲内に架台を含めてFRCAが設置されるものとする。



第3図 FRCA 設置スペース



第4図 FRIS 概略図



第5図 FRIS 設置スペース

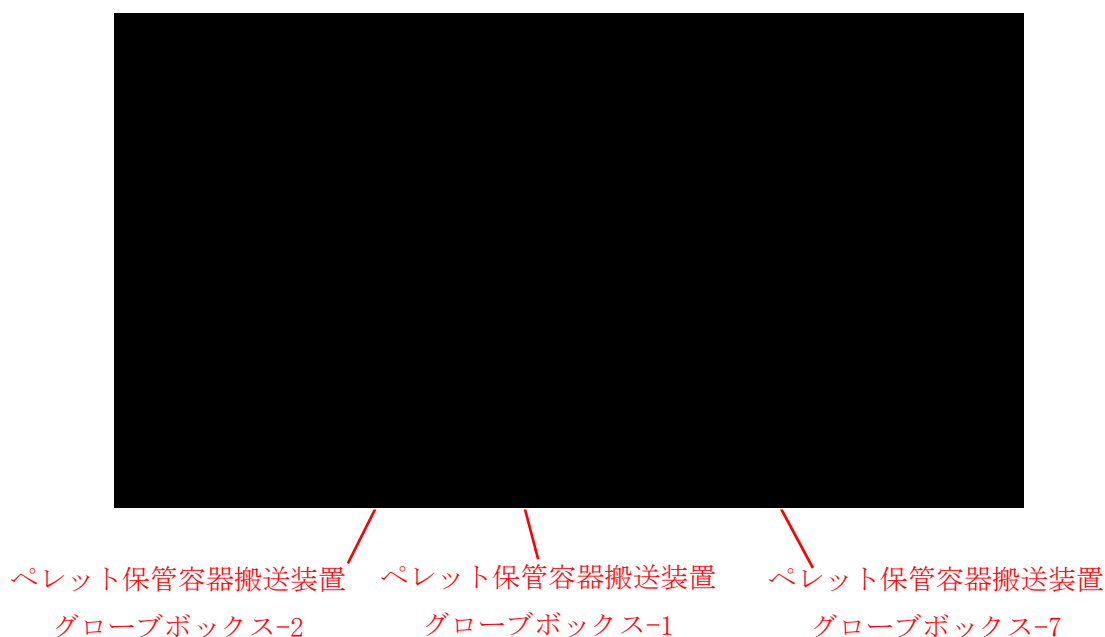
ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1等周辺のSG設備
(AMGB-7)

ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1, ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-2及びペレット保管容器搬送装置グローブボックス-7の周辺にペレット保管容器搬送装置グローブボックス-14 (第3回申請) の搬送を監視するためのAMGB-7を設置する設計としている。

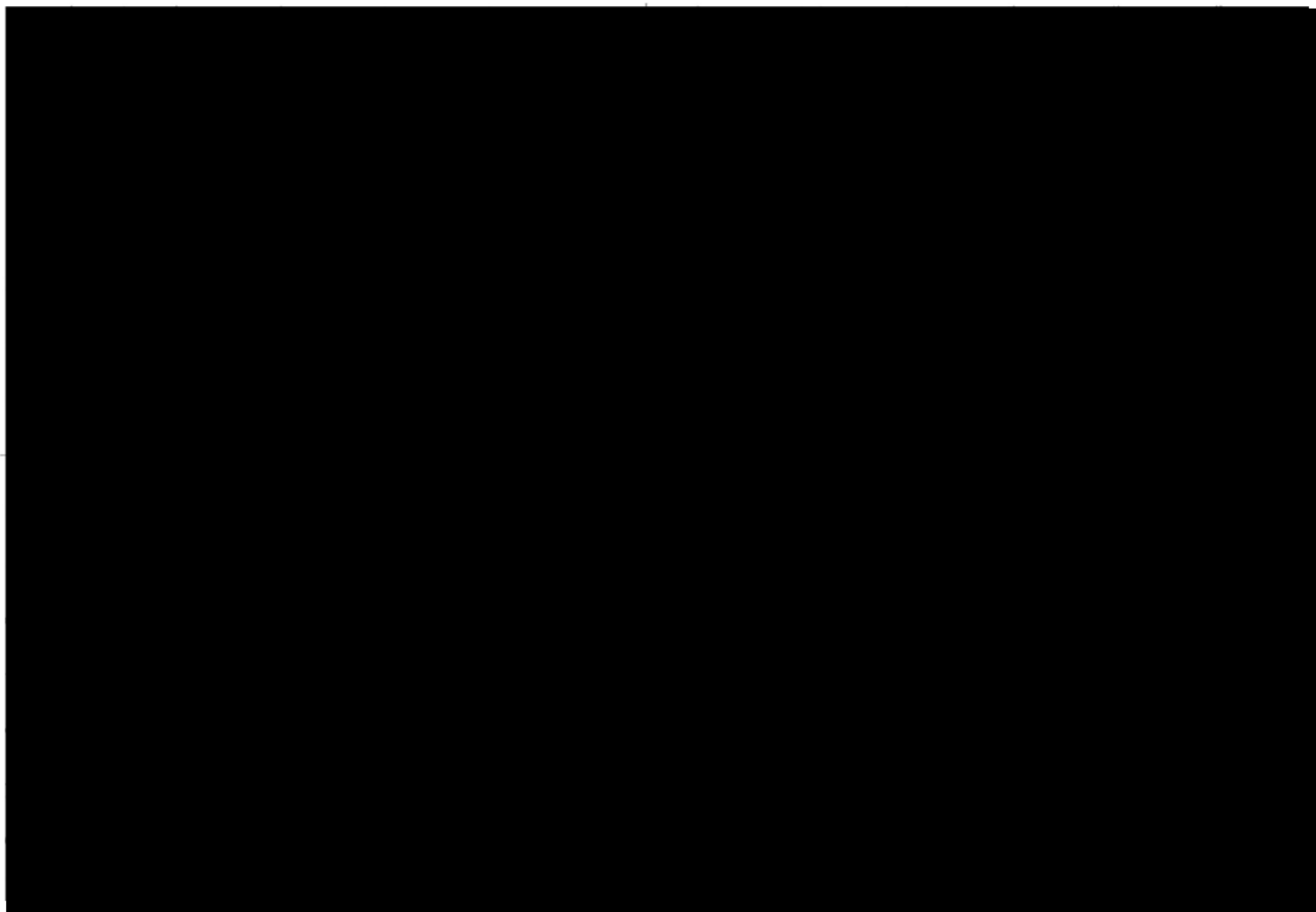
AMGB-7とペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1, ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-2及びペレット保管容器搬送装置グローブボックス-7の設置場所を第1図に示す。AMGB-7の設置スペースを第2図に示す。

ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1, ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-2及びペレット保管容器搬送装置グローブボックス-7の構造を第3図に示す。

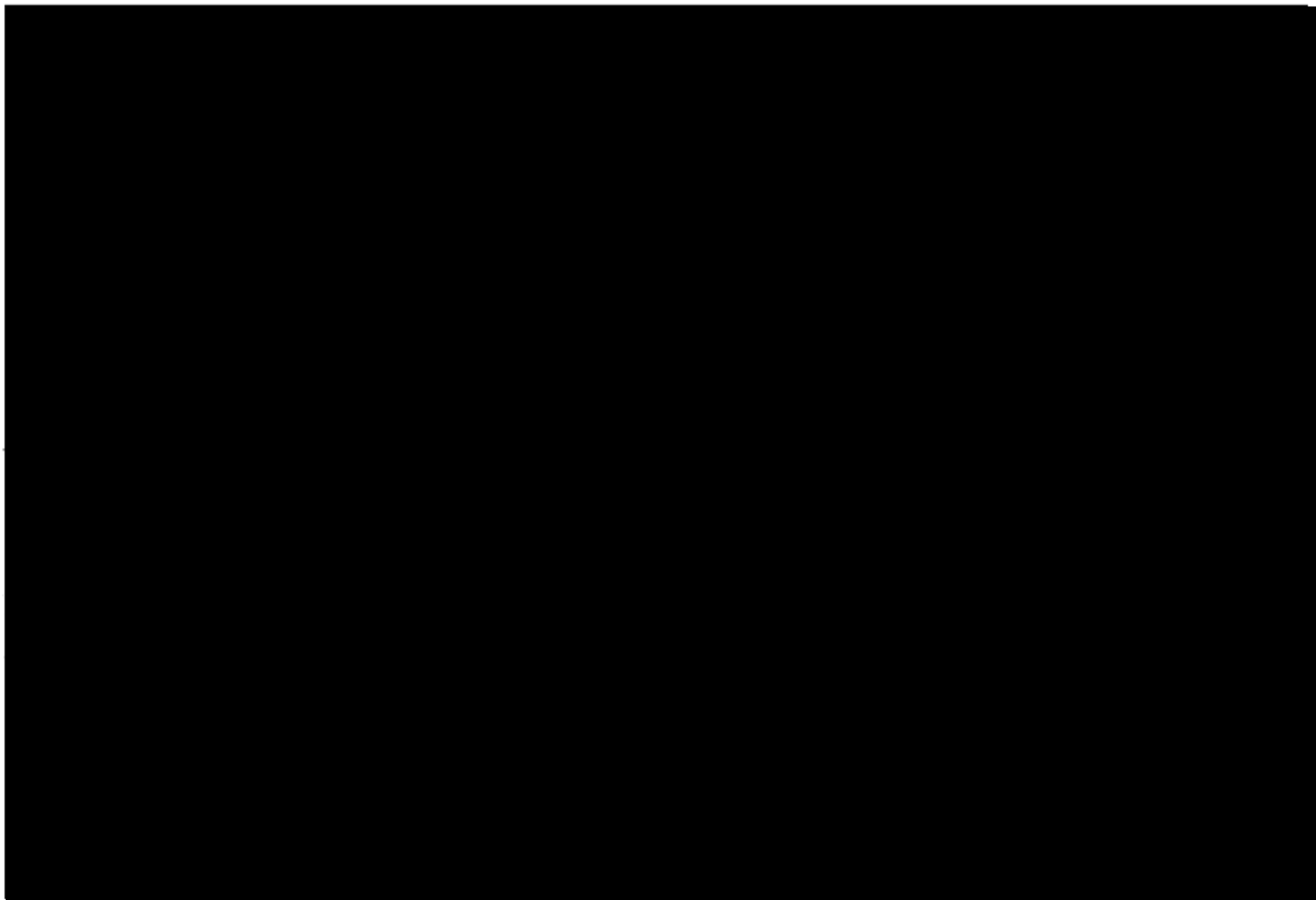
ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1, ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-2及びペレット保管容器搬送装置グローブボックス-7は, AMGB-7付近のポートにアクセス可能であるため, 相互影響を考慮した設置場所となっている。



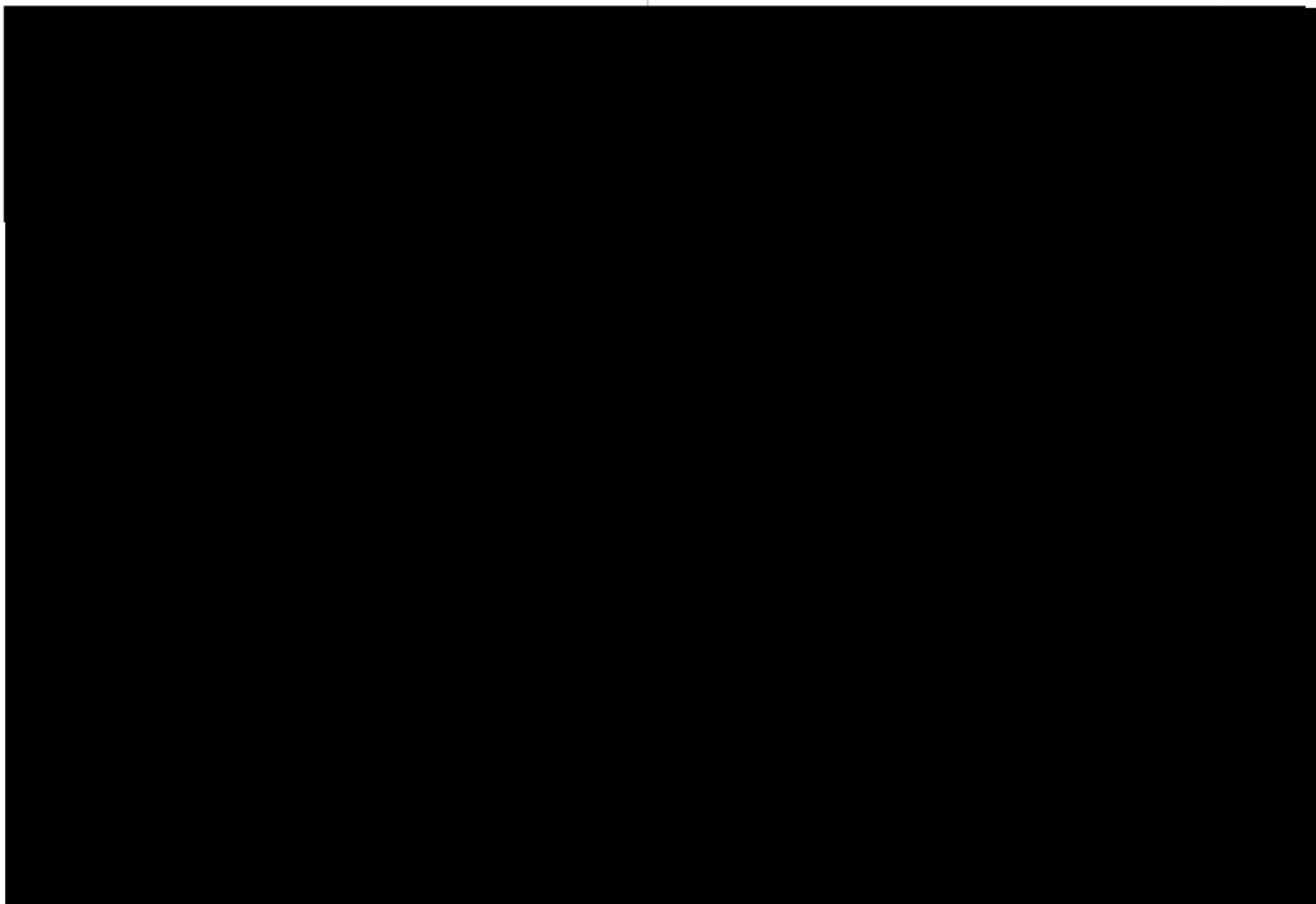
第1図 AMGB-7, ペレット保管容器搬送装置グローブボックス-1, -2, -7の設置場所



第2図(1) AMGB-7 設置スペース



第2図(2) AMGB-7 設置スペース



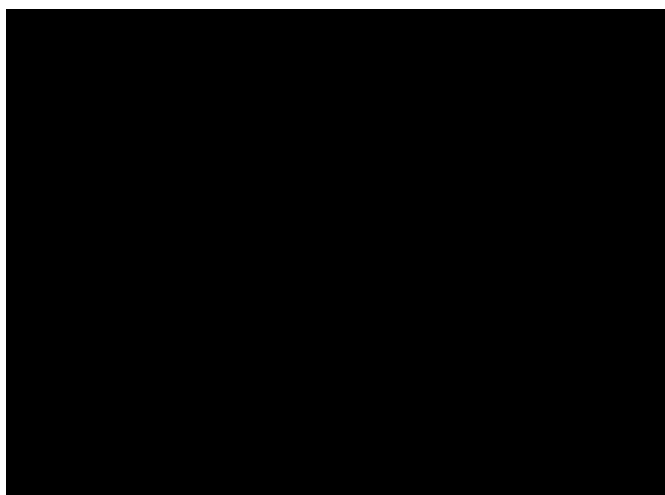
第2図(3) AMGB-7 設置スペース

乾燥ボート搬送装置グローブボックス-6周辺のSG設備
(AMGB-6)

乾燥ボート搬送装置グローブボックス-6での核燃料物質の搬送を監視するため、乾燥ボート搬送装置グローブボックス-6周辺にAMGB-6を設置する設計としている。

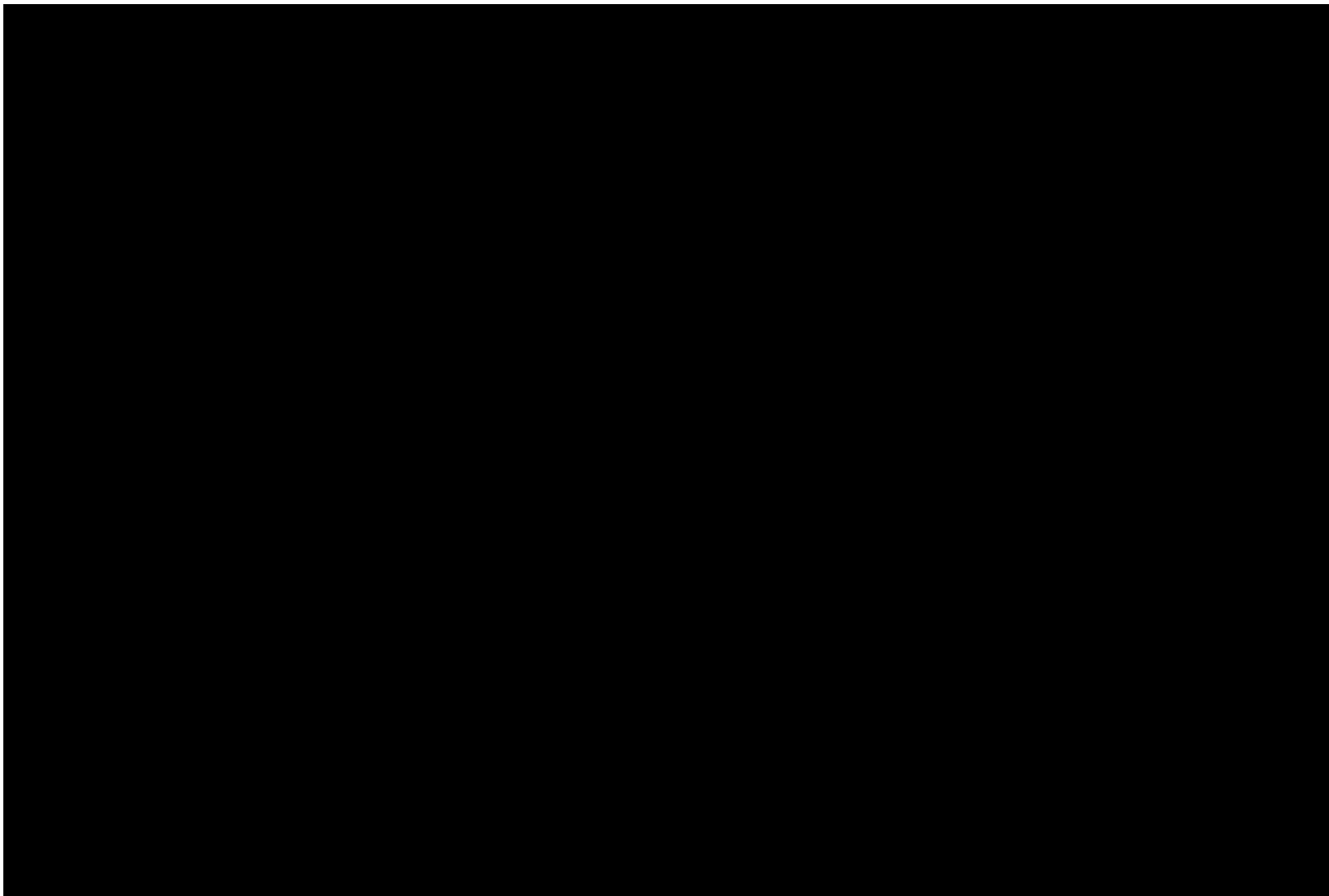
AMGB-6と乾燥ボート搬送装置グローブボックス-6の設置場所を第1図に示す。AMGB-6の設置スペースを第2図に示す。

AMGB-6は、通常時及びメンテナンス時に乾燥ボート搬送装置グローブボックス-6と干渉しない場所に設置する。架台にローラユニットを設置し、スライドできる設計とすることで、乾燥ボート搬送装置グローブボックス-6のメンテナンスができる設計としており、相互影響を考慮した設置となっている。

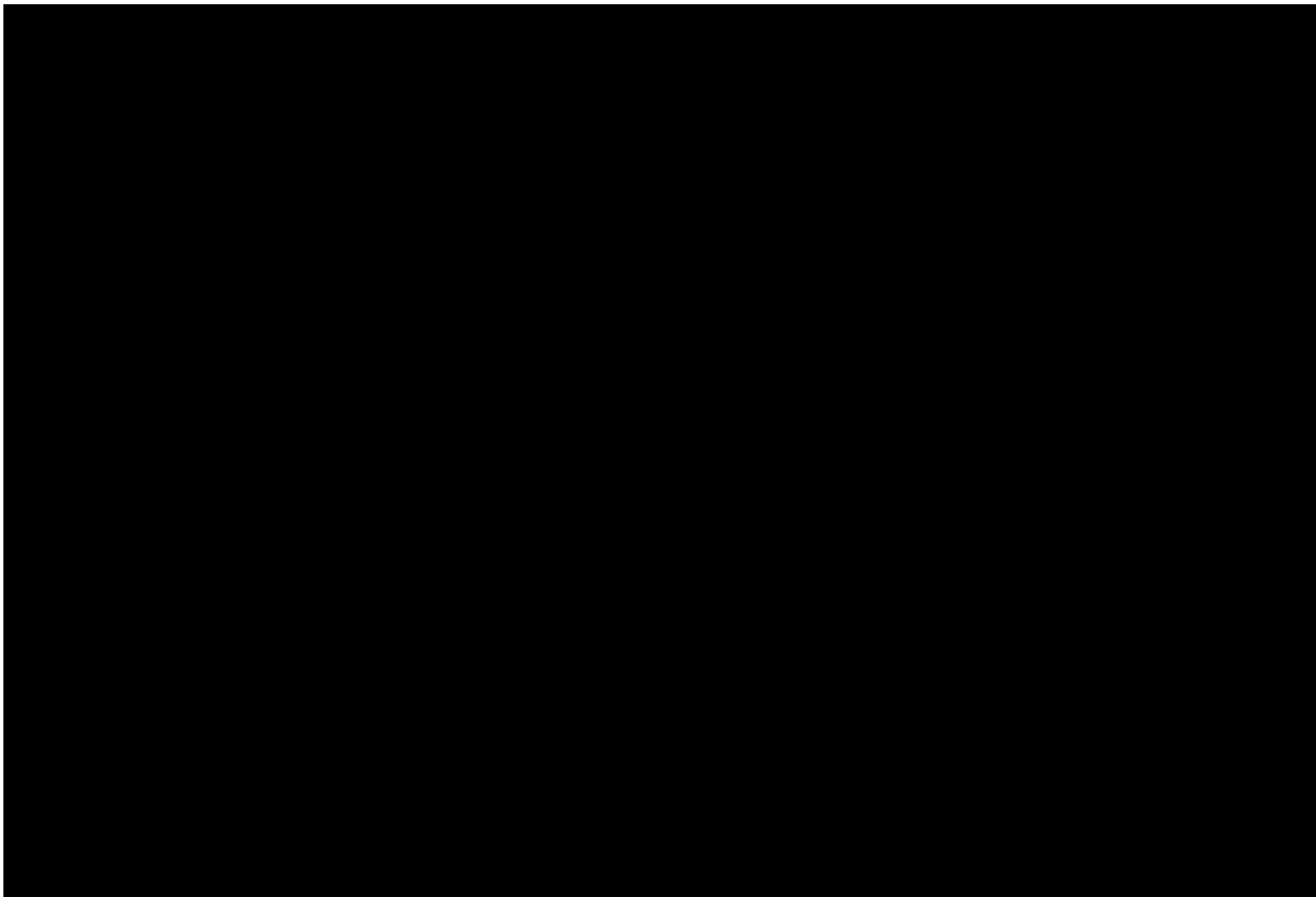


乾燥ボート搬送装置
グローブボックス-6

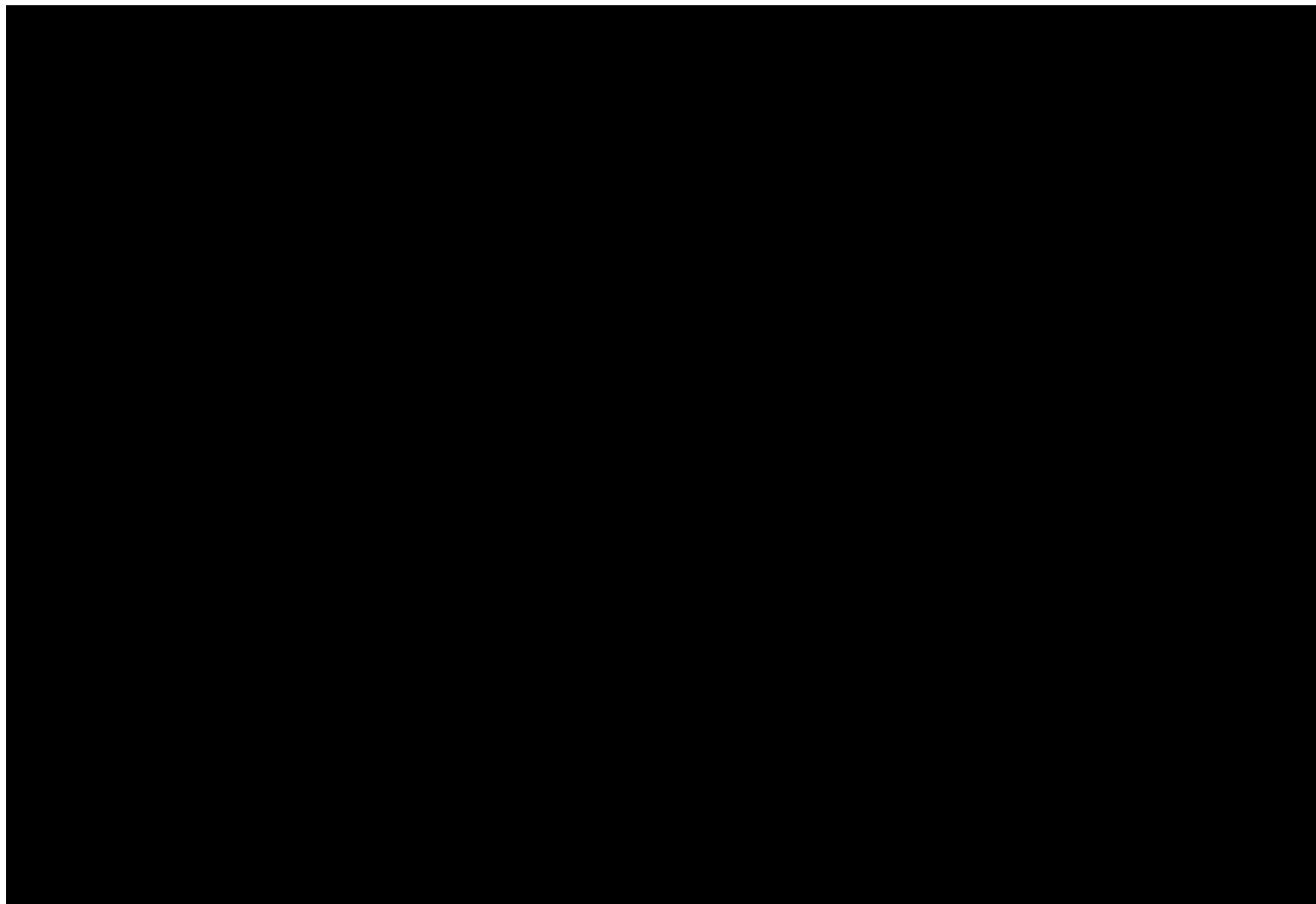
第1図 AMGB-6及び乾燥ボート搬送装置グローブボックス-6の設置場所



第2図(1) AMGB-6 設置スペース



第2図(2) AMGB-6 設置スペース



第2図(3) AMGB-6 設置スペース

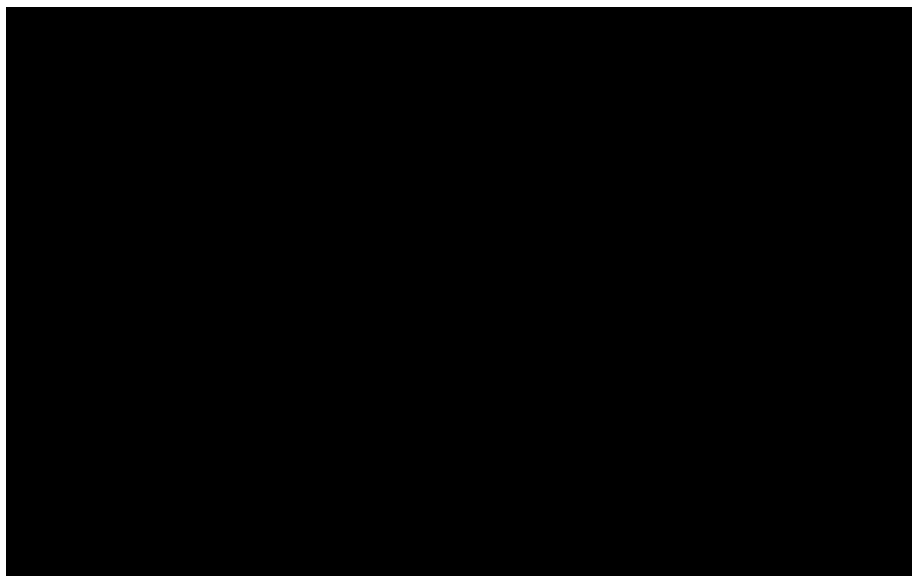
マガジン編成装置と一体となって設置するSG設備
(FRCS)

マガジン編成装置に燃料棒の搬送を監視するためのFRCSを設置する設計としている。

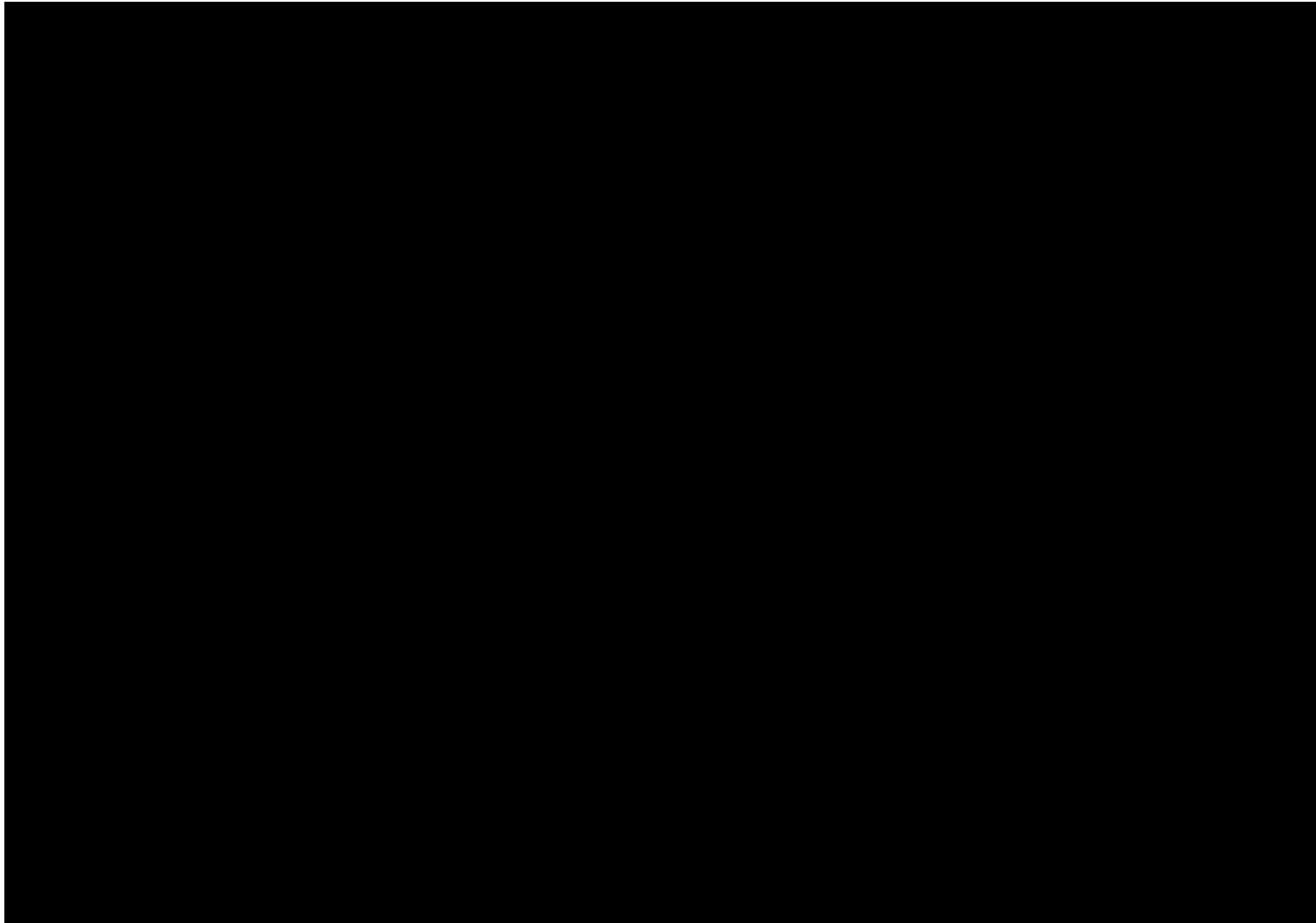
FRCSとマガジン編成装置の設置場所を第1図に示す。FRCSの構造を第2図に設置スペースを第3図に、FRCSを設置するマガジン編成装置の構造を第4図に示す。

FRCSは、マガジン編成装置の洗浄機に設置する設計とし、ボルト固定によりメンテナンス時に取り外し可能な構造とすることで、メンテナンススペースを確保する設計とし、相互影響を考慮した設計とする。

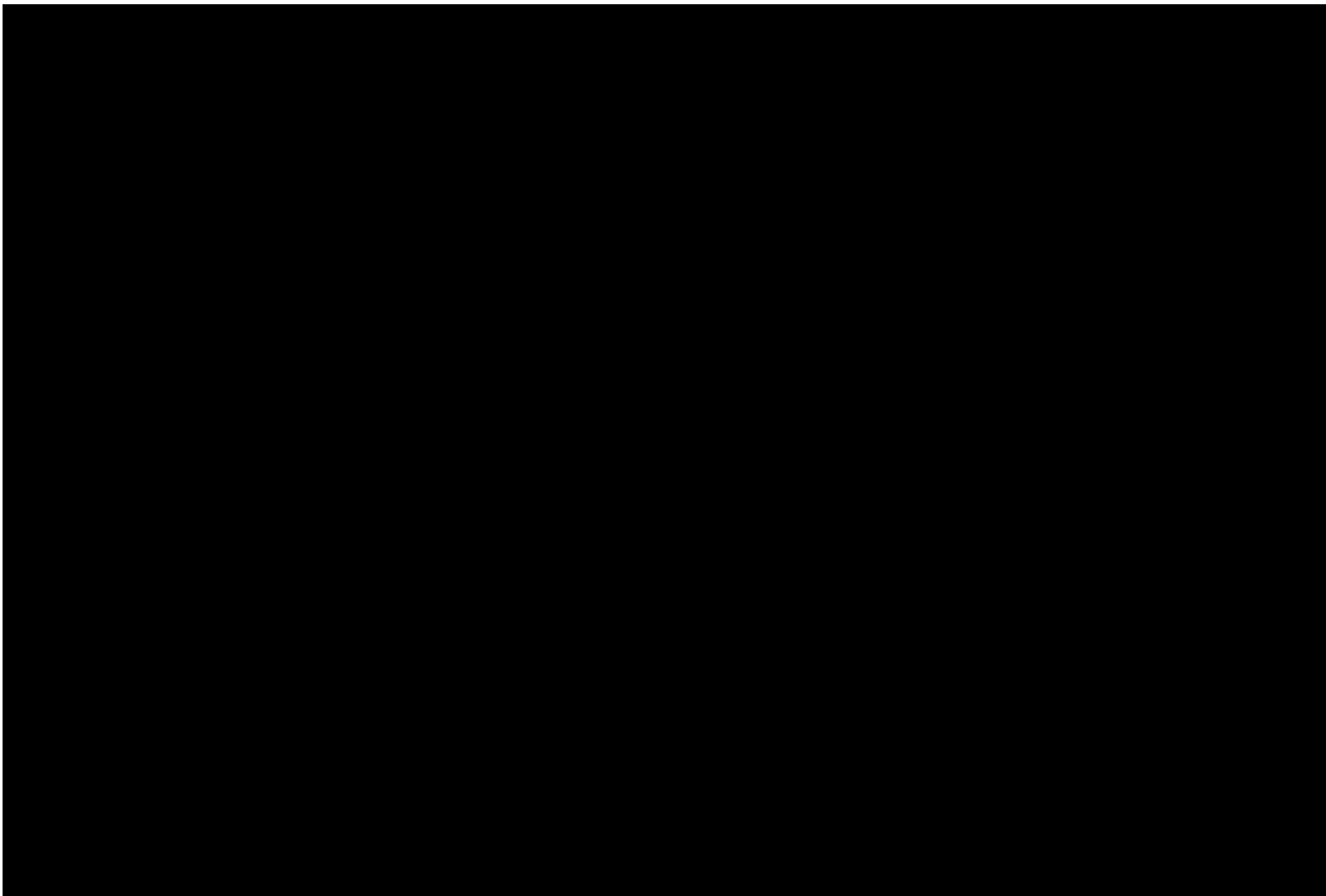
また、FRCSは、マガジン編成装置に設置することから、マガジン編成装置の耐震設計上の評価条件としてFRCSの負荷を考慮した設計とする。また、FRCSは、マガジン編成装置の耐震設計上で考慮する負荷条件を逸脱しない設計とすることで、相互影響を考慮した設計とする。



第1図 FRCS及びマガジン編成装置の設置場所



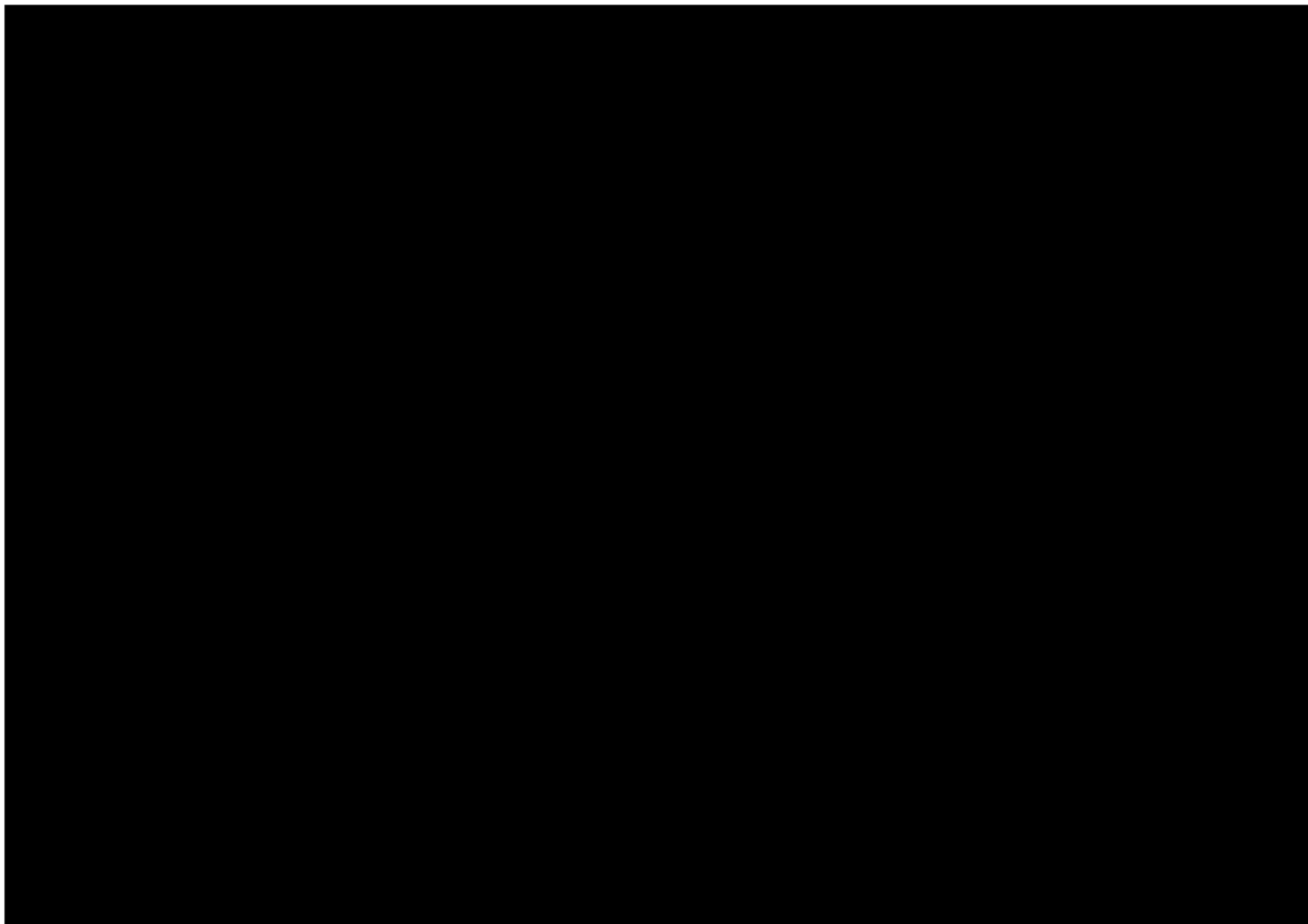
第2図 FRCS 概略図



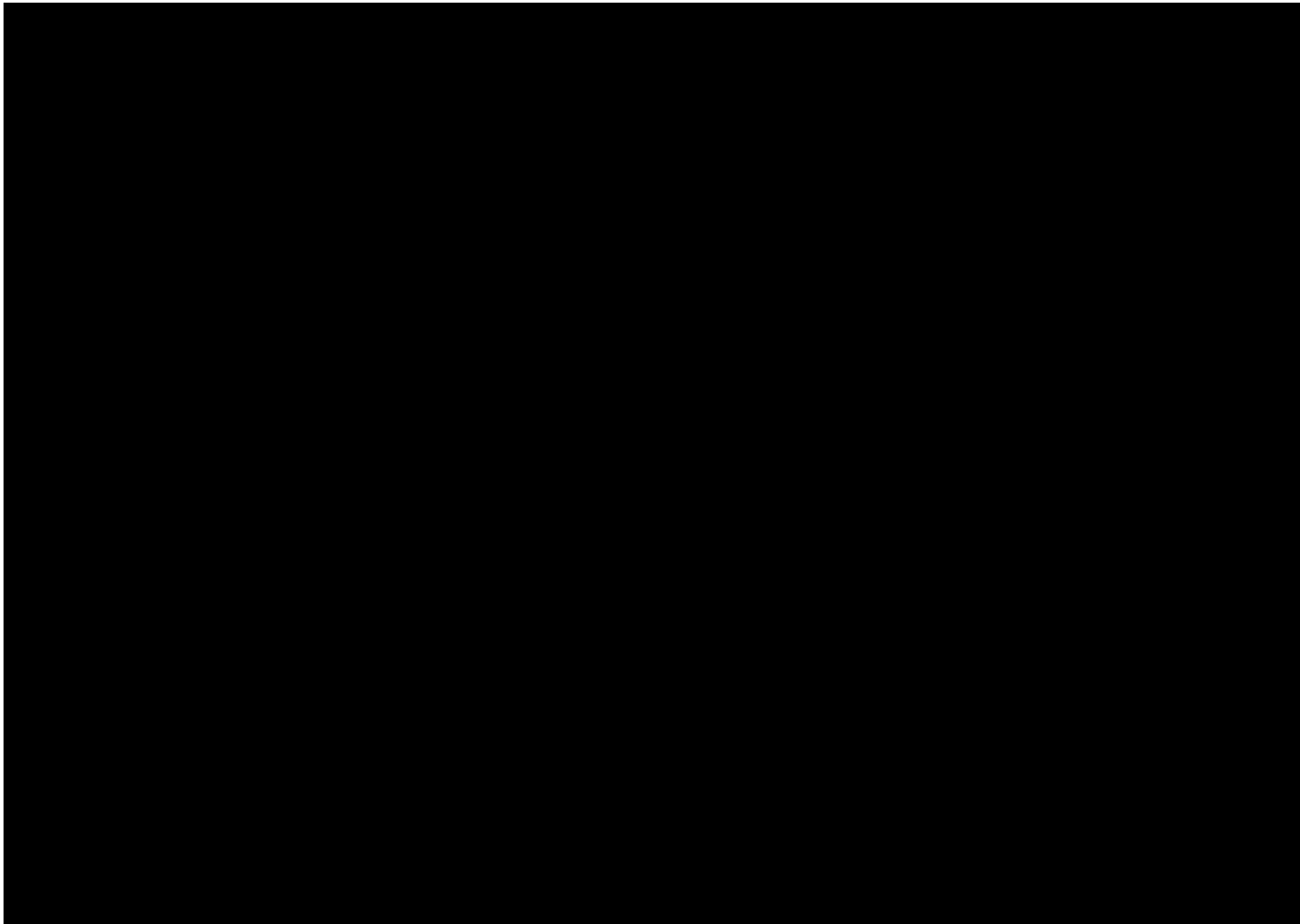
第2図 FRCS 設置スペース



第4図 (1) マガジン編成装置 構造図



第4図 (2) マガジン編成装置 構造図 (洗浄機周辺)



第4図 (3) マガジン編成装置 構造図 (洗浄機周辺)

リフタ周辺のSG設備

(AFAS-P, AFAS-B, 査察現場キャビネット (LC-21A, LC-21B))

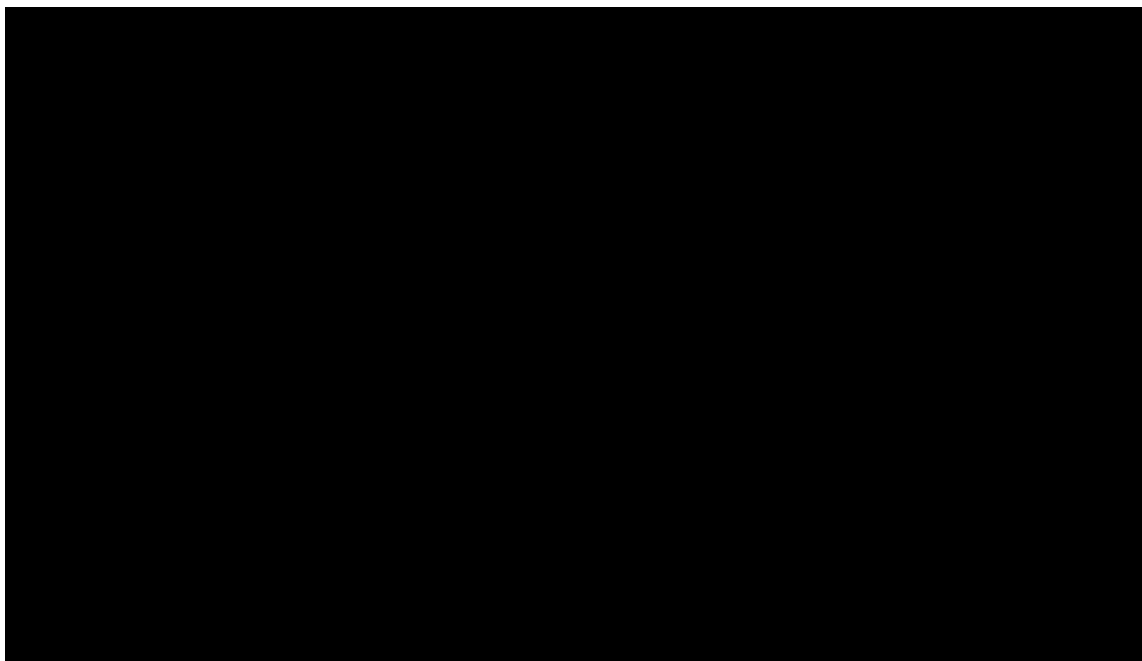
リフタでのPWR燃料集合体及びBWR燃料集合体の搬送を監視するため、リフタ周辺にAFAS-P, AFAS-Bを設置する設計としている。

また、リフタ近傍に、査察現場キャビネット (LC-21A, LC-21B) を設置する設計としている。

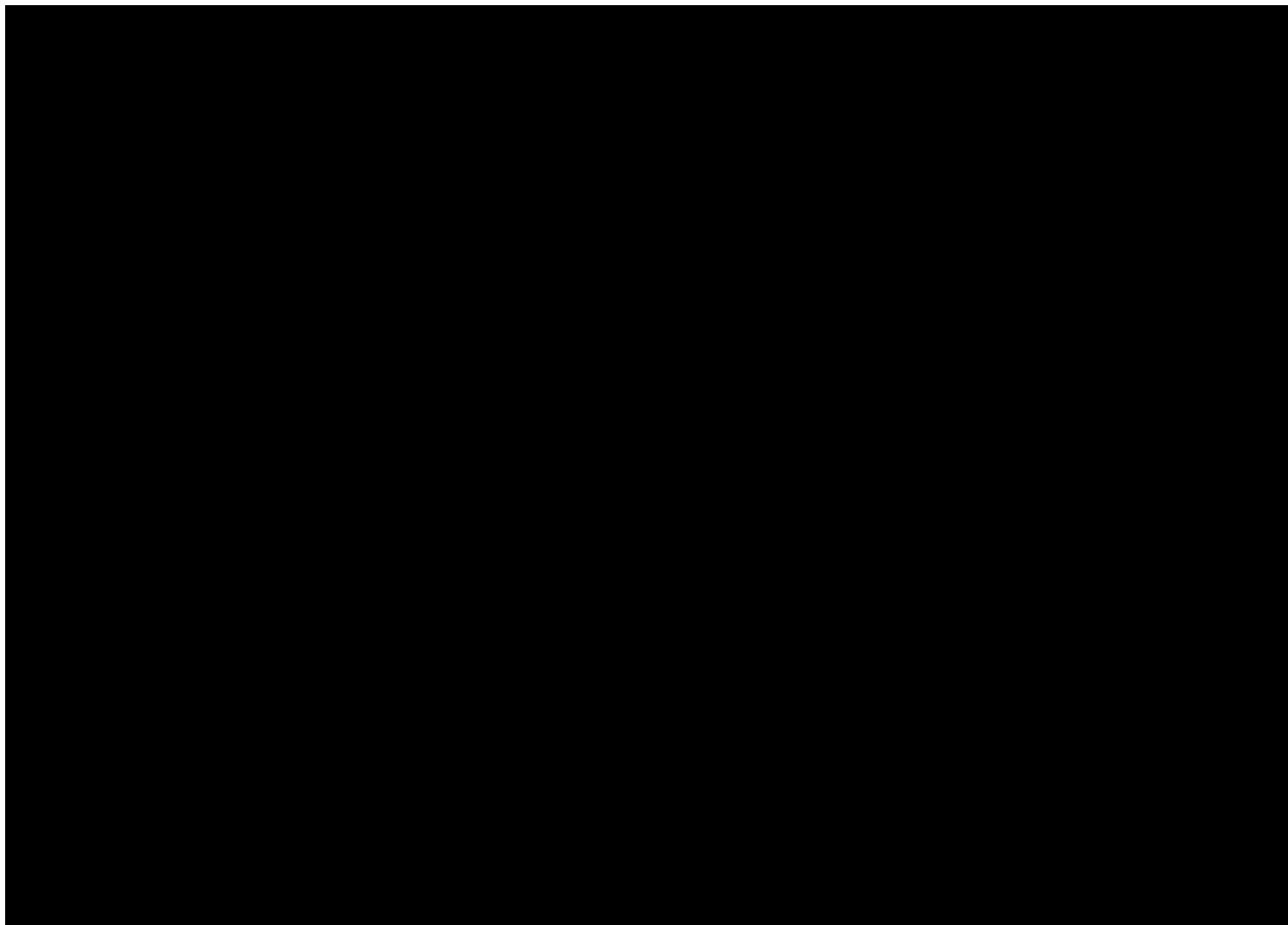
AFAS-P, AFAS-B, LC-21A, LC-21B及びリフタの設置場所を第1図に示す。AFAS-P及びAFAS-Bの設置スペースを第2図に示す。

AFAS-P, AFAS-Bは、メンテナンスの際に本体を取り外し可能な設計とすることで、相互影響を考慮した設計としている。

また、リフタと査察現場キャビネット (LC-21A, LC-21B) は、キャビネットのメンテナンスに必要なスペースを確保していることから、相互影響を考慮した設置場所となっている。



第1図 AFAS-P, AFAS-B, LC-21A, LC-21B及びリフタの設置場所



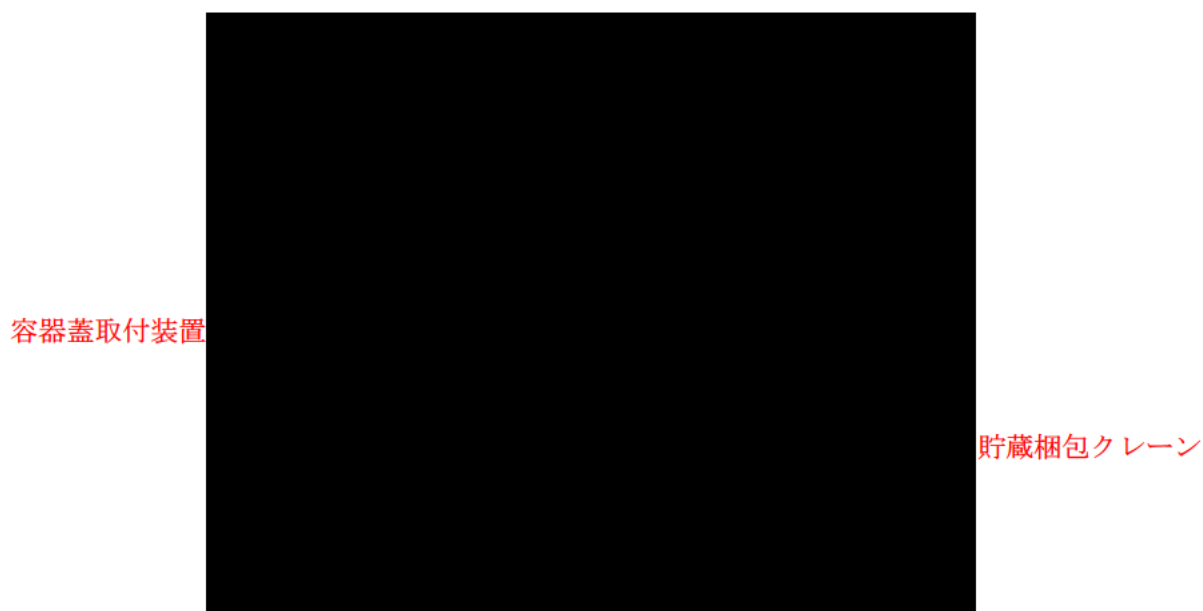
第2図 AFAS-P, -B 設置スペース

貯蔵梱包クレーン等周辺のSG設備 (DIPD)

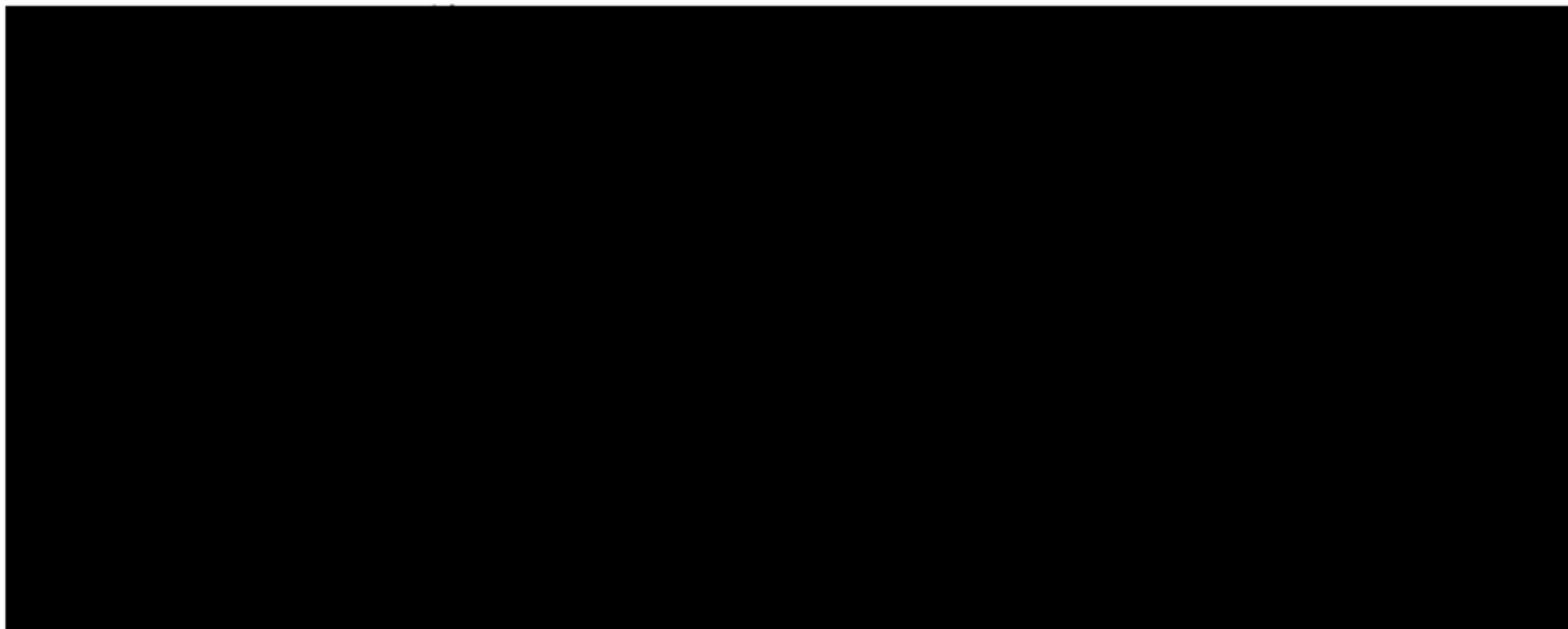
貯蔵梱包クレーン及び容器蓋取付装置の周辺にDIPDを設置する設計としている。

DIPD、貯蔵梱包クレーン及び容器蓋取付装置の設置場所を第1図に示す。DIPDの設置スペースを第2図に示す。

DIPDは、通常時及びメンテナンス時に容器蓋取付装置及び貯蔵梱包クレーンに干渉しないスペースを確保できる設計とすることで、相互影響を考慮した設置場所となっている。



第1図 DIPD、貯蔵梱包クレーン及び容器蓋取付装置の設置場所



第2図 DIPD 設置スペース

焼結ボート受渡装置グローブボックス-4周辺のSG設備
(AMGB-8)

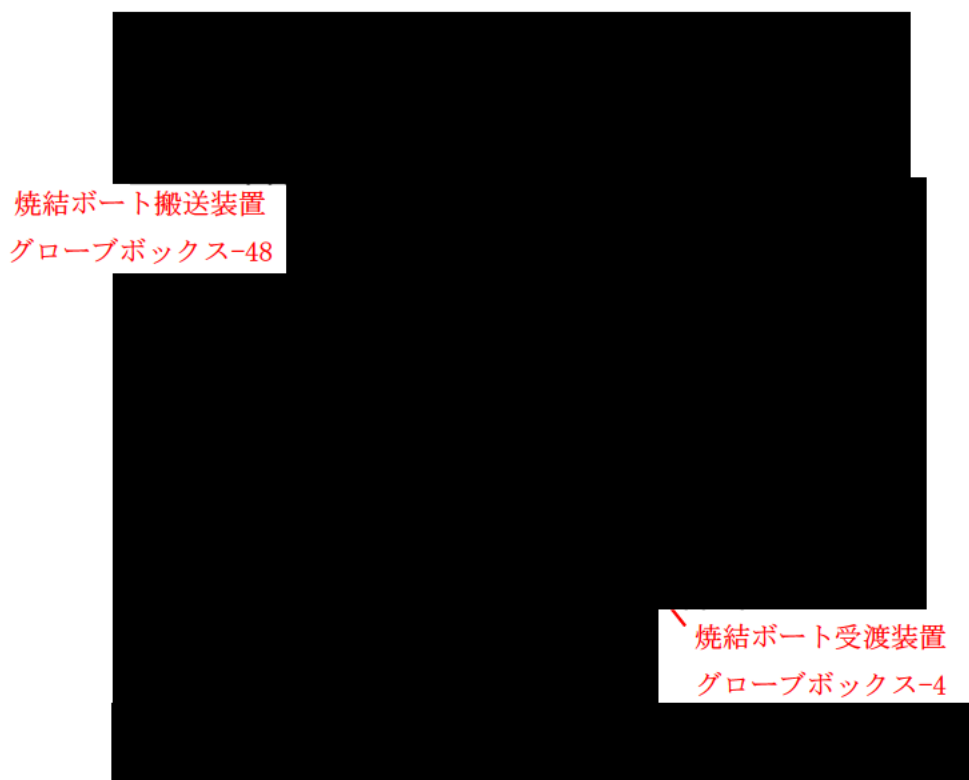
焼結ボート受渡装置グローブボックス-4の周辺に焼結ボート搬送装置グローブボックス-48（第3回申請）の搬送を監視するためのAMGB-8を設置する設計としている。

AMGB-8と焼結ボート受渡装置グローブボックス-4の設置場所を第1図に示す。

焼結ボート受渡装置グローブボックス-4とAMGB-8の設置場所の関係を第2図に示す。

焼結ボート受渡装置グローブボックス-4は、AMGB-8付近のポートにアクセス可能であるため、相互影響を考慮した設置場所となっている。

AMGB-8は、耐震Sクラスとなる焼結ボート受渡装置グローブボックス-4に波及的影響を及ぼさないよう、基準地震動 S_s の地震力にて転倒しない設計とする。



第1図 AMGB-8，焼結ボート受渡装置グローブボックス-4の設置場所



第2図 焼結ボート受渡装置グローブボックス-4とAMGB-8の設置場所の関係

スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1周辺のSG設備
(AMGB-9)

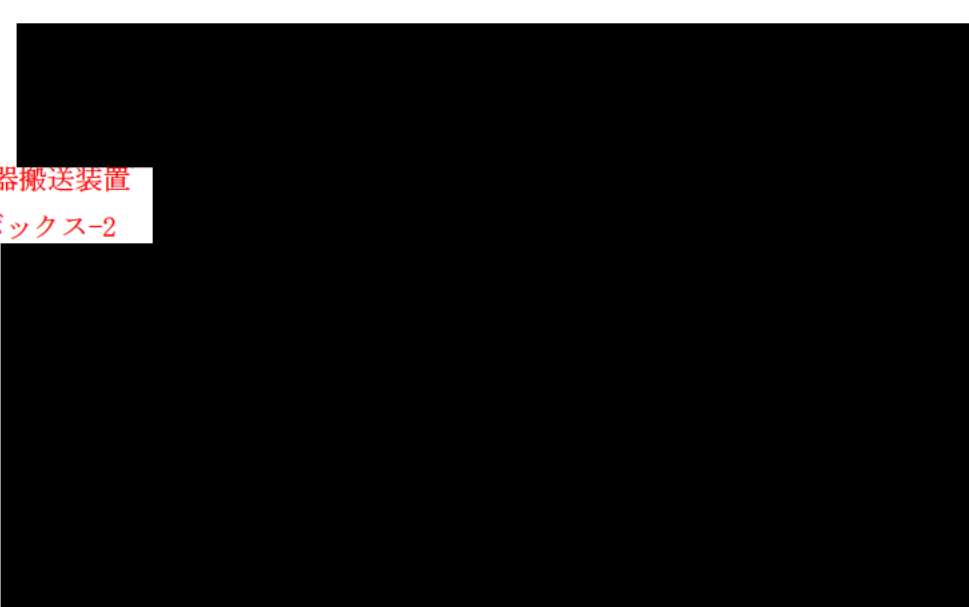
スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1の周辺に回収粉末容器搬送装置グローブボックス-2（第3回申請）の搬送を監視するためのAMGB-9を設置する設計としている。

AMGB-9とスクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1の設置場所を第1図に示す。スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1とAMGB-9の設置場所の関係を第2図に示す。

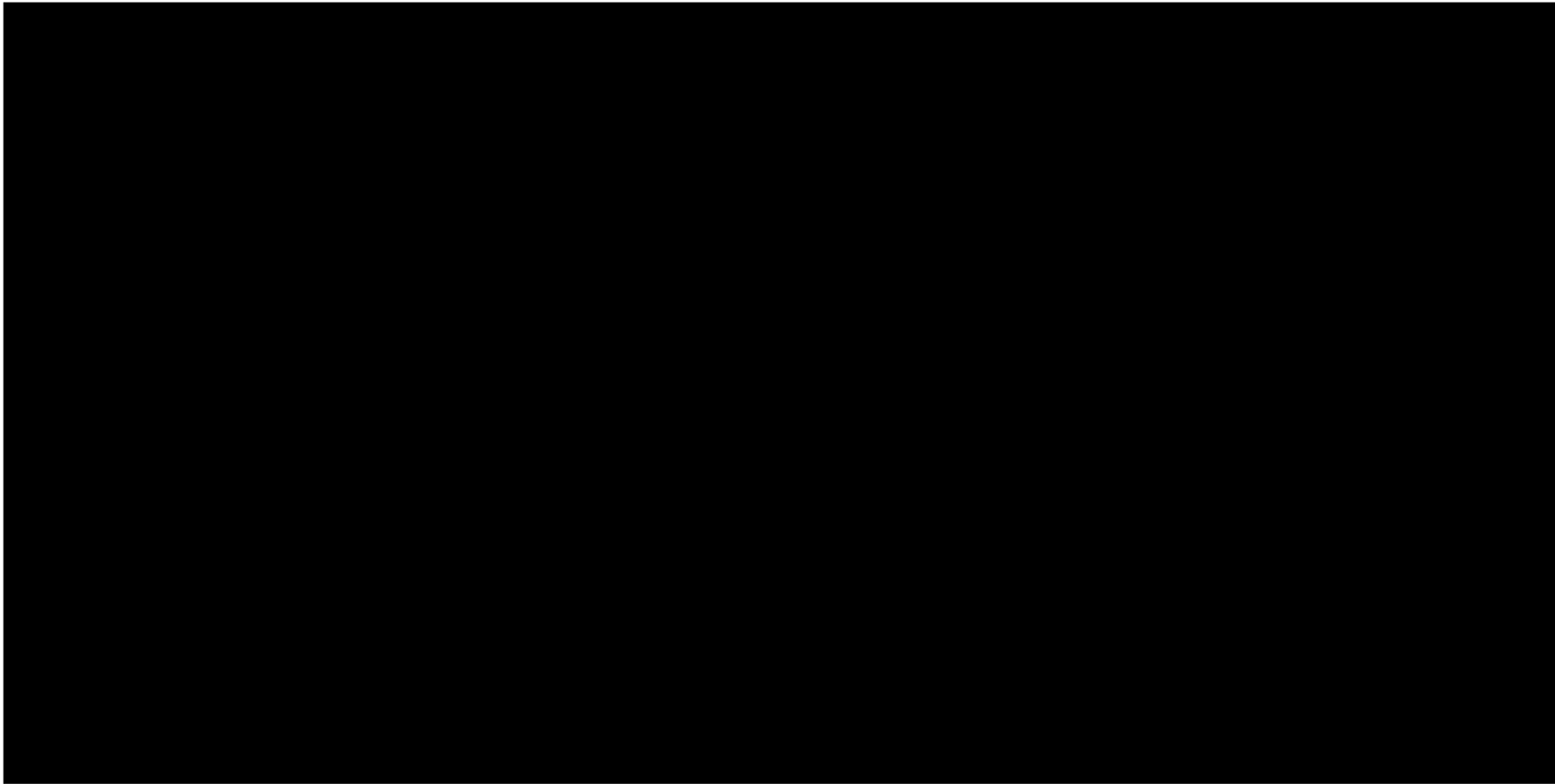
スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1は、AMGB-9付近のポートにアクセス可能であるため、相互影響を考慮した設置場所となっている。

AMGB-9は、耐震Sクラスとなるスクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1に波及的影響を及ぼさないよう、基準地震動 S_s の地震力にて転倒しない設計とする。

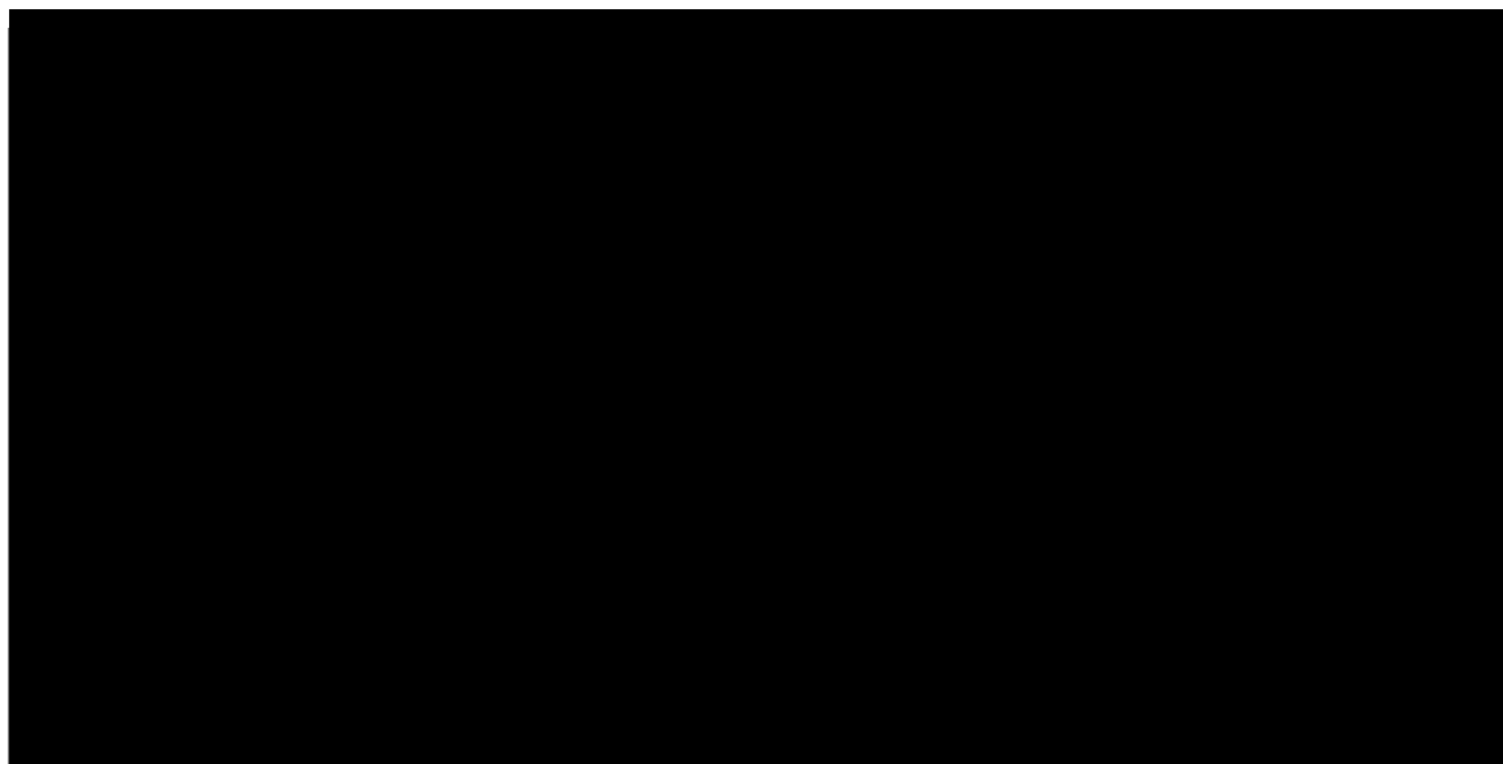
回収粉末容器搬送装置
グローブボックス-2



第1図 AMGB-9、焼結ポート受渡装置グローブボックス-4の設置場所



第2図 (1) スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1とAMGB-9の設置場所の関係



AMGB-9が落下した場合に耐震Sクラスであるスクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1に波及的影響を及ぼすおそれがあることから、AMGB-9は、基準地震動Ssによる地震力にて転倒しない設計とする。

A-A

第2回申請対象GB
スクラップ保管容器受渡装置GB-1

B-B

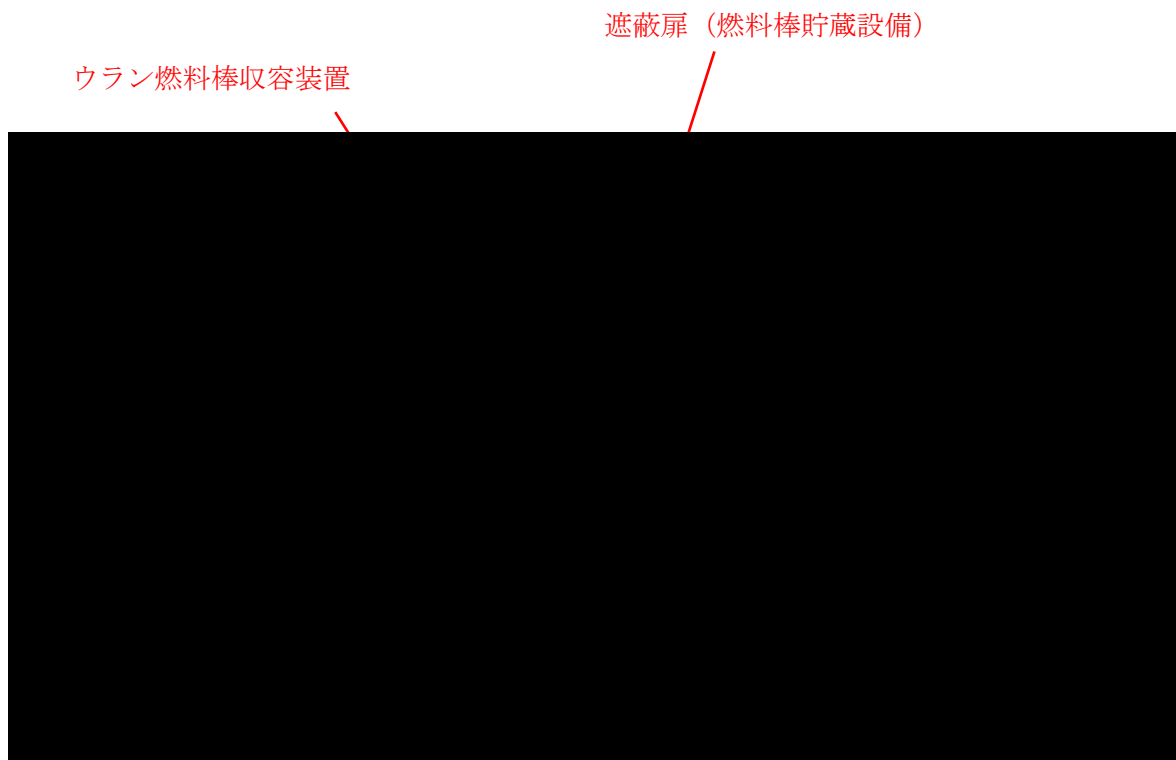
第2図 (2) スクラップ保管容器受渡装置グローブボックス-1とAMGB-9の設置場所の関係

ウラン燃料棒収容装置等周辺のSG設備
(NMGM-2)

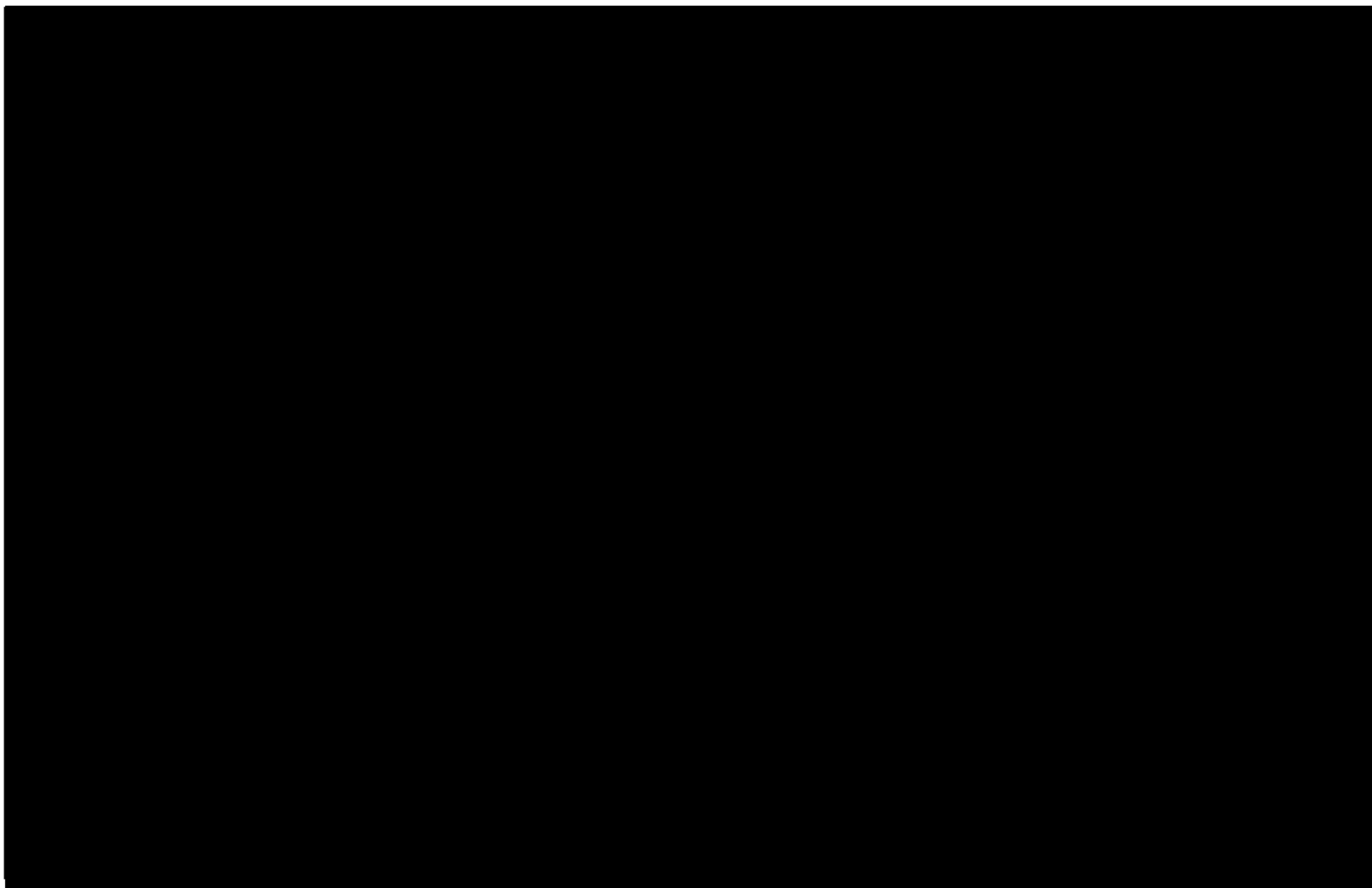
ウラン燃料棒収容装置及び遮蔽扉（燃料棒貯蔵設備）の周辺にNMGM-2を設置する設計としている。

NMGM-2とウラン燃料棒収容装置及び遮蔽扉（燃料棒貯蔵設備）の設置場所を第1図に示す。NMGM-2の設置スペースを第2図に示す。

NMGM-2は、遮蔽扉（燃料棒貯蔵設備）の上下左右にNMGM-2の設置スペースを確保し、相互影響を考慮した設置場所となっている。



第1図 NMGM-2，ウラン燃料棒収容装置及び遮蔽扉（燃料棒貯蔵設備）の設置場所



第2図 NMGM-2 設置スペース

収去試料受払装置グローブボックス周辺のSG設備
(AVIS, 査察現場キャビネット (LC-20A))

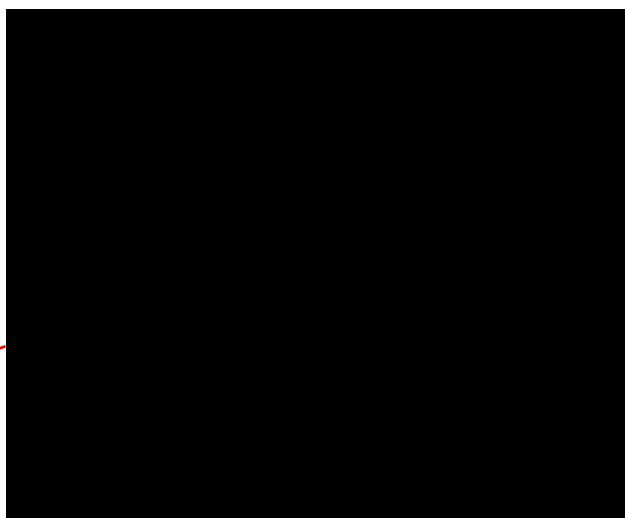
収去試料受払装置グローブボックスの底部の試料測定部から査察試料を計測するためにAVISを設置する設計としている。また、グローブボックス近傍に査察現場キャビネット (LC-20A) を設置する設計としている。

AVIS及び査察現場キャビネット (LC-20A) と収去試料受払装置グローブボックスの設置場所を第1図に示す。AVISの設置スペースを第2図に示す。

AVISについては、当該測定装置は当該グローブボックスの下部に設置されるが、メンテナンス時はAVISを分割してグローブボックス下部から移動させることができるため、相互の保守性に影響は無い。また、グローブボックスとAVISが干渉しないよう、クリアランスを確保した設置場所としている。

査察現場キャビネット (LC-20A) は、キャビネットのメンテナンスに必要なスペースを確保していることから、相互影響を考慮した設置場所となっている。

収去試料受払装置
グローブボックス

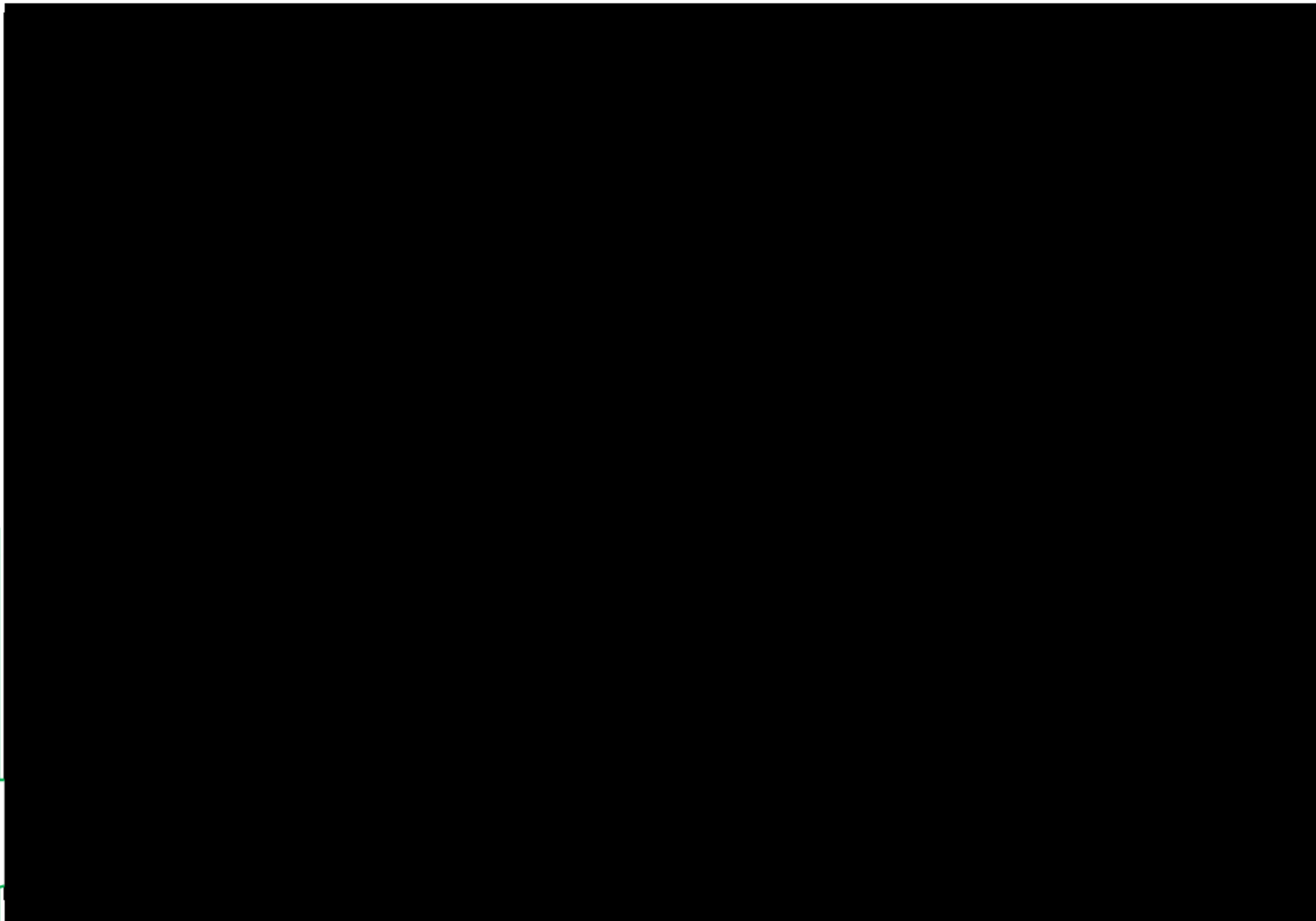


第1図 AVIS, LC-20A及び去試料受払装置グローブボックス 設置場所

GB缶体の一部が下方へ突き出す構造であり、測定試料がGB内に設置される。
この試料測定部を囲むようにAVISをGB外に設置する。

外し可能である。
(GB(安全機能を有する施設)とAVISのメンテナンス時に相互影響がない設計)

AVISとGB双方の揺れ幅を考慮してもGBとAVISは地震時も干渉しない世知場所としている。
(GB(安全機能を有する施設)とのクリアランスの確保)



第2図 AVIS 設置スペース

アクセスルート周辺のPP設備, SG設備

アクセスルート周辺のPP設備及びSG設備は, アクセスルートを阻害しない設計とする。

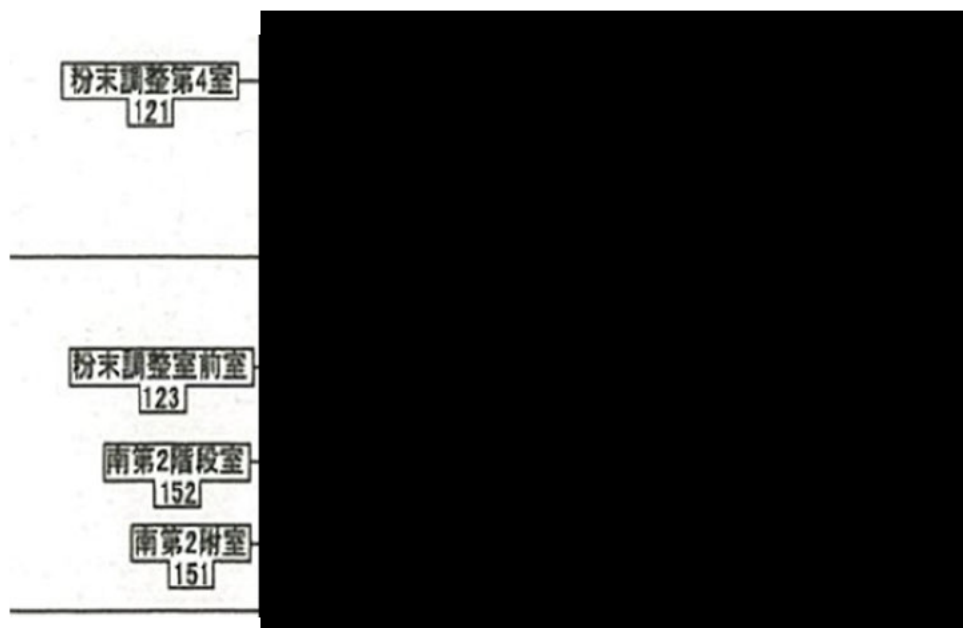
アクセスルート周辺のPP設備を第1図に示す。

なお, SG設備は, アクセスルート周辺への設置する計画はないため, 影響を及ぼすおそれはない。

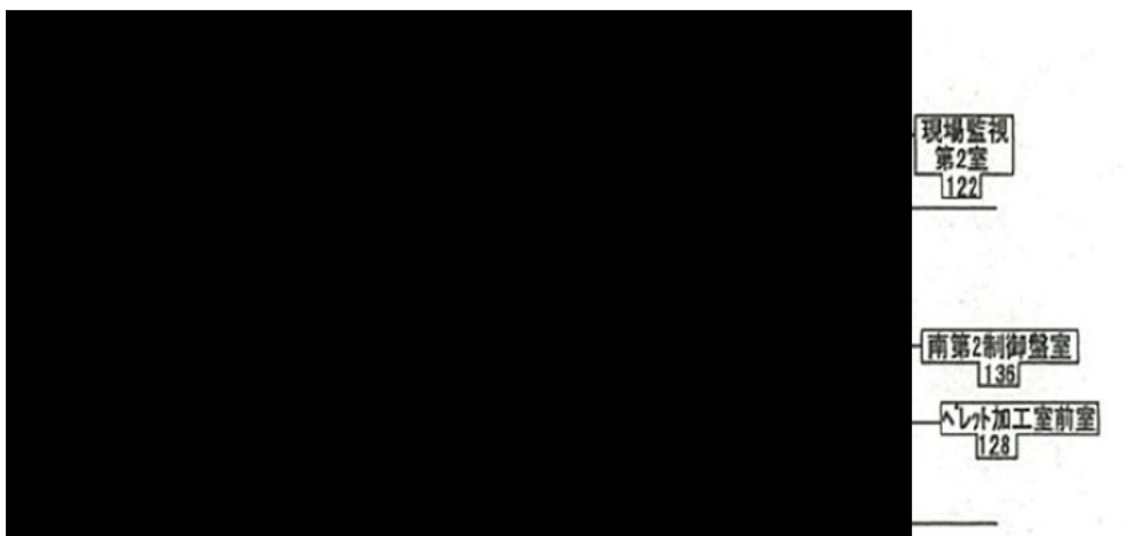
また, PP設備及びSG設備の[REDACTED]は, 小型であり, アクセスルートに影響を及ぼすおそれはない。

アクセスルート周辺に設置されるPP設備による影響について, 第2図に示す。

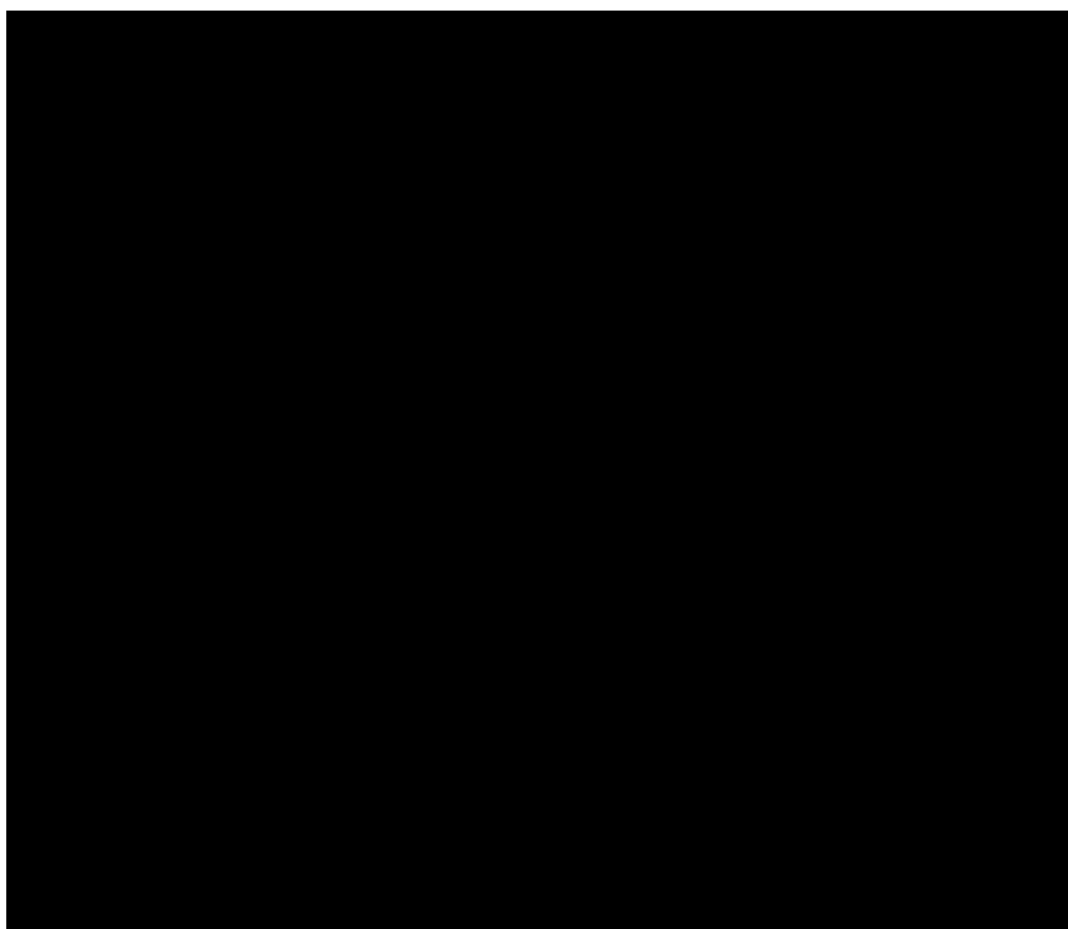
[REDACTED]は, 設計検討中で概略寸法ではあるが, 落下, 転倒したとしても, アクセスルートを阻害することがないことから, アクセスルートに影響を及ぼすおそれはない。



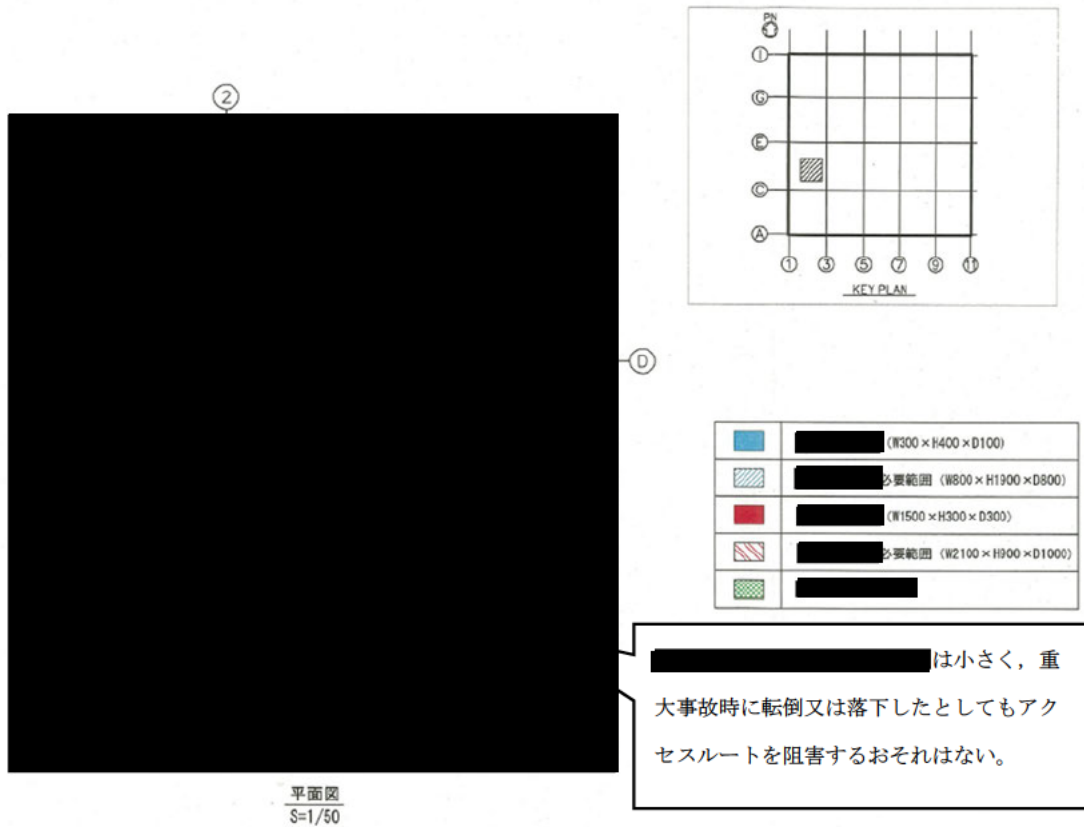
第1図(1) アクセスルート周辺のPP設備 (123室)



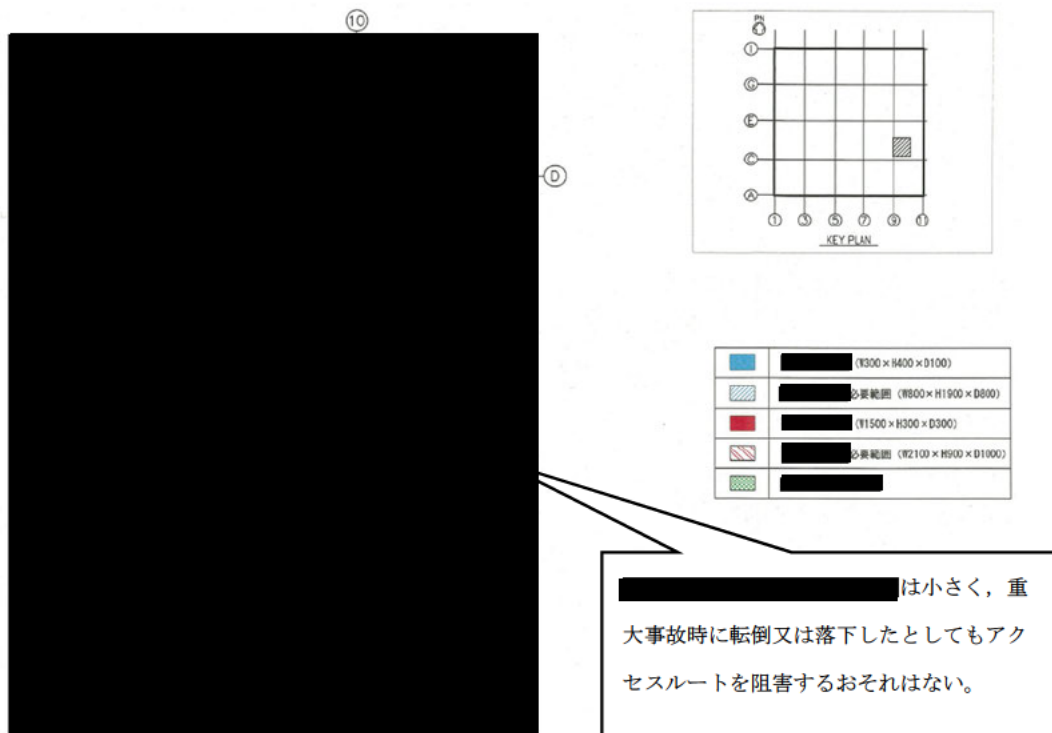
第1図(2) アクセスルート周辺のPP設備 (128室)



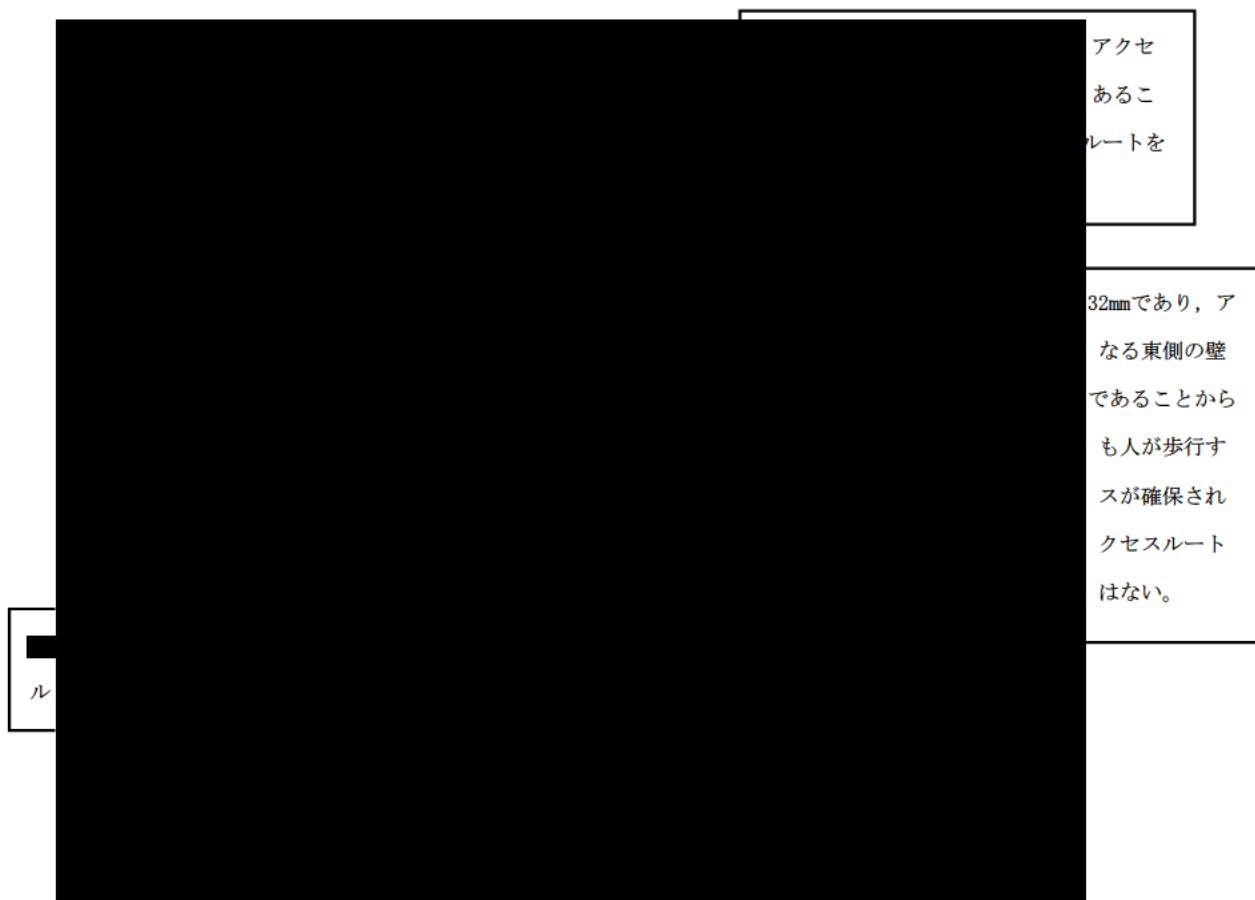
第1図(2) アクセスルート周辺のPP設備 (530室)



第2図(1) 123室におけるアクセスルートへの影響



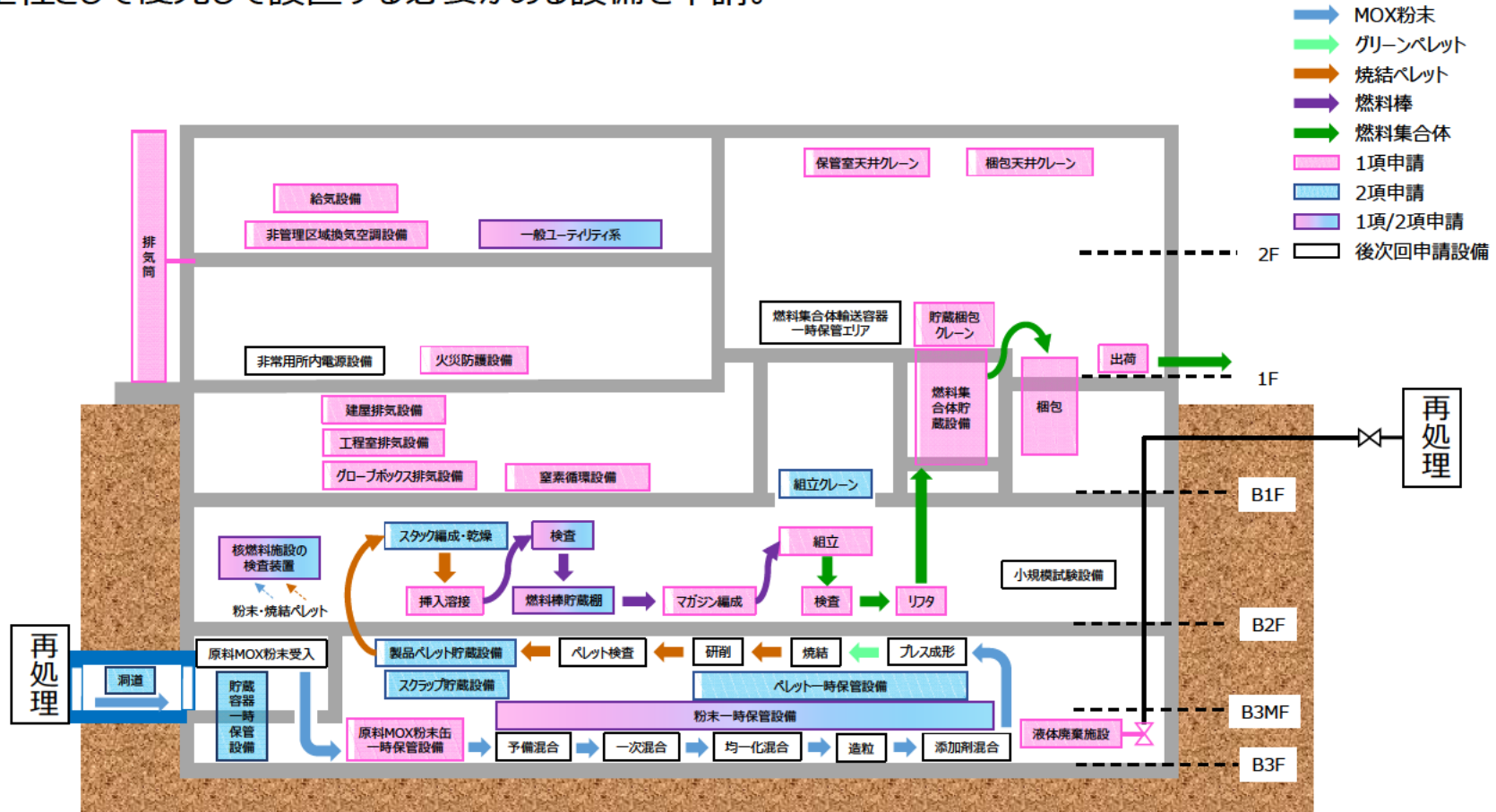
第2図(2) 128室におけるアクセスルートへの影響



第2図(3) 530室におけるアクセスルートへの影響

【第2回設工認申請の概要】

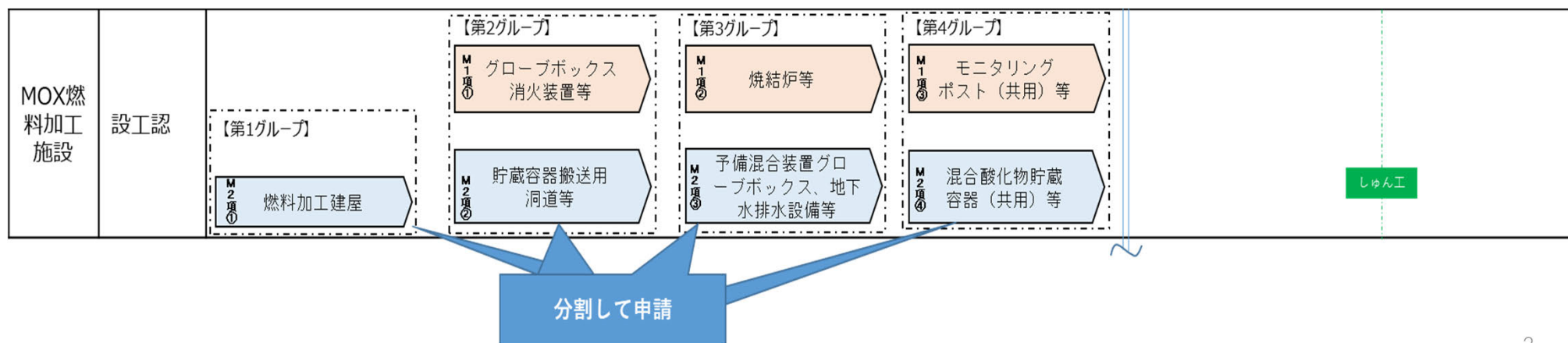
- ◆ 天井や壁を施工する前に搬入、施工する必要がある大型機器、複数の階に跨って、天井や壁に設置する設備、工事工程として優先して設置する必要がある設備を申請。



※ が第2回申請対象。

【M O X 燃料加工施設 設工認分割申請計画】

- 再処理施設と同様に既に許可を受けている事業変更許可申請に基づき設工認変更申請を行う。「共通0 1 1 項申請と2 項申請の区分」に示したように既設工認で申請済みの設備と未申請の設備があることから、2 項変更と1 項新規に係る設工認申請を行う。
- また、M O X 燃料加工施設は、建設工事の段階であることから、建設工事の工程を考慮して4つのグループに分割して申請を行う。
- 最初の申請については、新規制基準を受けた初回の設工認申請であることから、申請書の形式等を確認し、後回目の申請に展開できるように申請自体をコンパクトにし、それ以降の申請については、建設工程、設計進捗を踏まえて申請対象を設定する。最初の設工認の申請対象は、燃料加工建屋とする。
- それ以降の申請については、天井や壁を施工する前に搬入、施工する必要がある大型機器等の工事工程を踏まえて優先的に申請すべき事項から順に申請を行う。



<第2回で申請する主な設備>

項目/申請区分	1項新規	2項変更
天井や壁を施工する前に搬入、施工する必要のある大型機器等	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 集合体組立（マガジン編成、燃料集合体組立、リフト、スケルトン組立装置、燃料集合体洗浄装置、燃料集合体貯蔵チャンネル等） ➤ 梱包・出荷（容器移載、貯蔵梱包クレーン、輸送用容器等） 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 燃料加工（スタック編成装置、スタック乾燥装置、燃料棒移載装置、燃料棒収容装置、燃料棒貯蔵棚、外観寸法検査等） ➤ 梱包・出荷（組立クレーン等） ➤ 圧縮空気設備
他の設備の設置に関して優先して設置が必要な設備	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 液体廃棄物廃棄設備のろ過装置、吸着処理装置、オープンポートボックス等 ➤ 気体廃棄物の廃棄施設 グローブボックス排気設備、工程室排気設備、建屋排気設備の排風機・ダクト・ダンパ等 ➤ 消火設備（グローブボックス消火設備、窒素消火、二酸化炭素消火設備） ➤ 非管理区域換気空調 <p style="text-align: right;">等</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 貯蔵（原料MOX粉末缶一時保管等） ➤ GB消火（GB消火装置選択弁ユニット） ➤ 窒素消火（窒素消火装置選択弁ユニット） ➤ 冷却水設備 <p style="text-align: right;">等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 粉末調整（一時保管ピット、粉末一時保管、スクラップ貯蔵、ペレット一時保管、製品ペレット一時保管等） ➤ 貯蔵容器搬送用洞道（共用）
上記以外	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 分析（分析フード、分析済液中和固液分離グローブボックス、放射能濃度分析グローブボックス等） ➤ 原料受入（ウラン粉末缶入出庫、ウラン貯蔵棚、ラン粉末払出装置等） ➤ 容器(U85)、容器(CS・RS回収ポット) <p style="text-align: right;">等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ペレット加工（ペレット保管容器搬送、回収粉末容器搬送等） ➤ 容器(J60)、容器(5缶バスケット) <p style="text-align: right;">等</p>

＜第3回で申請する主な設備＞

項目／申請区分	1項新規	2項変更
設計進捗の考慮	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 粉末調整（原料粉末搬送、均一化混合、造粒装置、回収粉末処理・詰替装置等） ➤ ペレット加工（圧縮成形、焼結設備等） ➤ 火災防護設備（グローボックス温度監視装置、自動火災報知設備、遠隔消火装置等） ➤ 非常用発電機 ➤ 代替グローボックス排気設備、外部放出抑制設備、工程室放射線計測設備（可搬型重大事故対処） ➤ 情報把握設備 	—
その他MOX燃料加工施設の建設工程に関する設備	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 原料受入（ウラン粉末缶受払移載、洞道搬送台車（共用）等） ➤ 粉末調整（原料粉末搬送装置、原料MOX粉末缶一時等） ➤ ペレット加工（プレス装置、焼結炉排ガス処理装置等） ➤ スクラップ処理（再生スクラップ焼結処理等） ➤ 小規模試験（焼結粉末混合装置、小規模プレス、小規模焼結処理、小規模研削検査等） ➤ 選別・保管（選別・保管グローボックス） ➤ 放射線管理施設（ガンマ線エリアモニタ、エアスニファ、臨界検知用ガスモニタ、入退域管理、退出モニタ等） ➤ 所内電源設備、照明設備 ➤ 水素・アルゴン混合ガス設備（混合ガス受槽、混合ガス緊急遮断弁、混合ガス充填装置等） 	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 原料粉末受入（貯蔵容器検査装置、保管室クレーン、受渡ピット、受渡天井クレーン） ➤ 粉末調整（原料MOX粉末秤量・分取、予備混合、一次混合、ウラン粉末秤量・分取、添加剤混合、調整粉末搬送等） ➤ ペレット加工（研削装置、ペレット検査、焼結ポート搬送等） ➤ スクラップ処理（再生スクラップ受払、容器移送装置等）